

fit クラスタシリーズ活用ガイド 目次

メールソフトの設定	
Microsoft Outlook 2013 の設定.....	1
Microsoft Outlook 2010 の設定.....	9
Windows Live メール 2011 の設定.....	13
Thunderbird の設定.....	15
Becky ! の設定.....	20
SMTP over SSL の設定.....	23
Outlook2013 の SMTP over SSL 設定.....	24
Thunderbird の SMTP over SSL の設定.....	26
Becky!の SMTP over SSL の設定.....	28
STARTTLS の設定.....	29
Outlook2013 の STARTTLS の設定.....	30
Thunderbird の STARTTLS の設定.....	32
Becky!の STARTTLS の設定.....	34
POP over SSL の設定.....	35
Outlook2013 の POP over SSL 設定.....	36
Thunderbird の POP over SSL の設定.....	38
Becky!の POP over SSL の設定.....	39
Mac のメール設定.....	40
iPhone メール設定方法.....	43
iPad のメール設定.....	46
Android のメール設定.....	49
FTP ソフトの設定	
FFFTP の設定.....	51
FileZilla の設定.....	54
Fetch の設定.....	57
Cyberduck の設定.....	59
NextFTP の設定.....	61
WinSCP の設定.....	64
Internet Explorer の設定.....	66
.ftpassess の設定.....	67
CGI の設定	
簡易掲示板の設定.....	71

スレッド式掲示板の設定.....	75
アクセスカウンタの設定.....	77
フォームメールの設定.....	79
SSI 用 CGI の設定.....	84
SSL の設定	
共用 SSL.....	85
独自 SSL.....	86
アクセス統計の設定	
Analog(アクセス統計の設定).....	87
MIME タイプの一覧	
MIME タイプの一覧.....	89
メーリングリスト	
メーリングリストご利用方法.....	94
MySQL の設定	
MySQL4 から MySQL5 へのデータベースのバージョンアップ.....	95

■メールソフトの設定

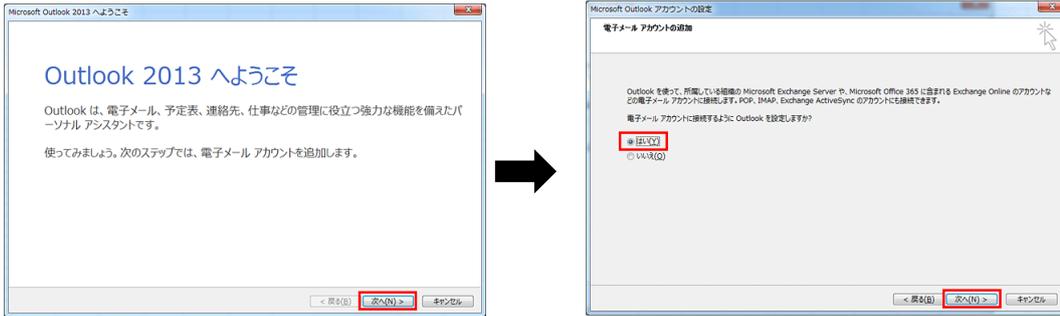
Microsoft Outlook 2013 の設定

※メールソフトへの設定を行う事前準備として、[\[メールソフトの設定\]](#)の項目もご確認ください。

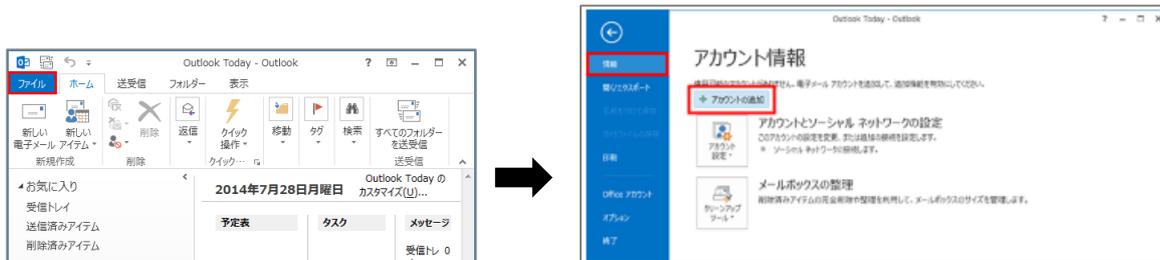
■メールアドレスの新規追加

STEP1 Outlook 2013 を起動します。

※[Outlook 2013 へようこそ]の画面が表示される場合、[次へ]をクリックし、[はい]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。



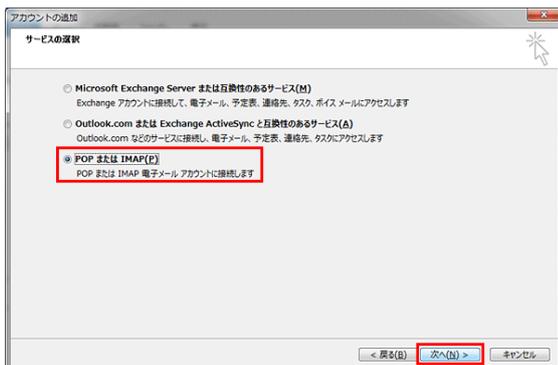
※上記の画面ではなく、すぐに立ち上がる場合、左上の[ファイル]をクリックし、[情報]の中から[アカウントの追加]をクリックします。



STEP2: [自分で電子メールやその他のサービスを使うための設定をする(手動設定)(M)]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。



STEP3: サービスの選択 [POP または IMAP(P)]にチェックを入れて[次へ]をクリックします。

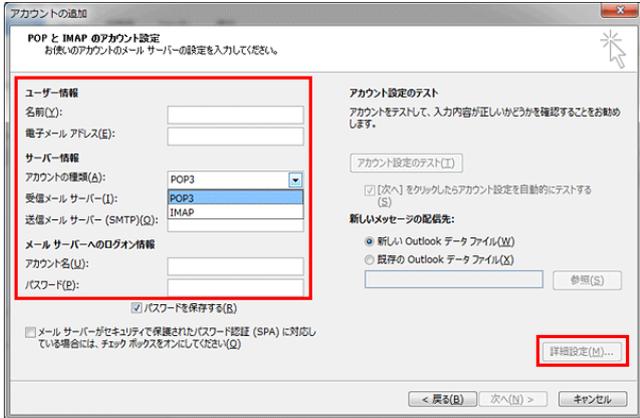


STEP4:アカウント情報の登録をします。

※POP 接続または IMAP 接続のいずれかをご選択ください。

[POP 接続される場合の設定]

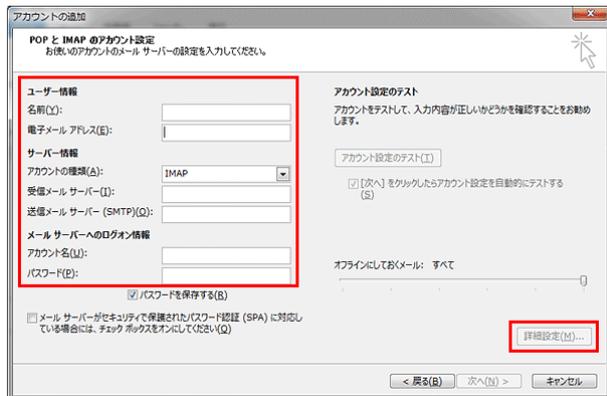
以下の表のようにメールアカウントの情報を入力します。各項目を入力した後、[詳細設定]をクリックします。



ユーザー情報	
名前	お名前や企業名などを記入（日本語入力可）受信者側で表示されます。
電子メールアドレス(E)	メールアドレス（PlanManager で登録したアカウント@ドメイン名）
サーバー情報(POP 接続用の設定)	
アカウントの種類(A)	POP3
受信メールサーバー(I)	「pop.ドメイン名」または IP アドレス（サーバー移行中の方は IP アドレスを入力）
送信メールサーバー(SMTP)(O)	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス（サーバー移行中の方は IP アドレスを入力）
メールサーバーへのログイン情報	
アカウント名(U)	メールアドレスを入力（@の前部分のみ入力されているので @ドメイン名を追記）
パスワード(P)	PlanManager でユーザー登録した際に設定したパスワードを入力
パスワードを保存する(R)	チェックを入れます。
メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)に対応している場合には、チェックボックスを オンにしてください(O)	チェックは入れないでください。

[IMAP 接続される場合の設定]

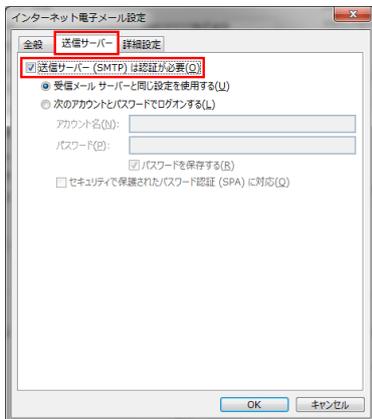
以下の表のようにメールアカウントの情報を入力します。各項目を入力した後、[詳細設定]をクリックします。



ユーザー情報	
名前	お名前や企業名などを記入（日本語入力可）受信者側で表示されます。
電子メールアドレス(E)	メールアドレス（PlanManager で登録したアカウント@ドメイン名）
サーバー情報(IMAP 接続用の設定)	
アカウントの種類(A)	IMAP
受信メールサーバー(I)	「imap.ドメイン名」または IP アドレス（サーバー移行中の方は IP アドレスを入力）
送信メールサーバー(SMTP)(O)	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス（サーバー移行中の方は IP アドレスを入力）
メールサーバーへのログイン情報	
アカウント名(U)	メールアドレスを入力（@の前部分のみ入力されているので @ドメイン名を追記）
パスワード(P)	PlanManager でユーザー登録した際に設定したパスワードを入力
パスワードを保存する(R)	チェックを入れます。
メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)に対応している場合には、チェックボックスを オンにしてください(O)	チェックは入れないでください。
オフラインにしておくメール	既存のメールを同期させておく期間を決めます。※初期設定では「すべて」となっています。 「1 か月、3 か月、6 か月、12 か月、24 か月」から選択できます。

STEP5: 送信認証の設定

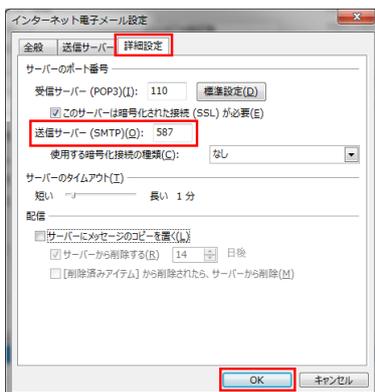
新たに[インターネット電子メール設定]の画面が出てくるので[送信サーバー]タブをクリックし、[送信サーバー(SMTP)は認証が必要(O)]にチェックを入れて[詳細設定]タブへ移動



STEP6: サブミッションポート(OP25B)の設定

[送信サーバー(SMTP)(O)]欄のポート番号を“25”を“587”に変更し、[OK]をクリックします。

[POP 接続の場合]



	POP 設定の場合	TLS を使用する場合	SSL を使用する場合
受信サーバー(POP3)(X)	110(規定値)	110/995	995
このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要(E)	チェックなし	チェック無/チェック有	チェックあり
送信サーバー(SMTP)(O)	587	587	465
使用する暗号化接続の種類(C)	なし	TLS	SSL
サーバーのタイムアウト(T)	規定値は[1 分]で設定されているので任意で変更		
サーバーにメッセージのコピーを置く(L)	チェックを入れると受信後もサーバーに残り、Web メールでの確認や、他の PC での受信も可能となりますがサーバー容量が上限に達して受信できなくなる場合がございます。		
サーバーから削除する(R)[]日後	上記にチェックがある場合、サーバーから削除する日数を指定できます。		
[削除済みアイテム]から削除されたら、サーバーから削除(M)	こちらにチェックが入っていないと受信メールを削除した後もサーバー内に残り続けて容量を圧迫しますので、コピーを置くにチェックを入れた場合には、こちらにもチェックを入れることを推奨いたします。		

[IMAP 接続の場合]



	IMAP 設定の場合	TLS を使用する場合	SSL を使用する場合
受信サーバー(POP3)(X)	143(規定値)	143/993	993
このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要(E)	チェックなし	チェック無/チェック有	チェックあり
送信サーバー(SMTP)(O)	587	587	465
使用する暗号化接続の種類(C)	なし	TLS	SSL
サーバーのタイムアウト(T)	規定値は[1 分]で設定されているので任意で変更		
送信済みアイテムのコピーを保存しない(D)	初期値ではチェックは入っていません。 ※チェックを入れると送信したメールが保存されなくなりますのでご注意ください。		
アイテムを削除対象としてマークするが、自動的には移動しない(K)	初期値ではチェックは入っていません。 チェックを入れると削除対象アイテムは自動的には削除されず、手動でアイテムを消去したときに削除されます。		
オンライン中にフォルダーを切り替えたらアイテムを消去する(P)	初期値ではチェックが入っています。		

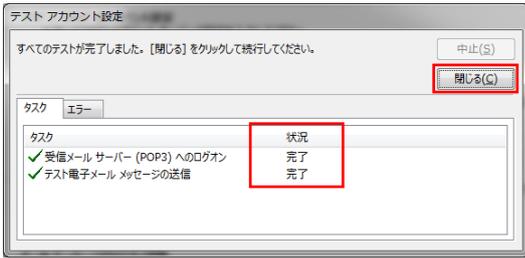
STEP7: カウント設定のテスト

[アカウントの追加]の画面に戻るので[次へ]をクリックします。



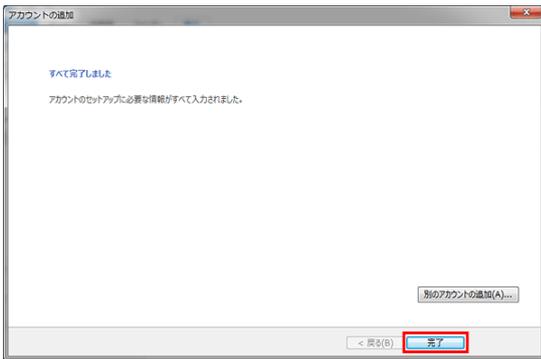
STEP8:テストアカウント設定

設定ができている場合、[状況]欄が[完了]と表示されるので[閉じる]をクリックします。

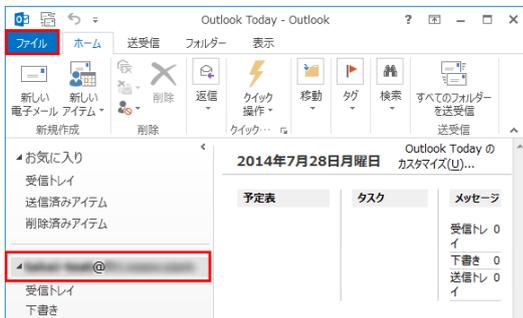


STEP9:設定の完了

[完了]をクリックします。



設定したメールアドレスが作成されていることが確認できます。

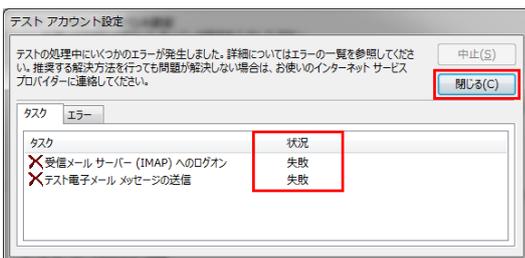


※設定が完了できない場合

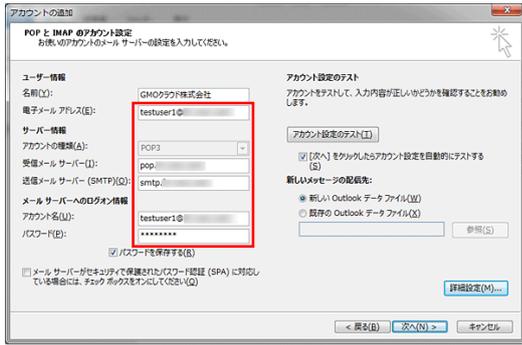
◆STEP8 の手順にて下記の画面が出る場合には、ユーザー名かパスワードが異なっていないかご確認ください。正しい情報を入れて[OK]をクリックしても繰り返し画面が出てくる場合にはいったん[キャンセル]をクリックします。



[失敗]となった場合には、[閉じる]をクリックすると[アカウントの設定]画面に戻ります。



各設定項目の入力が間違えていないか、ご確認ください。



項目	チェック内容
アカウント名	電子メールアドレスを同じになっているか
パスワード	PlanManager にてユーザー登録で設定したパスワードになっているか
受信メールサーバー	「pop.ドメイン名」または「imap.ドメイン名」になっているか 他サーバーから移行中の場合には、211 で始まるメールサーバーの IP アドレスを入力
送信メールサーバー	「smtp.ドメイン名」になっているか 他サーバーから移行中の場合には、211 で始まるメールサーバーの IP アドレスを入力

設定情報の確認方法

PlanManager にログインして確認できます。



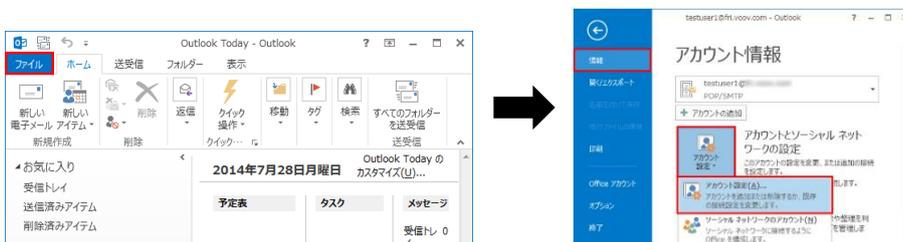
- ・ドメイン名: @より後ろの部分
- ・ログイン ID: @より前の部分
- ・パスワード: メールアドレスのパスワードと同じ

※PlanManager へログインの際に使用するユーザーパスワードとメールソフトは同じです。

パスワード以外の情報は、左メニューの[個別ユーザー管理]の[ユーザー情報]をクリックし、[メール情報]欄をご確認ください。

■既存のメールアドレス情報の変更

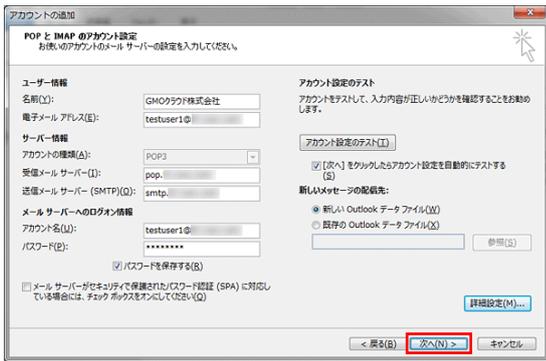
STEP1 Outlook 2013 を起動し[ファイル]をクリックし、[情報]の中の[アカウント設定]の中から[アカウント設定(A)]をクリックします。



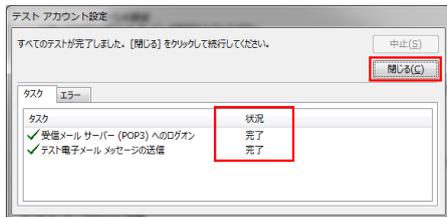
STEP2 変更するメールアドレスを選択し、[変更(A)···]をクリックします。



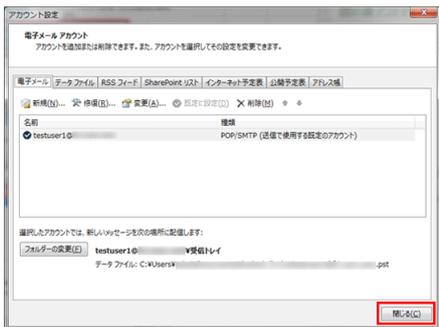
STEP3 各種修正した後[次へ]



STEP4 [閉じる]をクリックします。

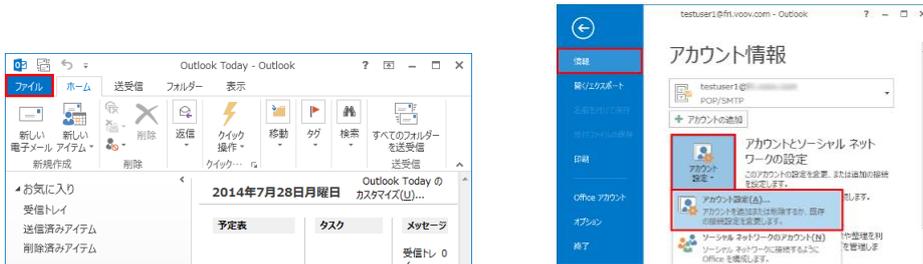


STEP5 [すべて完了しました]の画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックし、アカウント設定の画面に戻ったら[閉じる]をクリックして終了となります。

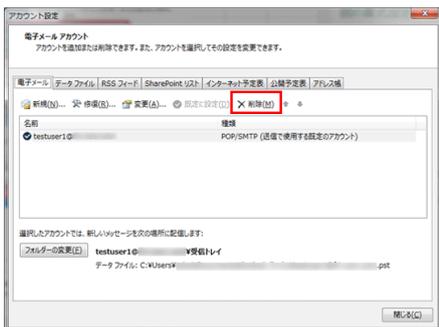


■既存のメールアドレスを削除する場合

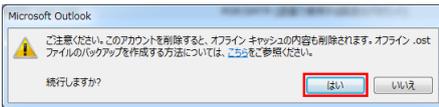
STEP1 Outlook 2013 を起動し、[ファイル]をクリックし、[情報]の中の[アカウント設定]の中から[アカウント設定(A)]をクリックします。



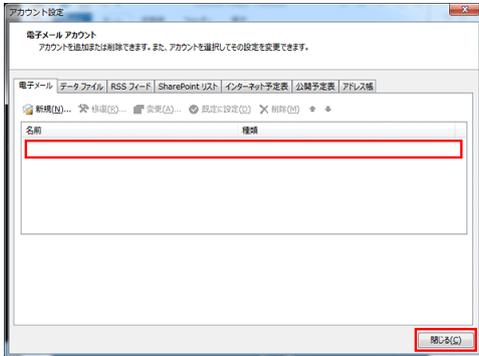
STEP2 削除するメールアドレスを選択し、[削除(M)···]をクリックします。



STEP3 [はい]をクリックします。 ※削除するアカウントをお間違いないようご注意ください。



STEP4 対象のメールアドレスがなくなったことを確認して[閉じる]をクリックします。



※メールアドレス自体が不要の場合には、PlanManager にて[ユーザーの削除]も行ってください。

インフォメーション

ユーザー管理

- ユーザー登録
- ユーザー一括登録
- ユーザーCSV管理
- ユーザー編集
- ユーザー削除**
- ユーザー切り替え

メールコントロール

ウェブコントロール

ユーティリティ

アプリケーション

サポート

お手続き

Top > ユーザー管理 > ユーザー削除

ユーザー削除

ユーザーを削除します。
 削除するユーザーの削除権をチェックし[チェックしたものを削除]ボタンをクリックしてください。
 自分自身や自分と同じ権限を持つユーザーは削除できません。

総数 153 件
[\[前の10ページ \]](#) [\[次の10ページ \]](#)
[\[1 \]](#) [\[2 \]](#) [\[3 \]](#) [\[4 \]](#) [\[5 \]](#) [\[6 \]](#) [\[7 \]](#) [\[8 \]](#) [\[9 \]](#) [\[10 \]](#)

削除	ユーザー名	ユーザー権限	コメント
<input type="checkbox"/>	domecan	ドメイン管理者	
<input type="checkbox"/>	info	サイト管理者	
<input type="checkbox"/>	ftpuser	サイト管理者	
<input type="checkbox"/>	ftpuser	サイト管理者	
<input type="checkbox"/>	ftpuser	サイト管理者	
<input type="checkbox"/>	ftpuser	サイト管理者	

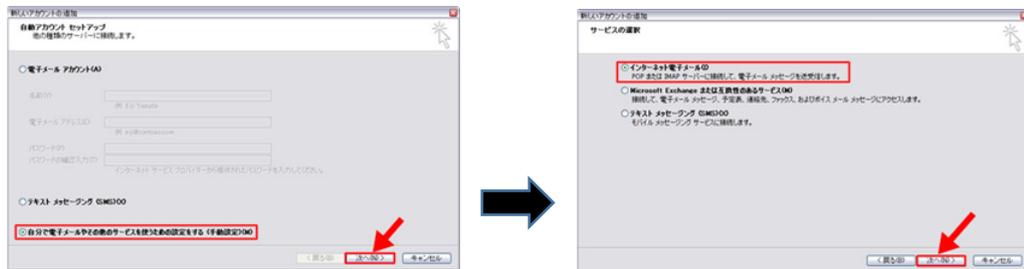
Microsoft Outlook 2010 の設定

※メールソフトへの設定を行う事前準備として、[\[メールソフトの設定\]](#)の項目もご確認ください。

STEP1 Outlook2010 を起動し、下図の[ファイル]をクリックし、表示された画面の中の[アカウントの追加]をクリックします。



STEP2 アカウントの手動設定をします。新しいウィンドウが表示されます。ここでは何も入力せず、下図の「自分で電子メールやその他サービスを使うための設定をする(手動設定)」にチェックを入れて、[次へ]をクリックし、「インターネット電子メール」にチェックを入れて、[次へ]をクリックします。



STEP3 アカウント情報の登録をします。
 ※POP 接続または IMAP 接続のいずれかをご選択ください。

[POP 接続される場合の設定]

以下の表のようにメールアカウントの情報を入力します。各項目を入力した後、[詳細設定]をクリックします。



ユーザー情報	
名前	お名前や企業名などを記入。(日本語入力可)受信者側で表示されます。
電子メールアドレス(E)	メールアドレス (PlanManager で登録したアカウント@ドメイン名)
サーバー情報(POP 接続用の設定)	
アカウントの種類(A)	POP3
受信メールサーバー(I)	「pop.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)
送信メールサーバー(SMTP)(O)	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)

メールサーバーへのログイン情報	
アカウント名(U)	メールアドレスを入力 (@の前部分のみ入力されているので @ドメイン名を追記)
パスワード(P)	PlanManager でユーザー登録した際に設定したパスワードを入力
パスワードを保存する(R)	チェックを入れます。
メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)に対応している場合には、チェックボックスを オンにしてください(O)	チェックは入れないでください。

[IMAP 接続される場合の設定]

以下の表のようにメールアカウントの情報を入力します。各項目を入力した後、[詳細設定]をクリックします。



ユーザー情報	
名前	お名前や企業名などを記入。(日本語入力可)受信者側で表示されます。
電子メールアドレス(E)	メールアドレス (PlanManager で登録したアカウント@ドメイン名)
サーバー情報(POP 接続用の設定)	
アカウントの種類(A)	IMAP
受信メールサーバー(I)	「imap.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)
送信メールサーバー(SMTP)(O)	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)
メールサーバーへのログイン情報	
アカウント名(U)	メールアドレスを入力 (@の前部分のみ入力されているので @ドメイン名を追記)
パスワード(P)	PlanManager でユーザー登録した際に設定したパスワードを入力
パスワードを保存する(R)	チェックを入れます。
メールサーバーがセキュリティで保護されたパスワード認証(SPA)に対応している場合には、チェックボックスを オンにしてください(O)	チェックは入れないでください。
オフラインにしておくメール	既存のメールを同期させておく期間を決めます。※初期設定では「すべて」となっています。 「1 か月、3 か月、6 か月、12 か月、24 か月」から選択できます。

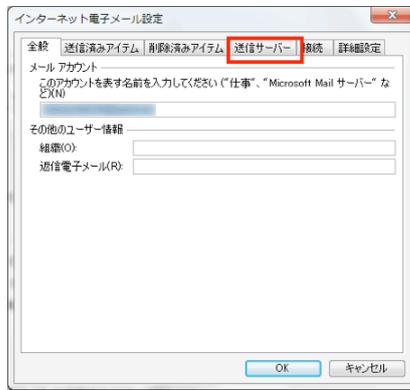
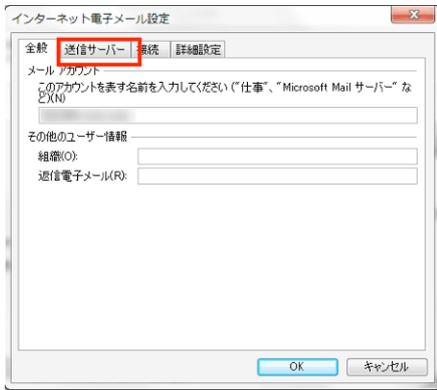
「受信メールサーバー」「送信メールサーバー」の設定について

ドメイン取得中・サーバー移転中などでドメイン接続が行えない場合は、サーバーの IP アドレスを設定します。この場合、送信はできますが、受信はできません。受信はドメイン接続ができるようになるまでお待ちください。

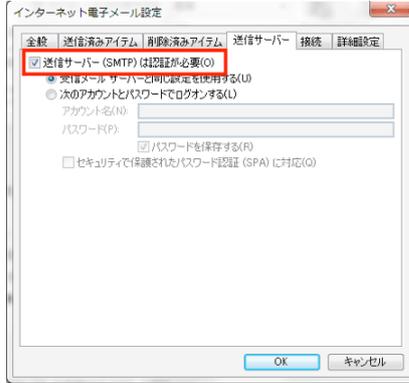
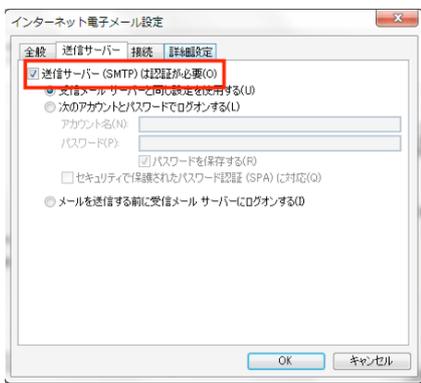
STEP4 SMTP AUTH の設定を行います。下図の[詳細設定]をクリックします。



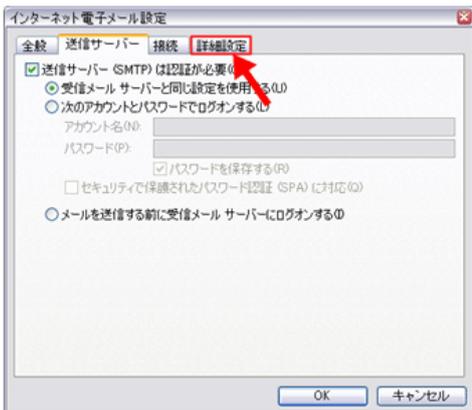
下図のようなウィンドウが表示されますので、上部のタブの「送信サーバー」をクリックします。
[POP 接続される場合の設定] **[IMAP 接続される場合の設定]**



次に、下図のように「送信サーバー(SMTP)は認証が必要」にチェックを入れます。
[POP 接続される場合の設定] **[IMAP 接続される場合の設定]**



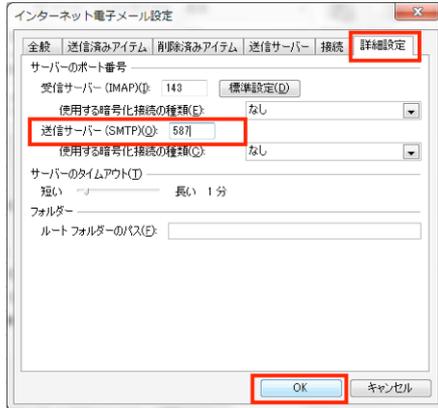
STEP5 サブミッションポート(OP25B)の設定



以下の画面で、「送信サーバー」の欄に入力されている「25」を「587」に変更して、[OK]をクリックします。

[POP 接続される場合の設定]

[IMAP 接続される場合の設定]



STEP6 設定アカウントの接続検証画面で、[次へ]をクリックします。



以下のような画面が表示され、設定したメールアカウントの接続検証が行われます。

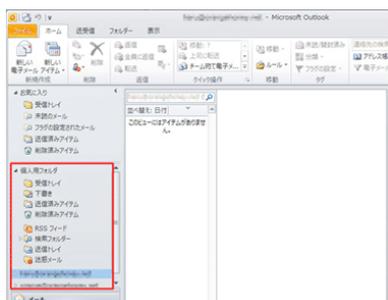
メールアカウントが正しく確認されれば、下図のように「状況」に「完了」が表示されますので確認後、[閉じる]をクリックします。



STEP7 アカウント設定完了画面が表示されます。



[完了]をクリックして、作業を終了です。追加されたメールアカウントは、下図のように「個人用フォルダ」の中に作成されています。



以上で、メールアカウントの追加設定は完了です。

Windows Live メール 2011 の設定

Windows Live メールはあらかじめ Microsoft 社のホームページからダウンロード、セットアップが必要です。

STEP1 設定情報の確認

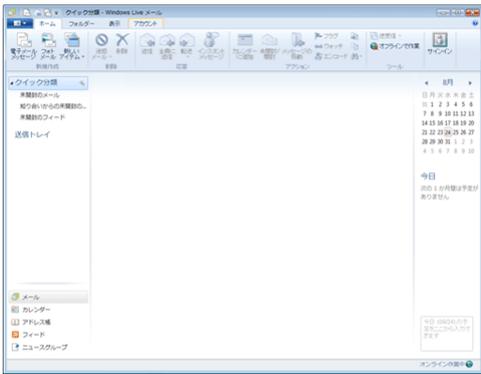
PlanManager にログインし、メールアドレス、POP3 サーバーまたは IMAP サーバー、SMTP サーバーの情報を確認します。

[マニュアル:PlanManager/ユーザー情報画面](#)

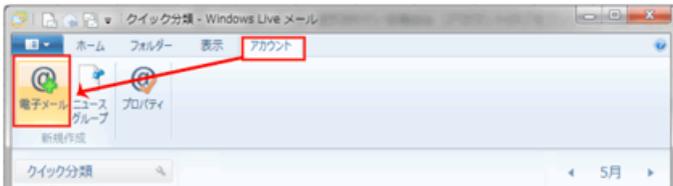
STEP2 Windows Live メール の起動

WindowsLive メールを起動すると、[ホーム] タブが選択された状態で起動します。

メール設定がされていない場合、STEP3 のアカウント設定画面が表示されます。

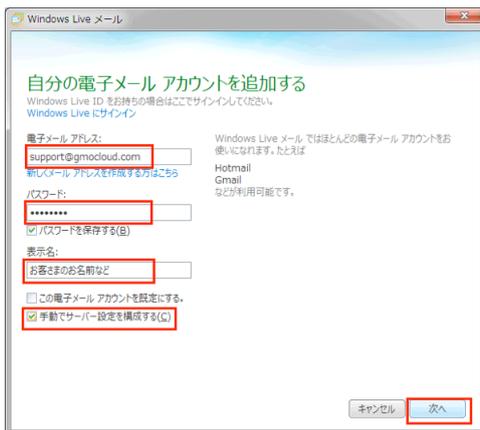


※既にメール設定がされている場合は、[アカウント]タブをクリックし、[@ + 電子メール]ボタンをクリックします。



STEP3 電子メールアカウントの追加

表示名、メールアドレス、パスワードを設定し、[次へ]をクリックします。



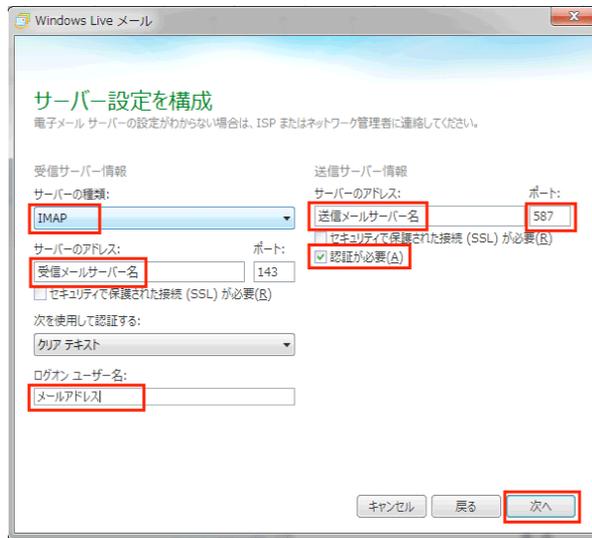
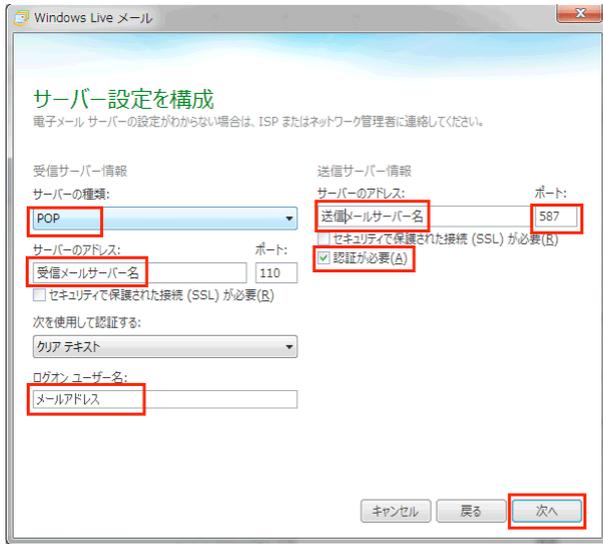
電子メールアドレス	メールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード
パスワードを保存する	チェックを入れます
表示名	お名前や会社名(このメールを受け取る側の、メールの送信者欄に表示されます。)
手動でサーバーを設定する	チェックを入れます

STEP4 サーバー設定を構成

※POP 接続または IMAP 接続のいずれかをご選択ください。

[POP 接続される場合の設定]

[IMAP 接続される場合の設定]



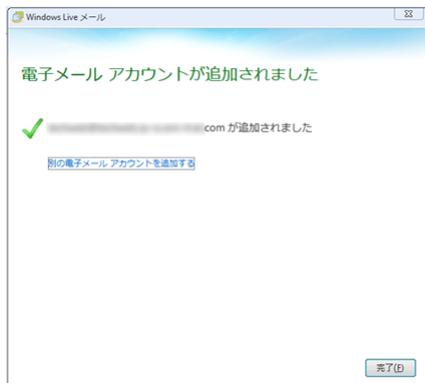
【受信サーバー情報】

サーバーの種類	POP / IMAP
サーバーのアドレス	POP3 の場合 「pop.ドメイン名」または IP アドレス（サーバー移行中の方は IP アドレスを入力） IMAP の場合 「imap.ドメイン名」または IP アドレス（サーバー移行中の方は IP アドレスを入力）
ログオンユーザー名	メールアドレス

【送信サーバー情報】(POP、IMAP 設定時ともに送信サーバー設定は共通です。)

サーバーのアドレス	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス（サーバー移行中の方は IP アドレスを入力）
ポート	587
認証が必要	チェックを入れます

STEP5 設定の終了 [完了]をクリックし、設定を終了します。



以上で設定は完了です。メールの送受信をお試しください。

Thunderbird の設定

メールソフトへの設定を行う事前準備として、[\[メールソフトの設定\]](#)の項目もご確認ください。

フリーソフト: [Mozilla Thunderbird](#)

STEP1 [新しいアカウント作成:]の[メール]をクリックします。



STEP2 [新しいメールアドレスを使いたい方]の画面が出るので[メールアカウントを設定する]をクリックします。



STEP3: [あなたのお名前]、[メールアドレス]、[パスワード]を入力して[続ける]をクリックします。



あなたのお名前(N)	使用者のお名前や企業名などを入力 (日本語登録が可能です)
メールアドレス(L)	設定するメールアドレスを入力
パスワード(P)	PlanManage で設定したメールアドレスのパスワードを入力

STEP4 画面左側にボタンが表示されたら[IMAP(リモートフォルダ)]または[POP(メールをコンピュータに保存)]にチェックを入れて[手動設定]をクリックします。

[POP 接続される場合の設定]



[IMAP 接続される場合の設定]



STEP5 アカウント情報の登録

※POP 接続または IMAP 接続のいずれかをご選択ください。

[POP 接続される場合の設定]

[IMAP 接続される場合の設定]



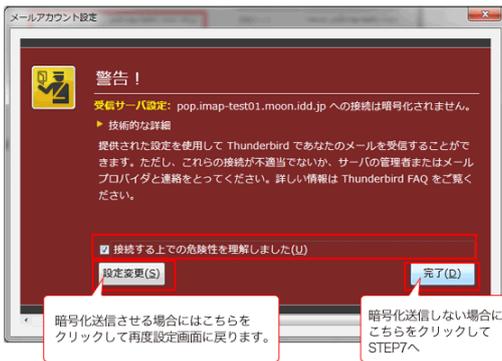
ユーザ名	メールアドレスを入力
送信サーバの認証方式	[暗号化されたパスワード認証]に変更

STEP6: ※POP 接続のみ。IMAP 接続の場合には STEP7 に進みます。

Thunderbird では SSL 利用を推奨しているため、SSL を利用しない場合は警告画面が表示されます。

[接続するうえでの危険性を理解しました]にチェックを入れて[完了]をクリックすると、STEP7 に進みます。

暗号化させる場合には、[設定変更]ボタンをクリックすると、STEP5 で設定した画面が表示されますので、受信サーバの設定を SSL/TLS に設定を変更のうえ、再度[完了]をクリックします。



暗号化送信させる場合にはこちらをクリックして再度設定画面に戻ります。

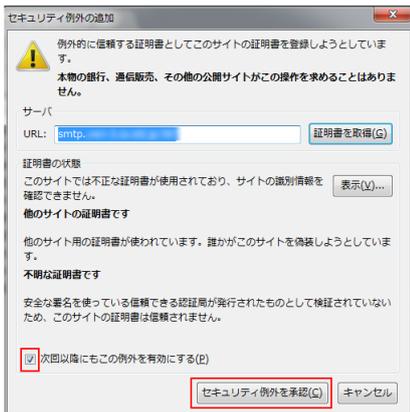
暗号化送信しない場合にはこちらをクリックしてSTEP7へ

STEP7 メールアカウントが追加されていることを確認します。



※念のため、自分から自分宛てに送信などのテストを行って、正しく設定できているかご確認ください。

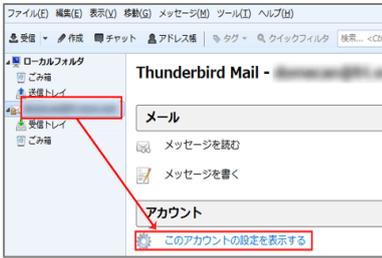
※送信時に下記の傾向画面が表示されますので、[セキュリティ例外を承認]ボタンをクリックしてください。



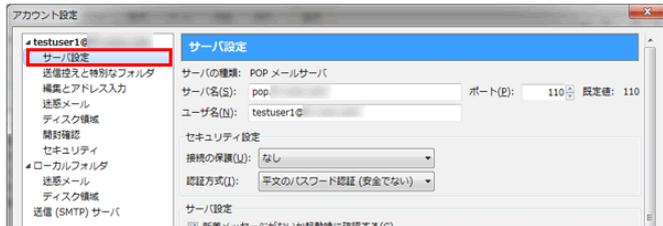
■既存の設定変更や削除をする

・パスワード以外の変更を行う場合

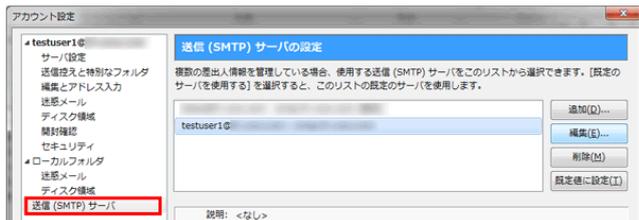
STEP1::メニューバーのメールアドレスをクリック後、[このアカウントの設定を表示する]をクリックします。



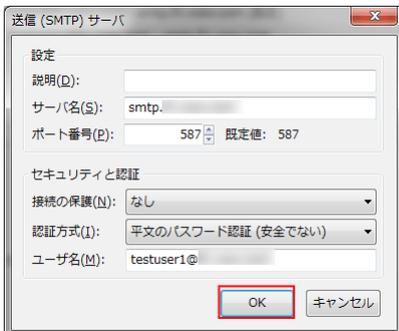
STEP2 左側メニューの[サーバ設定]をクリックし、各種情報を修正します。



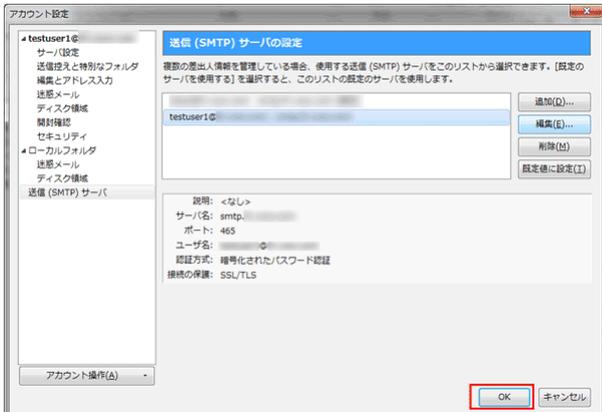
STEP3 変更後、左側メニューの[送信(SMTP)サーバ]をクリックし、対象サーバを選択して[編集]をクリックします。



STEP4 各項目を修正して[OK]をクリックして変更完了となります。



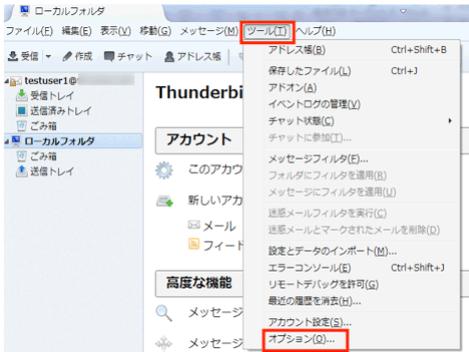
STEP5 SMTP サーバ設定の画面が消えるので[OK]をクリックして完了となります。



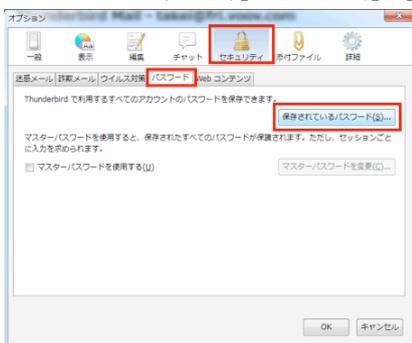
※変更設定が終わったら、テスト送受信を行っていただくことをお勧めいたします。

■パスワードを変更・修正する場合

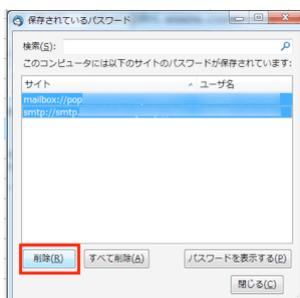
STEP1 メニューバーの[ツール]の[オプション]をクリックします。



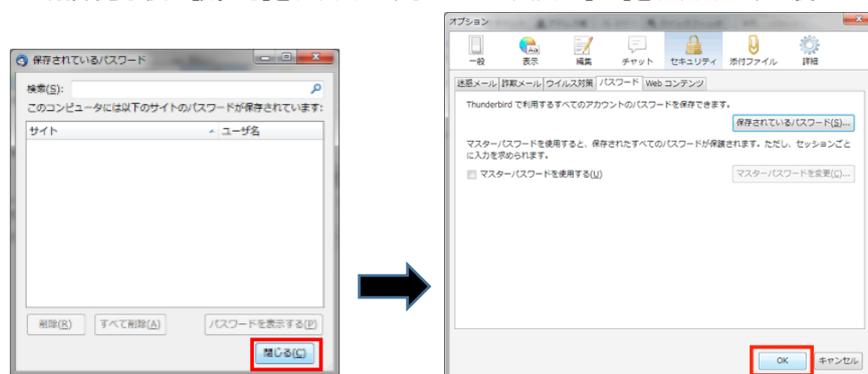
STEP2 メニューの中から、[セキュリティ]の[パスワード]と進み、[保存されているパスワード]をクリックします。



STEP3 保存されているパスワードの変更はできないため、pop、smtp の両方を選択して[削除]をクリックします。



STEP4 :削除完了後に[閉じる]をクリックし、オプション画面の[OK]をクリックし、一度 Thunderbird 自体もいったん終了させます。



STEP5 再度 Thunderbird を立ち上げるとパスワードの入力画面が出ますので、パスワードを入力し [パスワードマネージャにこのパスワードを保存する]にチェックを入れて、[OK]をクリックして完了です。

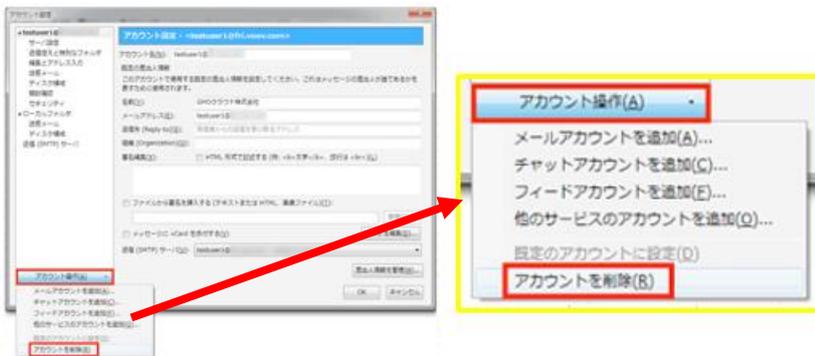


■メールアドレスを削除する場合

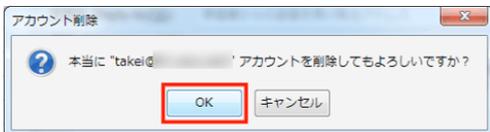
STEP1 メニューバーの[ツール]から、[アカウント設定]をクリックします。



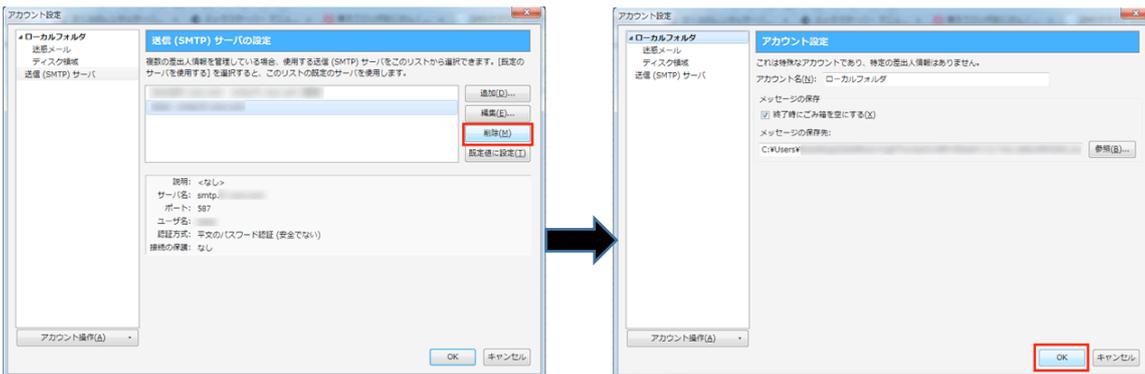
STEP2 対象のメールアドレスを選択して、左下の[アカウント操作]から[アカウントを削除]をクリックします。



STEP3 確認画面が出ますので、削除するメールアドレスに間違いがないか確認してから[OK]をクリックします。



STEP4 対象メールアドレスの smtp サーバ情報も同様に削除し、[OK]で閉じます。



STEP5 左側のメニューからメールアドレスが削除されていることが確認できます。

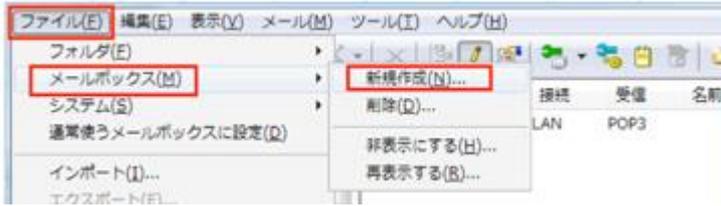


※メールアドレス自体が不要の場合には、PlanManager にて[ユーザーの削除]も行ってください。

Becky!の設定

メールソフトへの設定を行う事前準備として、[\[メールソフトの設定\]](#)の項目もご確認ください。

STEP1 メニューの中の[ファイル]の[メールボックス]の[新規作成]をクリックします。



STEP2 メールアカウントの追加にて基本情報を入力して[OK]をクリックします。

[POP 接続される場合の設定]

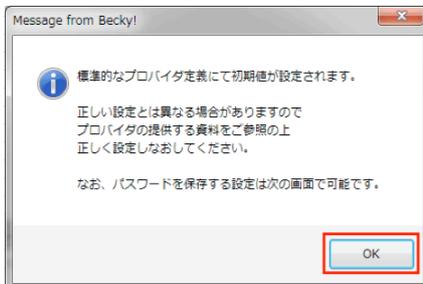


[IMAP 接続される場合の設定]



メールボックスの通称	作成後に左側の表示されるメールボックスの名称となります。
名前	受信側にてメールの差出人として表示されます(日本語可)
メールアドレス	PlanManager で登録したユーザー名@ドメイン名
受信プロトコル	POP3 または IMAP4rev1 を選択。

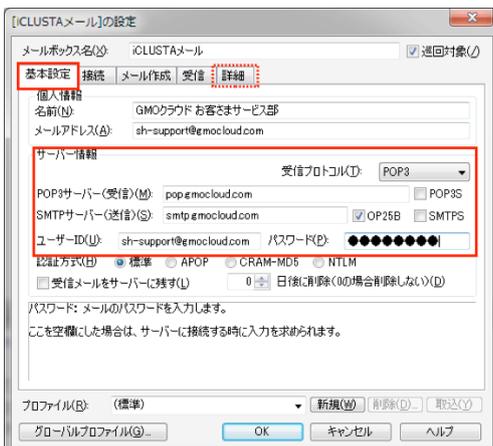
下記のメッセージが出ますので、[OK]をクリックします。



STEP3:[基本設定]の各項目を入力後、[詳細]タブへ移動します。

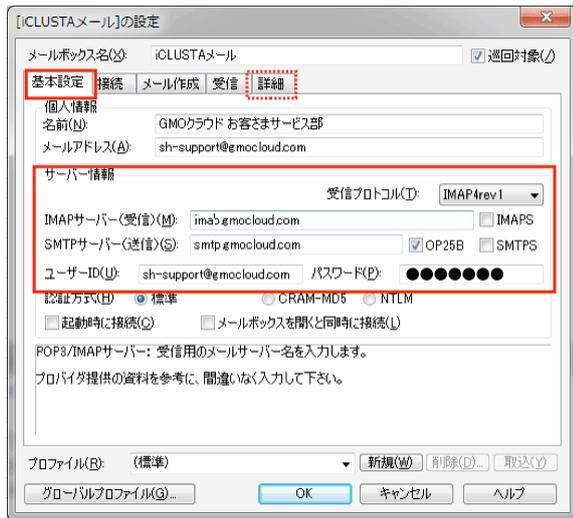
※POP 接続または IMAP 接続のいずれかをご選択ください。

[POP 接続される場合の設定]



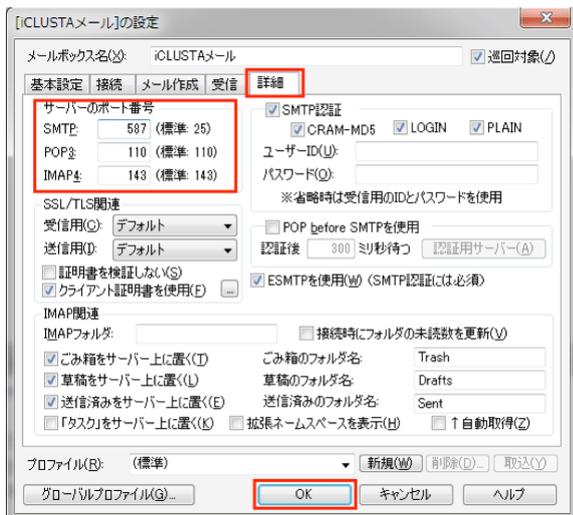
POP3 サーバー(受信)	「pop.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)
SMTP サーバー(送信)	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)
ユーザーID	電子メールアドレスと同じ(ユーザー名@ドメイン名)となります
パスワード	PlanManager にてユーザー登録で設定したパスワードを入力
受信メールをサーバーに残す	チェックを入れると受信後もサーバーに残り、Web メールでの確認や、他の PC での受信も可能となりますがサーバー容量が上限に達して受信できなくなる場合がございます。

[IMAP 接続される場合の設定]



IMAP サーバー(受信)	「imap.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)
SMTP サーバー(送信)	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス (サーバー移行中の方は IP アドレスを入力)
ユーザーID	電子メールアドレスと同じ(ユーザー名@ドメイン名)となります
パスワード	PlanManager にてユーザー登録で設定したパスワードを入力
起動時に接続	チェックを入れると Becky!を接続した時に自動的にメールサーバーに接続されます。

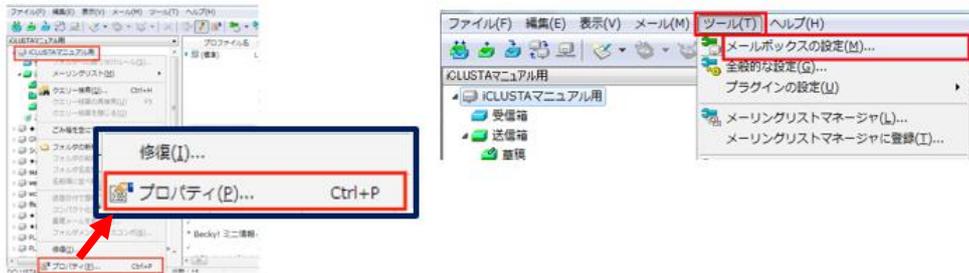
STEP4 [詳細]タブにて送受信の項目を入力後、[OK]をクリックして設定完了です。



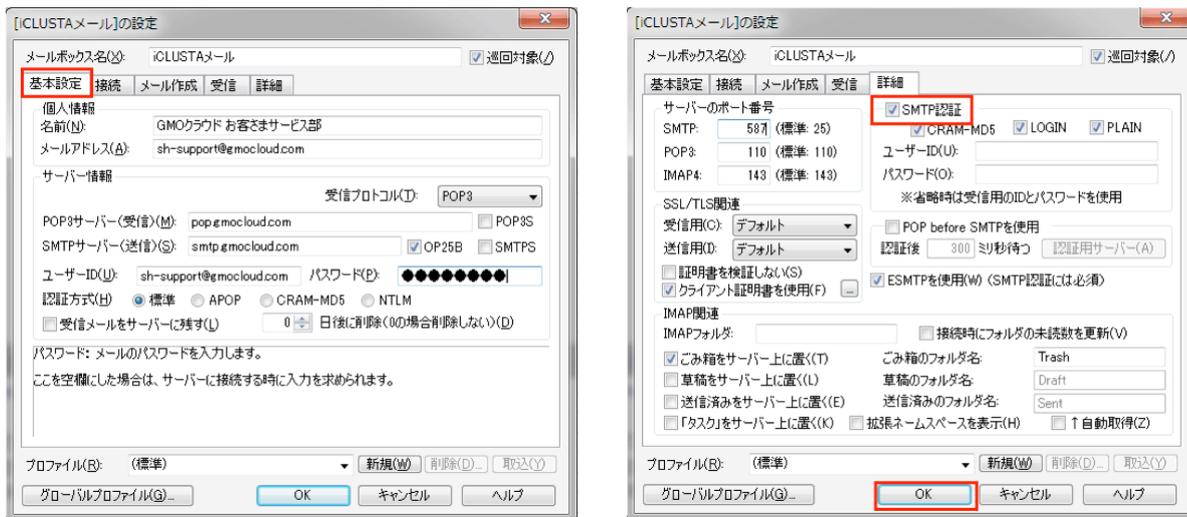
※念のため、自分から自分宛てに送信などのテストを行って、正しく設定できているかご確認ください。

■既存の設定の変更

STEP1 メールアドレスを右クリックして[プロパティ]をクリック、または[ツール]から[メールボックスの設定]をクリックします。



STEP2 各種変更したい項目を修正して[OK]をクリックします。



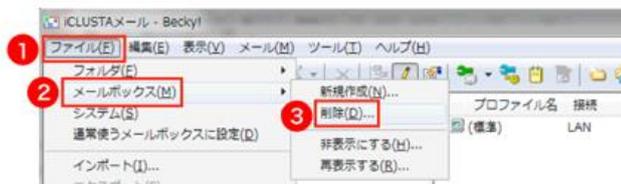
※変更設定が終わったら、テスト送受信を行っていただくことをお勧めいたします。

■既存の設定の削除

STEP1 削除をしたいメールボックスをクリックします。



STEP2 メニューから、[ファイル]>[メールボックス]>[削除]の順にクリックします。



STEP3 削除の確認画面が出ますので、十分に確認のうえ[はい]をクリックします。



STEP4 左側のメールボックスが削除されていることを確認して完了です。

※メールアドレス自体が不要の場合には、PlanManagerにて[ユーザーの削除]も行ってください。

SMTP over SSL の設定

SMTP over SSL はメール送信の際、お客様のパソコン上のメールソフトから、当社サーバーまでの通信経路上を SSL によって暗号化して通信を行う機能です。

SMTP over SSL をご利用の際には、SMTP over SSL に対応したメールソフトが必要です。

メールソフトにてメールの送受信の設定をされていない方は、各種メールソフトのマニュアルをご参考のうえ、設定を行ってください。

[Outlook2013 の SMTP over SSL 設定](#)

[Thunderbird の SMTP over SSL 設定](#)

[Becky! の SMTP over SSL 設定](#)

Outlook2013 の SMTP over SSL 設定

Outlook2013 の基本設定方法は[\[Outlook2013 の設定\]](#)をご確認ください。

STEP1 Outlook2013 を起動し、[ファイル]をクリックします。



STEP2 [情報]の[アカウント設定]の中から[アカウント設定(A)]をクリックします。



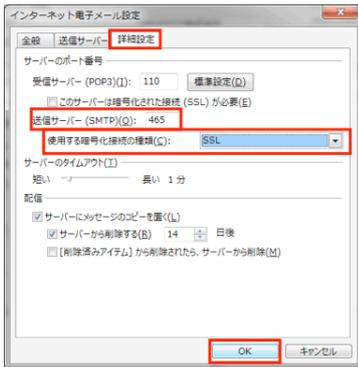
STEP3 変更するメールアドレスを選択し、[変更(A)...]をクリックします。



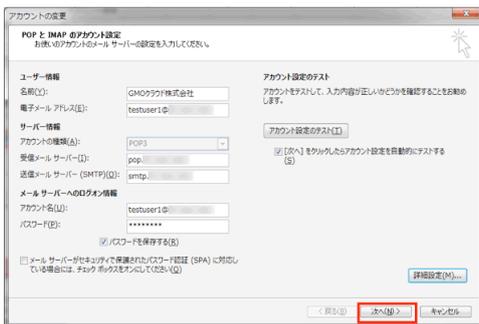
STEP4 [詳細設定]をクリックします。



STEP5 SMTP over SSL の設定をします。[送信サーバー(SMTP)(O)]欄を”25”を”465”に変更し、[使用する暗号化接続の種類(C)]:にて「SSL」を選択し、[OK]をクリックします。

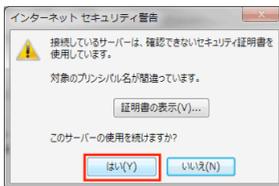


STEP6 アカウント設定のテスト [アカウントの変更]の画面に戻るので[次へ]をクリックします。

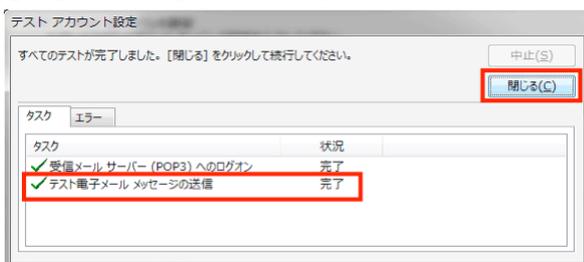


※下記の警告画面が出るので[はい]をクリックして閉じます。

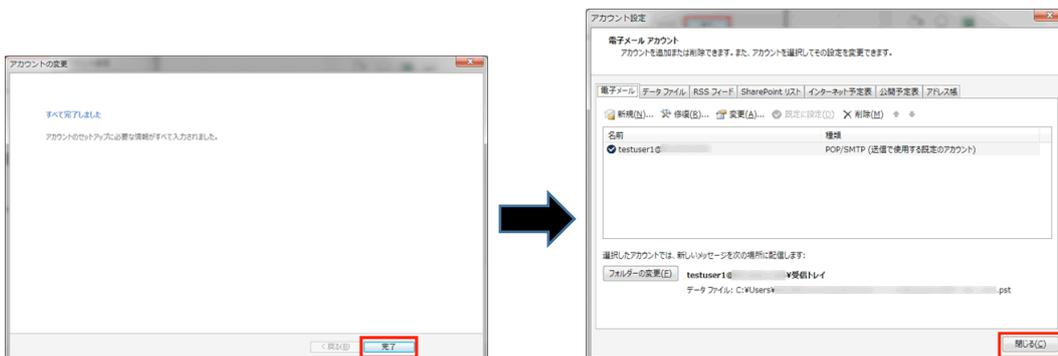
(共用サーバーのため、設定したドメインと証明書のドメイン名が異なるために警告が表示されますが、ご利用に問題はございません。)



STEP7 インターネットセキュリティ警告にて[はい]をクリック後、[テスト電子メール メッセージの送信]が[完了]と表示されるので[閉じる]をクリックします。



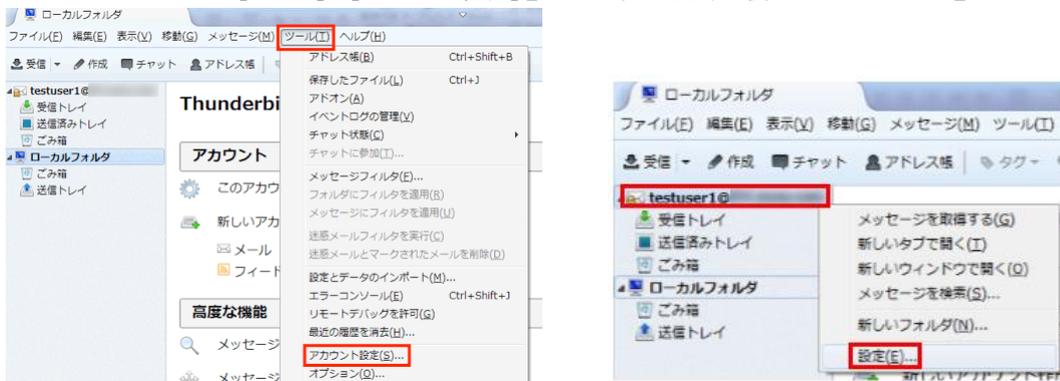
STEP8: [完了]をクリックして設定は完了です。



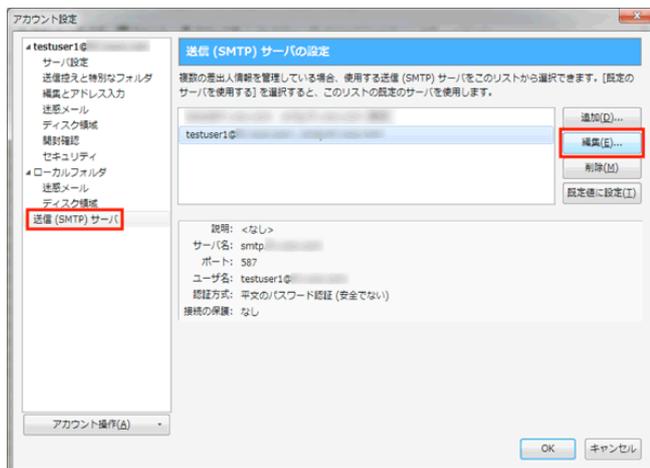
Thunderbird の SMTP over SSL の設定

Thunderbird の基本設定方法は[[Thunderbird の設定](#)]をご確認ください。

STEP1 メニューバーの[ツール]の[アカウント設定]をクリック。または、左側のメールアドレスを右クリックして[設定]をクリックします。



STEP2 左側メニューの[送信(SMTP)サーバ]をクリックし、対象サーバを選択して[編集]をクリックします。



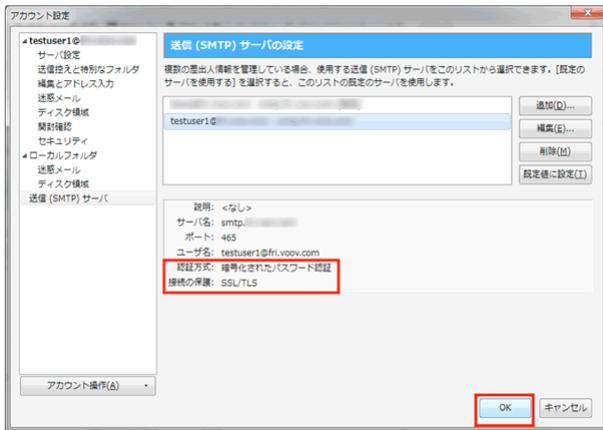
STEP3 ポート番号を「465」に変更し、[接続の保護]の項目にて[SSL/TLS]を選択し、
認証方式を[暗号化されたパスワード認証]を選択して[OK]をクリック



送信設定時の各ポート番号と認証方式

	通常の設定	STATSLT を利用する場合	SSL を利用する場合
ポート	587	587	465
接続の保護	なし	STATTLS	SSL/TLS
認証方式	平文のパスワード認証(安全でない)	暗号化されたパスワード認証	通常のパスワード認証

STEP4 アカウント設定の画面に戻り、設定が変更されていることを確認し、[OK]をクリックして完了となります。

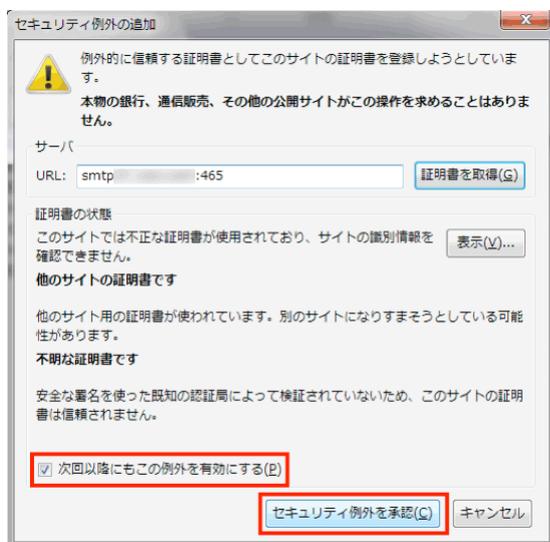


※STARTTLSを利用する設定にしたあとの、初回の送信時に下記のエラーが出ます。

1.[メッセージの送信エラー]が出たら[OK]をクリックして送信前のメール画面を閉じます。



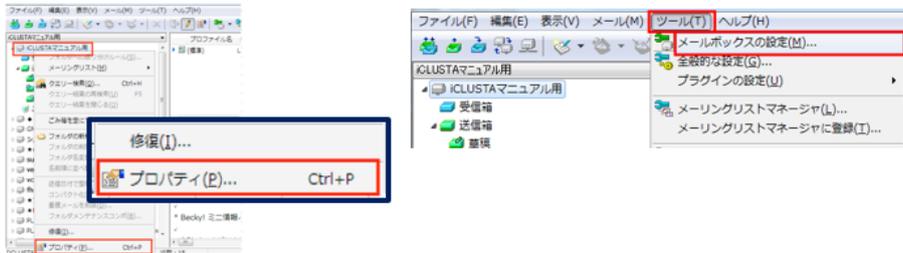
2.送信しようとしたメールを閉じると「セキュリティ例外の追加」画面が出ているので、「次回以降にもこの設定を有効にする」にチェックを入れ「セキュリティ認証を承認」をクリックしたあとに再度送信をお試しください。



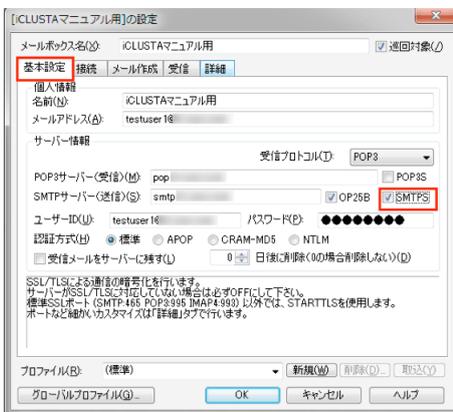
Becky!のSMTP over SSL の設定

Becky!の基本設定方法は[Becky!の設定](#)をご確認ください。

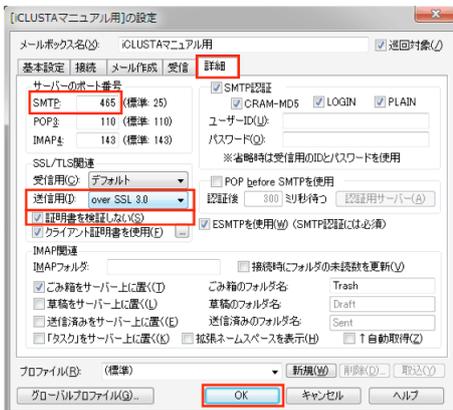
STEP1 対象のメールアドレスを右クリックして[[プロパティ]をクリック、または [ツール] から [メールボックスの設定] をクリックします。



STEP2 [基本設定]の項目にて、[SMTPS] にチェックを入れます。



STEP3 [詳細] タブをクリックし、SMTP ポートを「465」に変更し、SSL/TLS 関連の [送信用] の選択肢から [over SSL 3.0] を選択し [証明書を検証しない] にチェックを入れて[OK]をクリックします。



送信設定時の各ポート番号と認証方式

	通常の設定	STATSLT を利用する場合	SSL を利用する場合
送信ポート	587	587	465
SSL/TSL の設定	デフォルト	STARTTLS	over SSL 3.0

※設定が終わったら、テスト送受信を行っていただくことをお勧めいたします。

STARTTLS の設定

STARTTLS はメール送信の際、お客様のパソコン上のメールソフトから、当社サーバーまでの通信経路上を TLS によって暗号化して通信を行う機能です。

STARTTLS をご利用の際には、STARTTLS に対応したメールソフトが必要です。

メールソフトにてメールの送受信の設定をされていない方は各種メールソフトのマニュアルをご参考のうえ、設定を行ってください。

[Outlook2013 の STARTTLS 設定](#)

[Thunderbird の STARTTLS 設定](#)

[Becky! の STARTTLS 設定](#)

Outlook2013 の STARTTLS の設定

Outlook2013 の基本設定方法は[\[Outlook2013 の設定\]](#)をご確認ください。

STEP1 Outlook2013 を起動し、[ファイル]をクリックします。



STEP2 [情報の[アカウント設定]の中から[アカウント設定(A)]をクリックします。



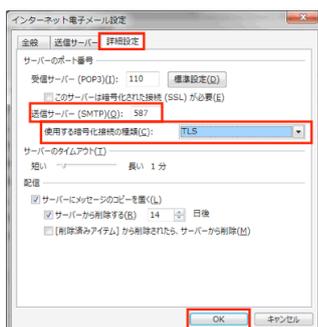
STEP3 変更するメールアドレスを選択し、[変更(A)…]をクリックします。



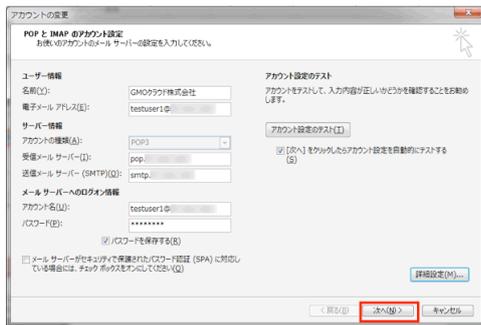
STEP4 [詳細設定]をクリックします。



STEP5 [送信サーバー(SMTP)(O) 欄を”25”を”587”に変更し、[使用する暗号化接続の種類(C):]にて「TLS」を選択し、[OK] をクリックします。

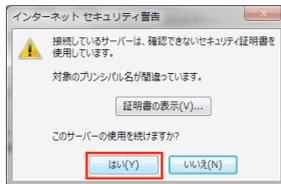


STEP6 [アカウントの変更]の画面に戻るので[次へ]をクリックします。

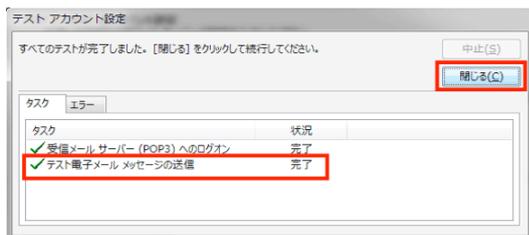


※下記の警告画面が出るので[はい]をクリックして閉じます。

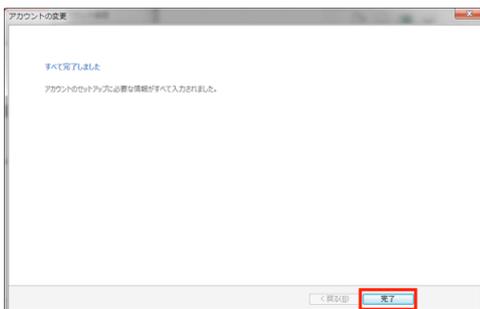
(共用サーバーのため、設定したドメインと証明書のドメイン名が異なるために警告が表示されますが、ご利用に問題はございません。)



STEP7 インターネットセキュリティ警告にて[はい]をクリック後、[テスト電子メール メッセージの送信]が[完了]と表示されるので[閉じる]をクリックします。



STEP8 [完了]をクリックし、アカウント設定の画面も閉じて終了となります。

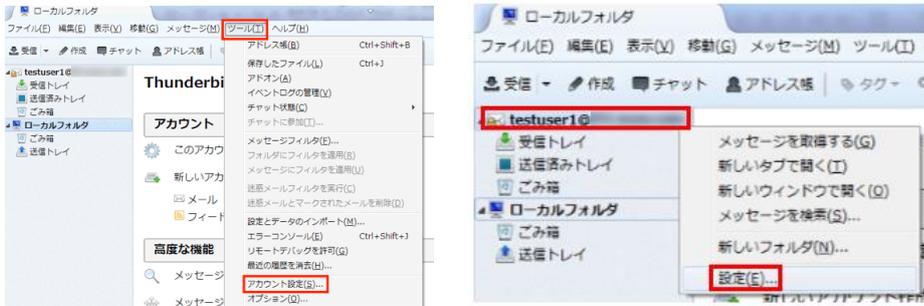


Thunderbird の STARTTLS の設定

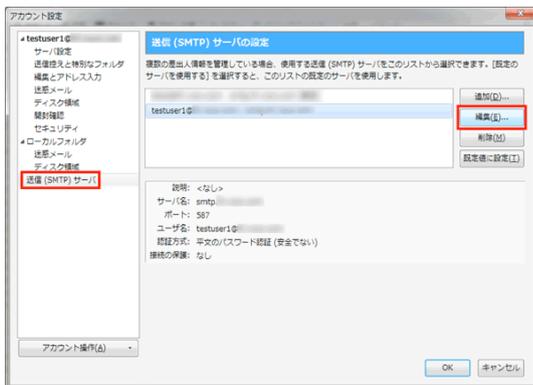
Thunderbird の基本設定方法は[[Thunderbird の設定](#)]をご確認ください。

STEP1 メニューバーの[ツール]の[アカウント設定]をクリックします。

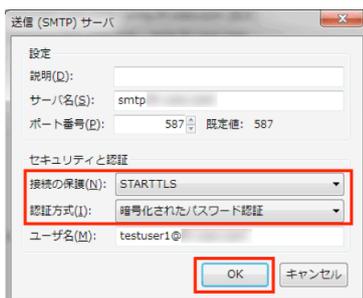
または、左側のメールアドレスを右クリックして[設定]をクリックします。



STEP2 左側メニューの[送信(SMTP)サーバ]をクリックし、対象サーバを選択して[編集]をクリックします。



STEP3 ポート番号は「587」、[接続の保護]の項目にて[STARTTLS]を選択し、認証方式を[暗号化されたパスワード認証]を選択して[OK]をクリックします。

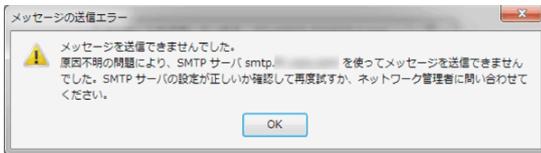


STEP4 アカウント設定の画面に戻り、設定が変更されていることを確認し、[OK]をクリックして完了となります。

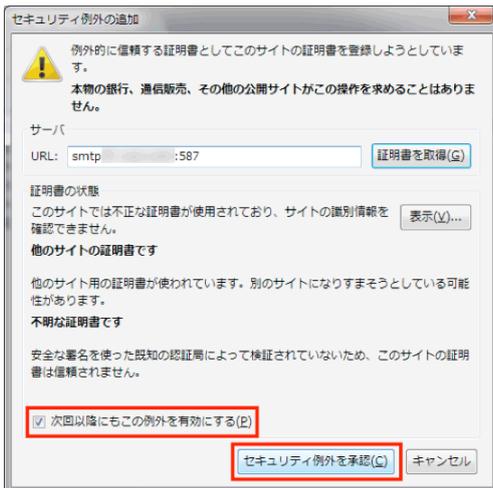


※STARTTLS を利用する設定にしたあとの、初回の送信時に下記のエラーが出ます。

1.[メッセージの送信エラー]が出たら[OK]をクリックして送信前のメール画面を閉じます。



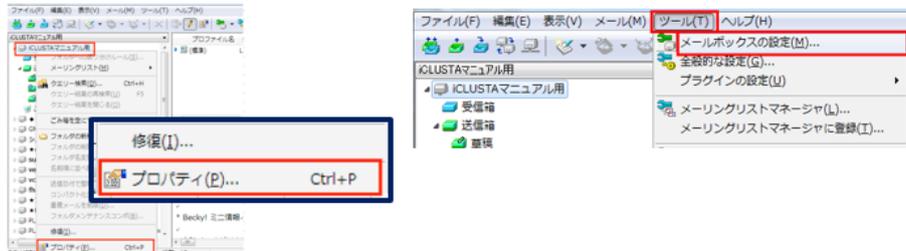
2.送信しようとしたメールを閉じると「セキュリティ例外の追加」画面が出ているので、「次回以降にもこの設定を有効にする」にチェックを入れ「セキュリティ認証を承認」をクリックしたあとに再度送信をお試しください。



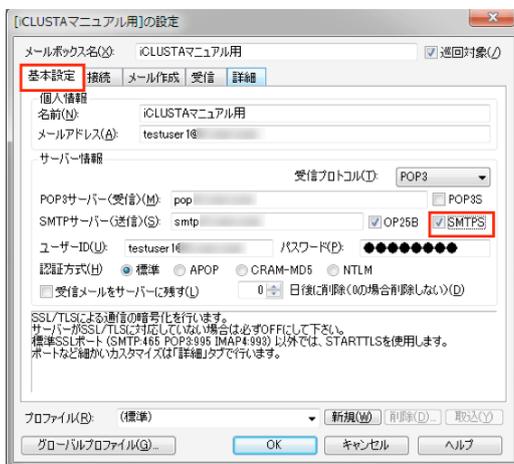
Becky!の STARTTLS の設定

Becky!の基本設定方法は[Becky!の設定](#)をご確認ください。

STEP1 対象のメールアドレスを右クリックして[プロパティ]をクリック、または[ツール]から[メールボックスの設定]をクリックします。



STEP2 [基本設定]の項目にて、[SMTPS] にチェックを入れます。



STEP3 [詳細]タブをクリックし、SMTP ポートは「587」のまま、SSL/TLS 関連の [送信用] の選択肢から [STARTTLS] を選択し [証明書を検証しない] にチェックを入れて[OK]をクリックします。



※設定が終わったら、テスト送受信を行っていただくことをお勧めいたします。

POP over SSL の設定

PPOP over SSL はメール受信の際、当社サーバーから、お客様のパソコン上のメールソフトまでの通信経路上を SSL によって暗号化して通信を行う機能です。

メールソフトにてメールの送受信の設定をされていない方は、各種メールソフトのマニュアルをご参考のうえ、設定を行ってください。

[Outlook2013 の POP over SSL 設定](#)

[Thunderbird の POP over SSL 設定](#)

[Becky! の POP over SSL 設定](#)

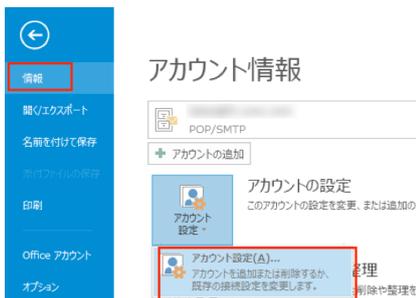
Outlook2013 の POP over SSL 設定

Outlook2013 の基本設定方法は[\[Outlook2013 の設定\]](#)をご確認ください。

STEP1 Outlook2013 を起動し、[ファイル]をクリックします。



STEP2 [情報]の[アカウント設定]の中から[アカウント設定(A)]をクリックします。



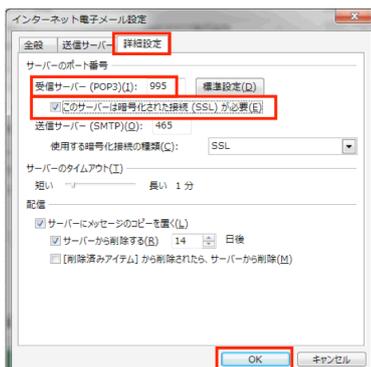
STEP3 変更するメールアドレスを選択し、[変更(A)…]をクリックします。



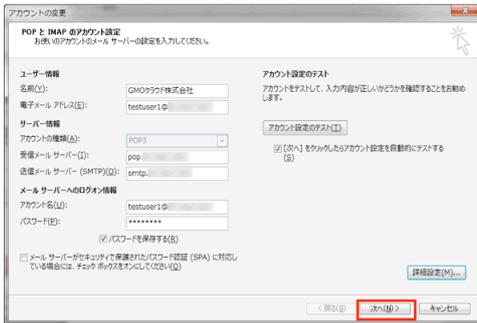
STEP4 [詳細設定]をクリックします。



STEP5 [受信サーバー(POP)(O)] 欄を”110”から”995”に変更し、[このサーバーは暗号化された接続(SSL)が必要(E)] にチェックを入れて、[OK]をクリックします。

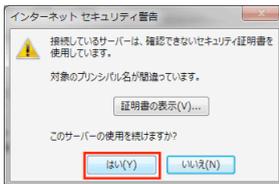


STEP6 アカウント設定のテスト [アカウントの変更]の画面に戻るので[次へ]をクリックします。

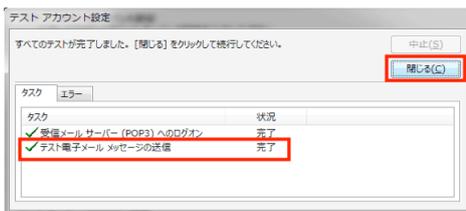


※下記の警告画面が出るので[はい]をクリックして閉じます。

(共用サーバーのため、設定したドメインと証明書のドメイン名が異なるために警告が表示されますが、ご利用に問題はございません。)



STEP7 インターネットセキュリティ警告にて[はい]をクリック後、[テスト電子メール メッセージの送信]が[完了]と表示されるので[閉じる]をクリックします。



STEP8: [完了]をクリックして設定は完了です。

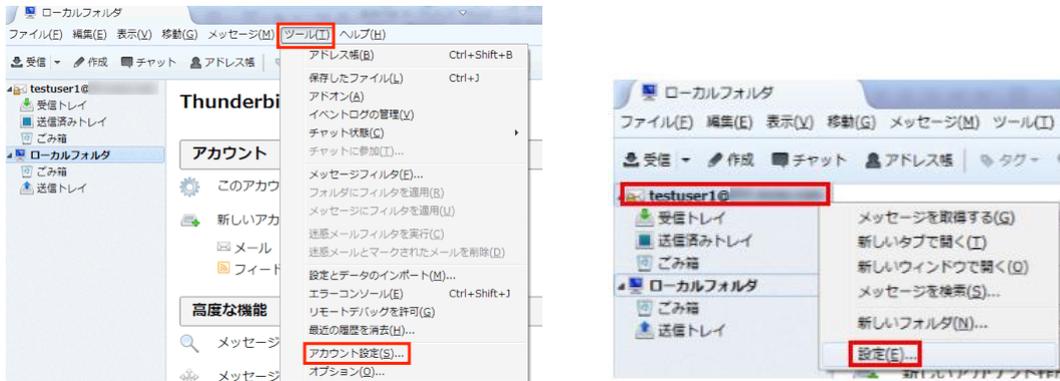


※変更設定が終わったら、テスト送受信を行っていただくことをお勧めいたします。

Thunderbird の POP over SSL の設定

Thunderbird の基本設定方法は[[Thunderbird の設定](#)]をご確認ください。

STEP1 メニューバーの[ツール]の[アカウント設定]をクリック、または左側のメールアドレスを右クリックして[設定]をクリックします。



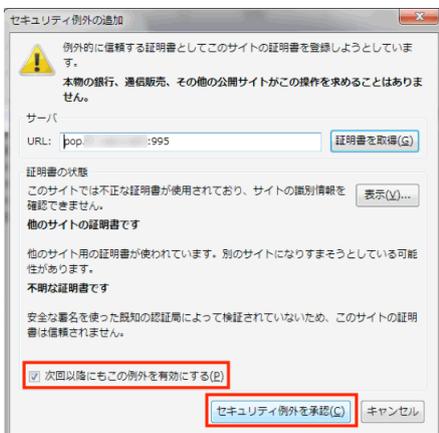
STEP2 左側メニューの [サーバ設定] をクリックし、[接続の保護] にて [SSL/TLS] を選択するとポート番号が「995」に変更されます。[認証方式] にて[暗号化されたパスワード認証] を選択し、[OK] をクリックします。



受信設定時の各ポート番号と認証方式

	通常の設定	SSLを利用する場合
ポート	110	995
接続の保護	なし	SSL/TLS
認証方式	平文のパスワード認証(安全でない)	通常のパパスワード認証

※設定にしたあとの、初回の受信時に下記のエラーが出ますので、[次回以降にもこの設定を有効にする] にチェックを入れ [セキュリティ認証を承認] をクリックしたあとに再度送信をお試しください。



※変更設定が終わったら、テスト送受信を行っていただくことをお勧めいたします。

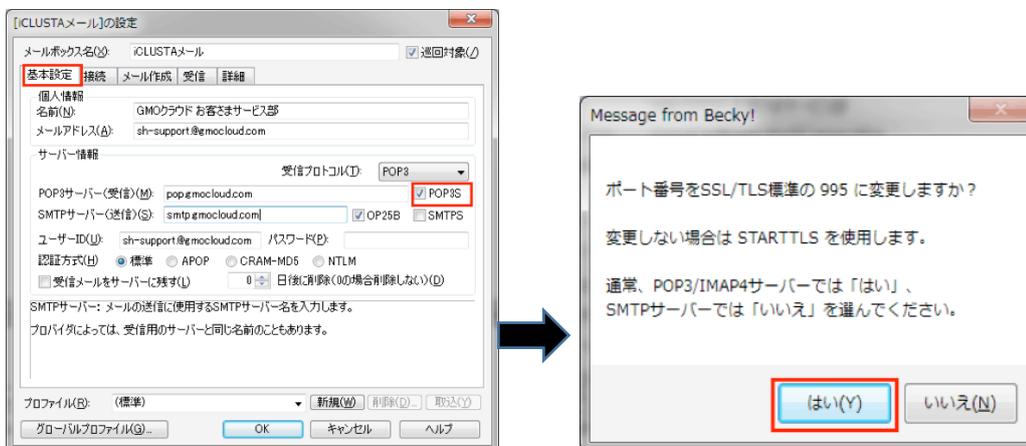
Becky!のPOP over SSLの設定

Becky!の基本設定方法は[\[Becky!の設定\]](#)をご確認ください。

STEP1 対象のメールアドレスを右クリックして[[プロパティ]をクリック、または [ツール] から [メールボックスの設定] をクリックします。



STEP2 [基本設定]の項目にて、[POP3S] にチェックを入れます。※下記の画面が出てくるので、[OK]をクリックします。



STEP3 [詳細] タブに移動し、SSL/TLS 関連の [受信用] の選択肢から [over SSL 3.0] を選択し [証明書を検証しない] にチェックを入れて[OK]をクリックします。

※POP3 のポートは「995」に変更されています。



※設定が終わったら、テスト送受信を行っていただくことをお勧めいたします。

Mac のメール設定

本ガイドは、バージョン El Capitan でのメール設定の手順をご案内となります。

メール設定に必要なメールサーバー情報やパスワードについては、下記の FAQ をご参照のうえご確認ください。

FAQ:[メール設定に必要なパスワードなどの情報がわかりません。](#)

STEP1 Dock より[メール]を選択します。



STEP2 [メールアカウントのプロバイダを選択]の画面にて[その他のメールアカウント]にチェックし[続ける]ボタンをクリックします。
※既に別のメールアドレスが登録されている場合には、メニューから[メール]を選択し、[アカウントを追加]を選択すると、[メールアカウントのプロバイダを選択]の画面が表示されます。



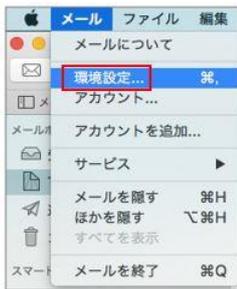
STEP3 [メールアカウントを追加]画面で各項目を入力します。

名前	受信者側に表示される名称
メールアドレス	設定するメールアドレス
パスワード	メールアドレスのパスワード

STEP4 メールサーバなどを入力する画面が表示されますので、入力して[サインイン]をクリックします。

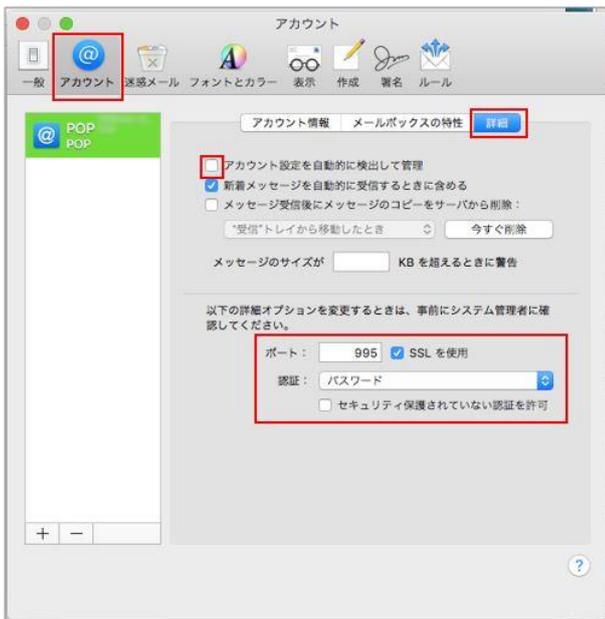
メールアドレス	設定するメールアドレス
ユーザ名	メールアドレスを入力
パスワード	メールアドレスのパスワード
アカウントの種類	POP を選択
受信メールサーバ	「pop.ドメイン名」または IP アドレス
送信メールサーバ	「smtp.ドメイン名」または IP アドレス

STEP5 [メール]メニューから[環境設定]をクリックします。

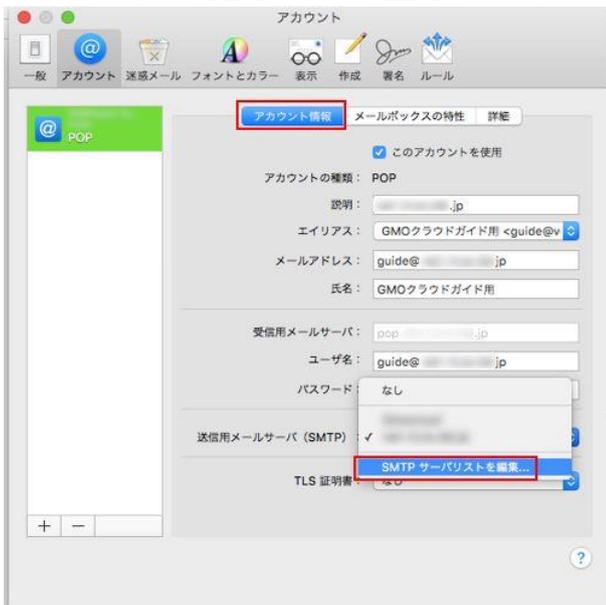


ポート	110 から 995 に変更
SSL を使用	チェックを 入れる
認証	[パスワード]を選択
セキュリティ保護されていない認証を許可	チェックを 入れない

STEP6 [アカウント]画面にて[詳細]メニューをクリックし、受信メールサーバの設定を変更します。

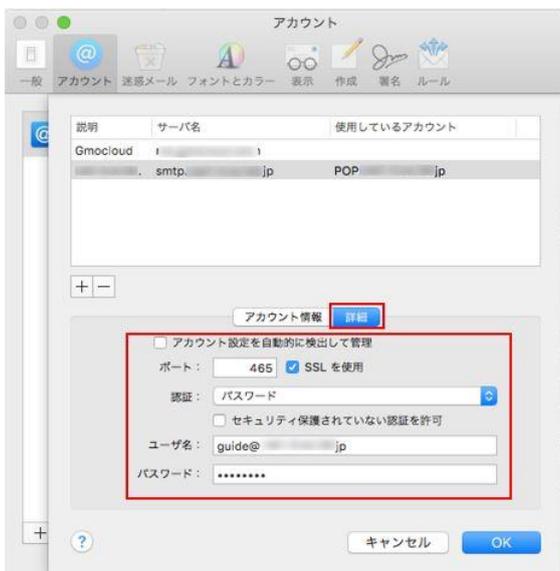


STEP7 [アカウント情報]をクリックし、[送信用メールサーバ(SMTP)]から[SMTP サーバリストを編集]をクリックします。

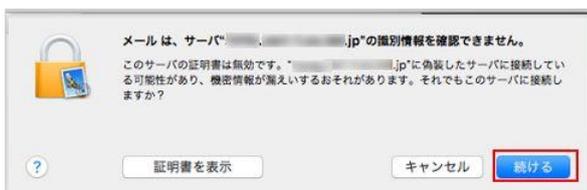


STEP8 [詳細]メニューにて送信メールサーバの設定を変更して[OK]ボタンをクリックします。

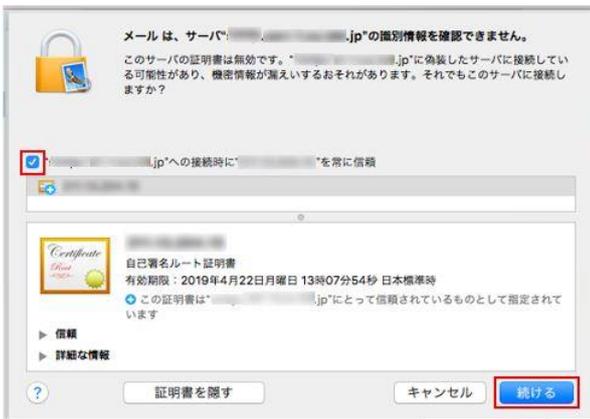
アカウント設定を自動的に検出して管理	チェックを 外す
ポート	587 または 465 に変更
SSL を使用	チェックを 入れる
認証	[パスワード]を選択
セキュリティ保護されていない認証を許可	チェックを入れない



STEP9 smtp、pop それぞれ確認事項が表示されますので、[続ける]ボタンをクリックします。



STEP10 [メールサーバ名を常に信頼する]の項目にチェックを入れて、[続ける]ボタンをクリックします。



STEP11 設定変更許可の認証を求められますので、**ご利用の PC のログイン情報を入力**して[設定をアップデート]をクリックします。



STEP12 以上で設定は完了です。
テスト送受信をお試しください。

iPhone の設定

iPhone メールアカウント設定方法

STEP1 iPhone の『設定』から『メール/連絡先/カレンダー』を選択し、次の画面ではアカウント>アカウントを追加 を選択します。



※新規で作成される場合は、『その他』を選択、追加される場合は、『メールアカウントを追加』のボタンを選択します。



STEP2 『新規アカウント』の画面で基本情報を入力します。

キャンセル 新規アカウント 次へ

名前 John Appleseed
 メール user@example.com
 パスワード 必須
 説明 自分のメールアカウント

名前	差出人として受信者に表示されます。
メール	メールアドレスを入力します。
パスワード	上記メールアドレスのパスワードを入力します。
説明	iPhone に表示されるメールの名称です。

STEP3 『新規アカウント』の画面でメールサーバー情報を入力します。

[POP 接続される場合の設定]

[IMAP 接続される場合の設定]

キャンセル 新規アカウント 保存

IMAP POP

名前 GMO CLOUD
 メール [redacted]
 説明 [redacted]

受信メールサーバ

ホスト名 mail.example.com
 ユーザ名 必須
 パスワード [redacted]

送信メールサーバ

ホスト名 smtp.example.com
 ユーザ名 オプション
 パスワード オプション

キャンセル 新規アカウント 次へ

IMAP POP

名前 テストIMAP
 メール [redacted]
 説明 [redacted]

受信メールサーバ

ホスト名 mail.example.com
 ユーザ名 必須
 パスワード [redacted]

送信メールサーバ

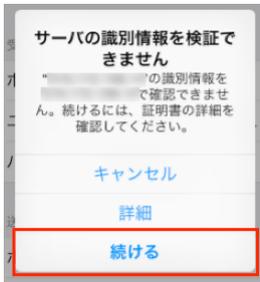
ホスト名 smtp.example.com
 ユーザ名 オプション
 パスワード オプション

受信メールサーバ	
ホスト名	受信用メールサーバー名を入力します。 例:ドメイン名が example.com で IMAP 接続の場合:imap.example.com ドメイン名が example.com で POP 接続の場合:pop.example.com
ユーザ名	ユーザー名を入力します。@マーク以降も含めメールアドレス形式でご入力をお願いします。
パスワード	上記ユーザを作成した際に登録したパスワードを入力します。

送信メールサーバ	
ホスト名	送信用メールサーバー名を入力します。 例:ドメイン名が example.com の場合、smtp.example.com
ユーザ名	ユーザー名を入力します。@マーク以降も含めメールアドレス形式でご入力をお願いします。
パスワード	上記ユーザを作成した際に登録したパスワードを入力します。

STEP4 『SSL で接続できません』というポップアップは『はい』を選択します。

STEP5 以下の画面のようなポップアップは『続ける』を選択します。



STEP6 POP をご選択の際に、以下のような画面で追加したアカウントの表示名が表示されれば設定が完了です。

IMAP をご選択の際には、右上の[保存]を選択して設定完了となります。



STEP7 メール送信時には以下のエラーが表示されます。『続ける』を選択します。



・メールの送信ができない場合

『メール/連絡先/カレンダー』のメニューから、追加したアカウント名を選択します。



『送信メールサーバ』を選択します。



『プライマリサーバ』を選択します。



『サーバポート』の番号が、『465』もしくは、『587』に変更し、『完了』を選択します。送信できなかったメールは一度破棄していただき、新規作成の上、送信をお願いします。最後に、『アカウント情報』の画面で『完了』を選択します。

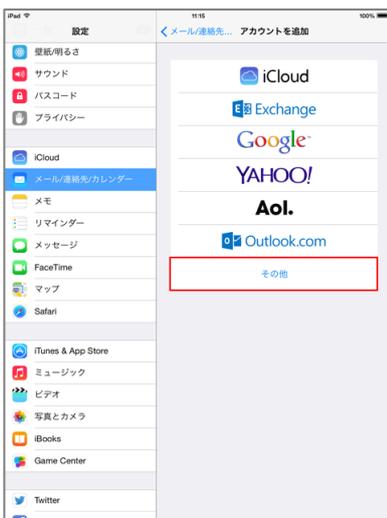


iPad の設定

STEP1 iPad の『設定』から『メール/連絡先/カレンダー』を選択します。
 [アカウント]項目の[アカウントを追加] を選択します。



※新規で作成される場合は、『その他』を選択し、追加される場合は、『メールアカウントを追加』のボタンを選択します。



STEP2 『新規アカウント』の画面で基本情報を入力します。

名前	差出人として受信者側に表示されます。
メール	メールアドレスを入力します。
パスワード	上記メールアドレスのパスワードを入力します。
説明	iPad に表示されるメールの名称です。



STEP3 『新規アカウント』の画面でメールサーバー情報を入力します。

【POP 接続される場合の設定】



【IMAP 接続される場合の設定】



受信メールサーバ	
ホスト名	受信用メールサーバー名を入力します。 例:ドメイン名が example.com で IMAP 接続の場合:imap.example.com ドメイン名が example.com で POP 接続の場合:pop.example.com
ユーザ名	ユーザー名を入力します。@マーク以降も含めメールアドレス形式でご入力をお願いします。
パスワード	上記ユーザを作成した際に登録したパスワードを入力します。
送信メールサーバ	
ホスト名	送信用メールサーバー名を入力します。 例:ドメイン名が example.com の場合、smtp.example.com
ユーザ名	ユーザー名を入力します。@マーク以降も含めメールアドレス形式でご入力をお願いします。
パスワード	上記ユーザを作成した際に登録したパスワードを入力します。

STEP4 『SSL で接続できません』というポップアップは『はい』を選択します。

STEP5 以下の画面のようなポップアップは『続ける』を選択します。

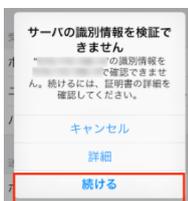


STEP6 POP をご選択の際に、以下のような画面で追加したアカウントの表示名が表示されれば設定が完了です。

IMAP をご選択の際には、右上の[保存]を選択して設定完了となります。



STEP7 メール送信時には以下のエラーが表示されます。『続ける』を選択します。



・メールの送信ができない場合

『メール/連絡先/カレンダー』のメニューから、追加したアカウント名を選択します。



『送信メールサーバ』を選択し、『プライマリサーバ』を選択します。



『サーバポート』の番号が、『465』もしくは、『587』に変更し、『完了』を選択します。

送信できなかったメールは一度破棄していただき、新規作成の上、送信をお試し願います。

最後に、『アカウント情報』の画面で『完了』を選択します。



Android のメール設定

Android2.3(端末キャプチャー例: Docomo Xperia arc SO-01C AndroidOS2.3.3)のメール設定方法です。

STEP1 PlanManager にログインし、メールアドレス、POP アカウント、POP3 サーバー、SMTP サーバーの情報を確認します。

マニュアル: [PlanManager/ユーザー情報画面](#)

STEP2 メニューからメールをタップします。



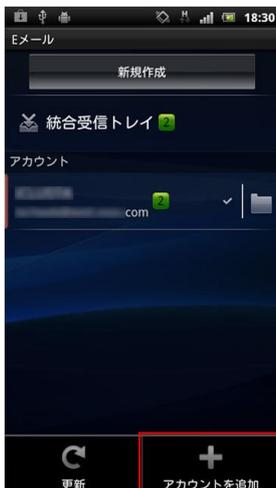
STEP3 メールアドレス、パスワードを入力し、[手動セットアップ]をタップします。



既にメールの設定がされている場合、受信トレイが表示されます。

メニューキーを押し、[アカウント]をタップします。

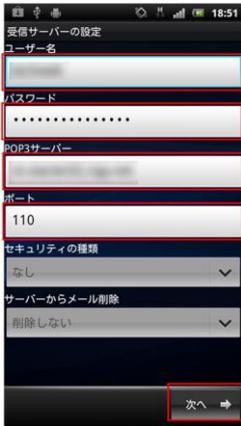
アカウント選択画面で再度メニューキーを押し、[アカウントを追加]をタップします。



STEP4 メールアカウントのタイプをタップします。ここでは[POP3]をタップします。

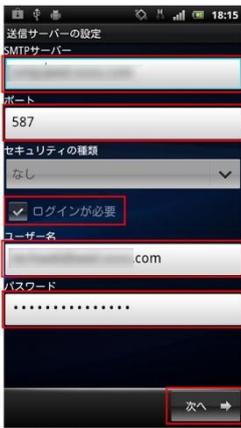


STEP5 受信サーバーの設定を入力し、[完了]をタップ、[次へ]をタップすると自動的にサーバーの確認が始まります。



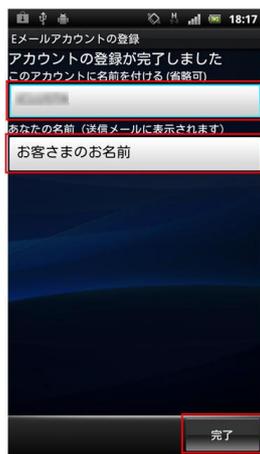
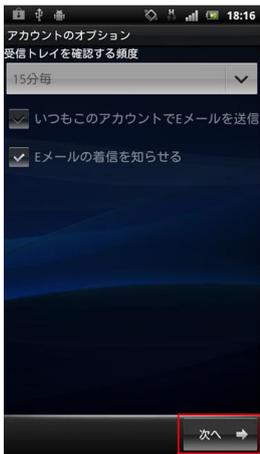
ユーザー名	メールアドレス(ユーザー名@ドメイン名)
パスワード	自動的に入力されます。
POP3 サーバー	pop.ドメイン名または IP アドレス
ポート	110

STEP6 送信サーバーの設定を入力し、[次へ]をタップすると自動的にサーバーの確認が始まります。



SMTP サーバー	Smtп.ドメイン名または IP アドレス
ポート	587
セキュリティの種類	なし
ログインが必要	チェックを入れます
ユーザー名	メールアドレス(ユーザー名@ドメイン名)
パスワード	自動的に入力されます。

STEP7 オプションの設定を行い[次へ]をタップし、アカウントに名前(省略可能)および From 欄の氏名を入力し[完了]をタップします。



以上で設定は完了です。
メールの送受信をお試しください。

■FTP ソフトの設定

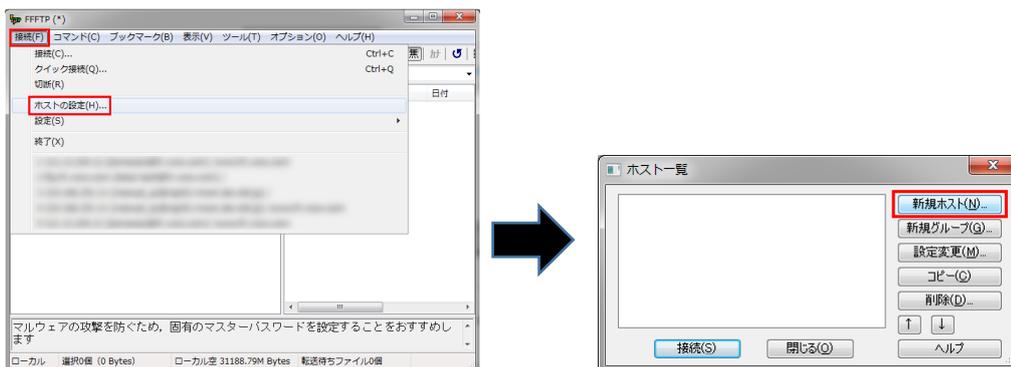
FFFTP の設定

Windows FFFTP を使用する場合

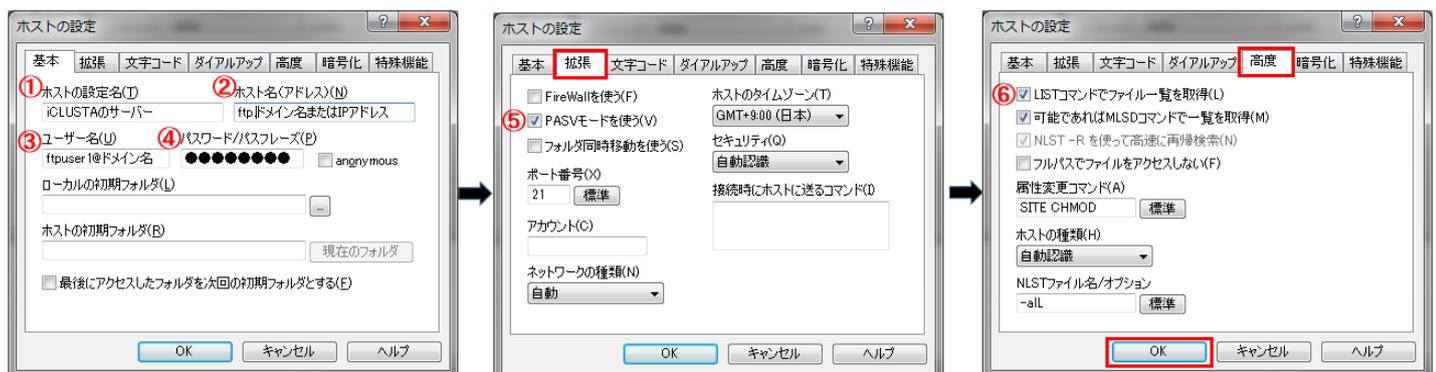
ウェブサーバーにファイルを転送するプロセスを“FTP” (File Transport Protocol)と呼びます。
ウェブページをパソコン上にて作成・編集し、ウェブサーバーにアップロードすることにより、
作成したウェブサイトがインターネットからアクセスできるようになります。

ホスト(ファイルをアップロードする場所)を登録する。

FFFTP を起動すると最初にホスト一覧ウィンドウが表示されますので、【新規ホスト】 ボタンをクリックしてください。



初期設定の登録をします。



1	ホストの設定名	サーバー名など、FTP 接続する名称を入力します。
2	ホスト名(アドレス)	ftp.ドメイン名 または 211. で始まる IP アドレスのどちらかを入力します。 移転等でドメイン名での接続ができない場合は、IP アドレスを設定してください。 IP アドレスはユーザー情報でご確認いただけます。確認方法につきましては、各個別ユーザーで PlanManager にログイン後、ユーザー情報から確認が可能です。
3	ユーザー名	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。 FTP に接続いただく際のアカウント・パスワードには、お客さま側で PlanManager よりユーザー権限が[ドメイン管理者]もしくは[サイト管理者]で登録いただいたアカウント名とパスワードでの接続となります。 契約者アカウント名とパスワードでは、FTP 接続は行えません。
4	パスワード/パスフレーズ	上記のユーザー名に設定したパスワードを入力します。
5	PASV モードを使う	チェックを入れてください。
6	LIST コマンドでファイル一覧を取得	チェックを入れてください。

ホストに接続する。

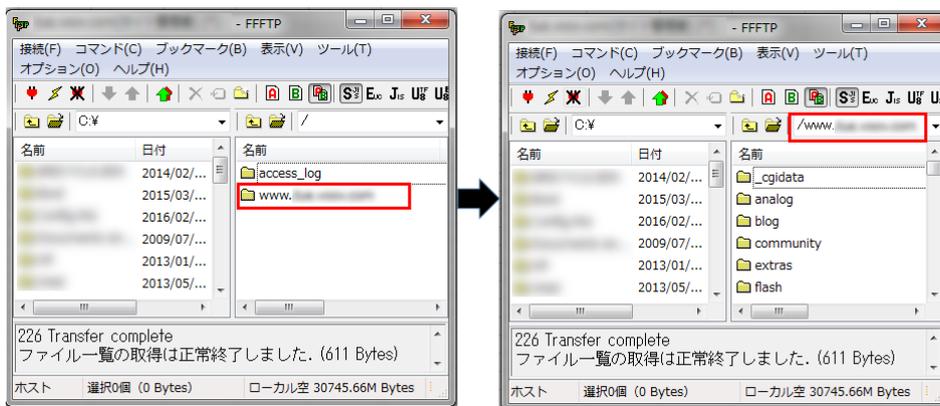


ホストへの接続に成功すると、FFFTP インターフェイスにて、左側に自分のパソコンのディレクトリー、右側にサーバー側のディレクトリーが表示されます。

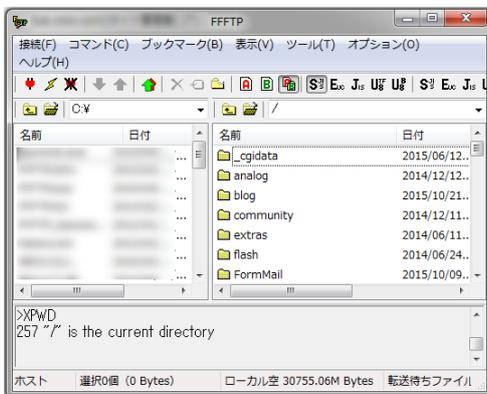
「ドメイン管理者」の権限で接続した場合は、サーバー内の「www.お客様のドメイン名」というフォルダが表示されます。

ウェブコンテンツは、「www.お客様のドメイン名」のフォルダの中にアップロードします。

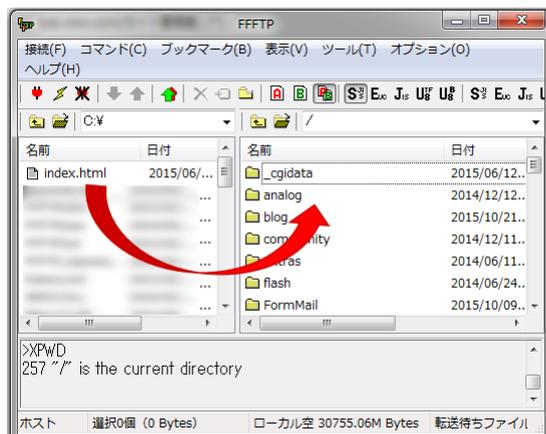
(「www.お客様のドメイン名」のフォルダをダブルクリックすると下の右側の画面が表示されます。)



「サイト管理者」の権限で接続した場合は、「www.お客様のドメイン名」というフォルダの中身が表示されます。



ファイルをアップロードします。ご利用のパソコンのディレクトリーにあるホームページのファイル(例では index.html ファイル)をサーバー側のディレクトリーにドラッグ&ドロップします。



以上でアップロードの作業は終わりです。
無事ファイルがアップされていれば、ファイルをブラウザで見ることができるようになっています。

参考

④ 転送モードについて

「テキスト(アスキー)モード」「バイナリモード」



FTPソフトは、ファイルをアップロードする場合に「テキスト(アスキー)モード」「バイナリモード」という、2つの転送モードを使い分けています。
普段 HTMLファイルや jpe.gif 等の画像ファイルをアップロードする場合は、「自動判定」に設定しておけば何も問題ありませんが、もしカスタムCGIスクリプトやJavaアプレット等をアップロードするようになった場合、自動判定では正しくアップロードされない場合があります。そういった場合は、ファイルの種類によってテキスト(アスキー)モードへの切り替えが必要になります。

A アスキーモード

HTMLを始めCGIファイルやJAVA Aplet等、テキスト形式のものを転送するのに適しています。

B バイナリモード

テキスト形式以外の、GIF、JPEG等、画像ファイル等を転送するのに適しています。

C 自動判別

FFFTP自身が、ファイルを自動判別してファイル毎にアスキー、バイナリ転送を切り替えて転送します。

FileZilla の設定

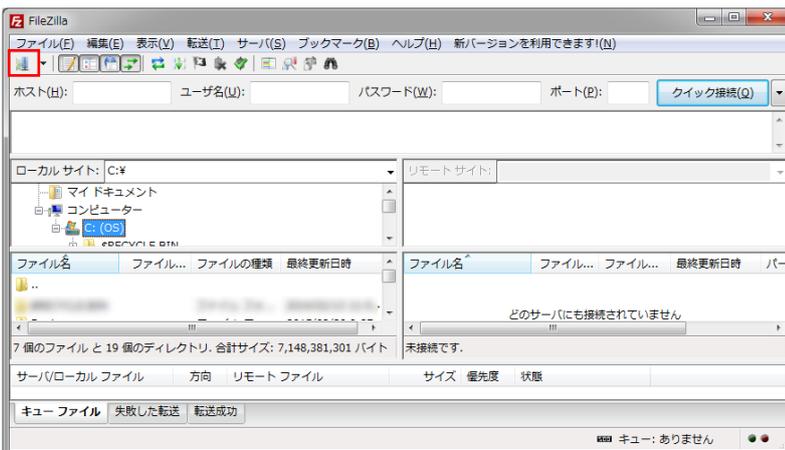
Windows FileZilla を使用する場合、「FileZilla」を以下の URL よりダウンロードしお客様のパソコンにインストールを行ってください。

フリーソフト 入手先:<http://filezilla-project.org/>

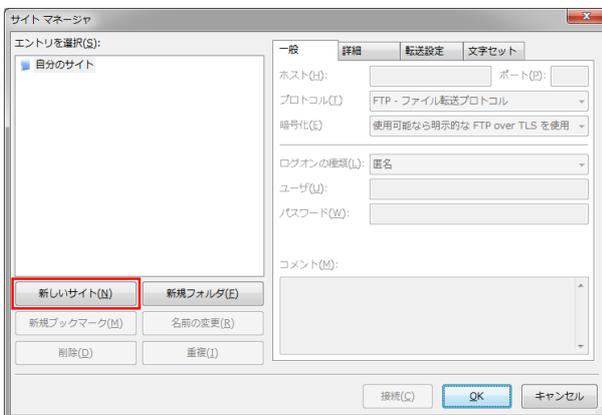
FTP クライアントを使用しウェブコンテンツをサーバーにアップロードする方法を、FTP クライアントソフト「FileZilla」(フリーソフト)を利用した場合について説明いたします。

公式サイトには、FileZilla client と FileZilla server があると思いますが、今回必要なのは FileZilla client です。対応している OS にあわせて、FileZilla client ファイルをダウンロードしてください。

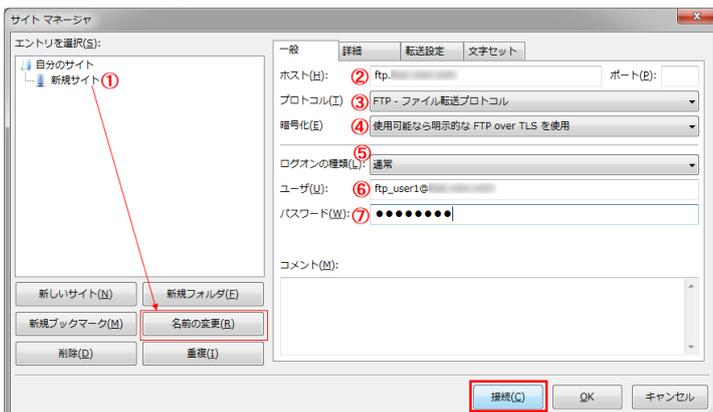
ホスト(ファイルをアップロードする場所)を登録します。FileZilla を起動し、[サイトマネージャ] をクリックします。



サイトマネージャが表示されたら[新しいサイト] をクリックし、初期設定を登録します。



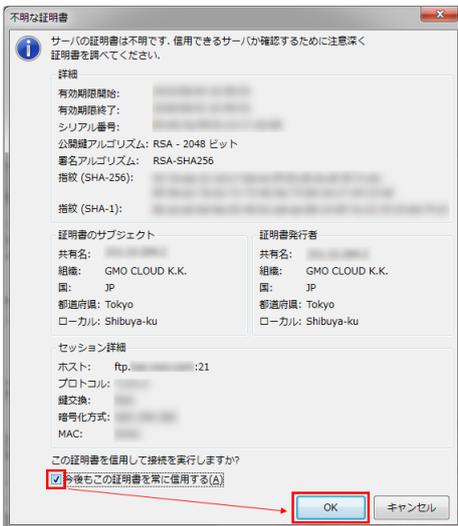
各項目を入力します。



1	新規サイト	接続の名称を設定できます。[名前の変更]ボタンをクリックすると変更が行えます。
2	ホスト	ftp.ドメイン名 または 211. で始まる IP アドレスのどちらかを入力します。 移転等でドメイン名で接続ができない場合は、ホスト名に IP アドレスを設定してください。 IP アドレスはユーザー情報でご確認いただけます。確認方法につきましては、各個別ユーザーで PlanManager にログイン後、ユーザー情報から確認が可能です。
3	プロトコル	初期値のまま(FTP-ファイル転送プロトコル)で問題ありません。
4	暗号化	初期値のまま(使用可能なら明示的な FTP over TLS を使用)で問題ありません。 接続する際に自動的に SFTP 接続を行います。
5	ログインの種類	[通常]を選択してください。
6	ユーザ	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。 FTP に接続いただく際のアカウント・パスワードには、お客さま側で PlanManager よりユーザー権限が[ドメイン管理者]もしくは[サイト管理者]で登録いただいたアカウント名とパスワードでの接続となります。 契約者アカウント名とパスワードでは、FTP 接続は行えません。
7	パスワード	上記のユーザー名に設定したパスワードを入力します。

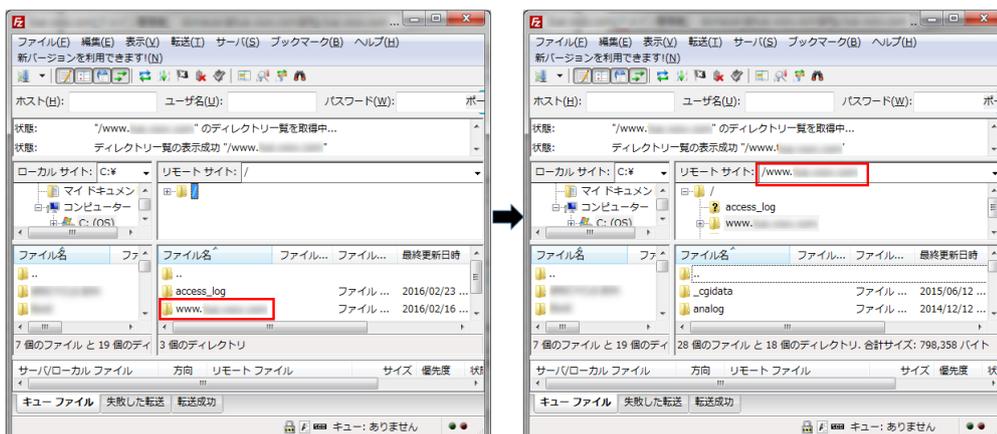
入力後、[接続]ボタンをクリックして、ホストに接続します。

[不明な証明書]と表示された場合には、「今後もこの証明書を常に信用する」にチェックを入れて[OK]ボタンをクリックします。

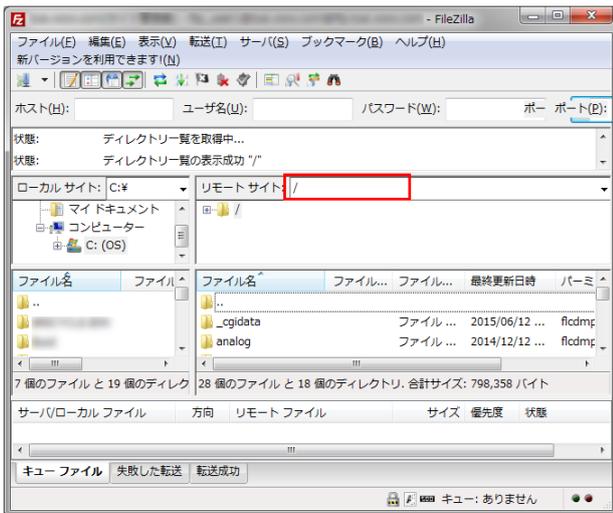


ホストへの接続に成功すると、FileZilla インターフェイスにて、左側に自分のパソコンのディレクトリー、右側にサーバー側のディレクトリーが表示されます。

「ドメイン管理者」の権限で接続した場合は、サーバー内の「www.お客さまのドメイン名」というフォルダが表示されます。ウェブコンテンツは、「www.お客さまのドメイン名」のフォルダの中にアップロードします。
(「www.お客さまのドメイン名」のフォルダをダブルクリックすると下の右側の画面が表示されます。)



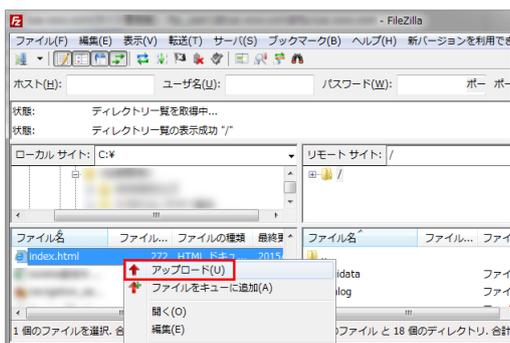
「サイト管理者」の権限で接続した場合は、「www.お客様のドメイン名」というフォルダの中身が表示されます。



ファイルをアップロードします。左側のローカルディレクトリから、アップロードしたいファイルを選択します。

(Shift キー+クリックや Ctrl キー+クリックで、複数のファイルを選択できます。)

右クリックからアップロードを選択すると、右側の FTP サーバーのドキュメントルートへアップロードすることができます。



以上でアップロードの作業は終わりです。

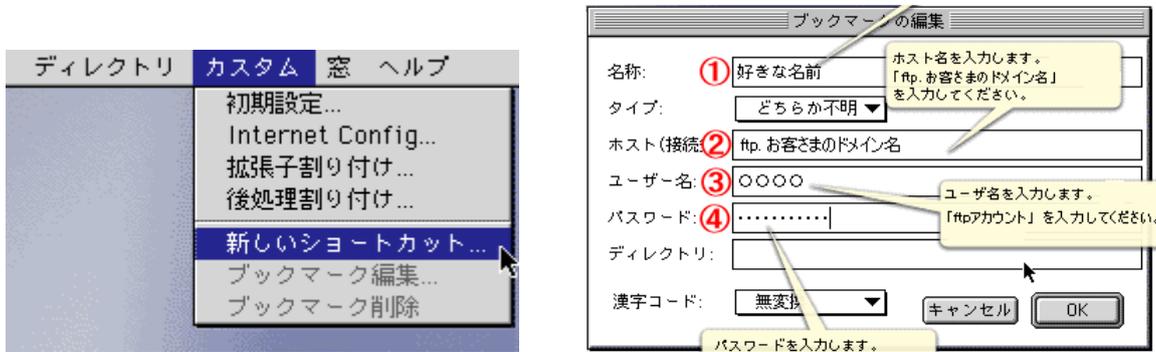
無事ファイルがアップされていれば、ファイルをブラウザで見ることができるようになっています。

Fetch の設定

シェアウェア 入手先:<http://fetch.jp/>

ショートカットに自分のホームディレクトリーを登録します。

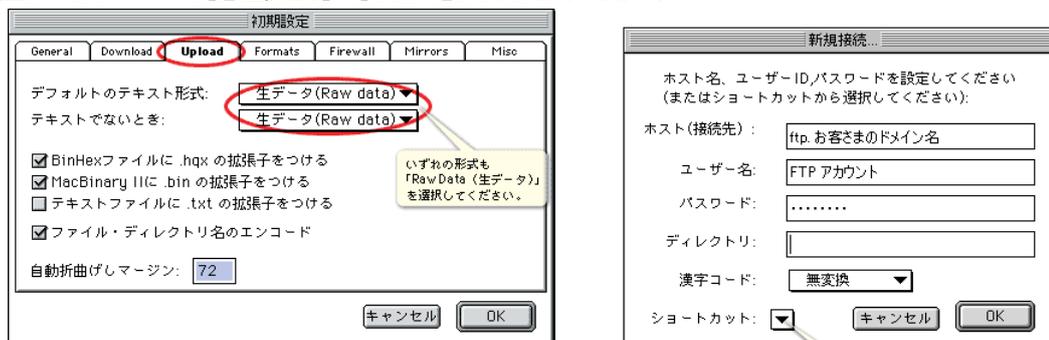
【カスタム】から【新しいショートカット...】を開きます。



1	名称	接続の名称を設定できます。
2	ホスト(接続先)	ftp.ドメイン名 または 211. で始まる IP アドレスのどちらかを入力します。 移転等でドメイン名で接続ができない場合は、ホスト名に IP アドレスを設定してください。 IP アドレスはユーザー情報でご確認いただけます。確認方法につきましては、各個別ユーザーで PlanManager にログイン後、ユーザー情報から確認が可能です。
3	ユーザー名	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。 FTP に接続いただく際のアカウント・パスワードには、お客さま側で PlanManager よりユーザー権限が [ドメイン管理者]もしくは[サイト管理者]で登録いただいたアカウント名とパスワードでの接続となります。 契約者アカウント名とパスワードでは、FTP 接続は行えません。
4	パスワード	上記のユーザー名に設定したパスワードを入力します。

初期設定を登録します。

【生データ(Raw date)]を選択し、[OK]ボタンをクリックしてください。



www サーバーにログイン(接続)する。

【ファイル】から【新しい接続】を開くと、新しい接続先を選択する【新規接続】画面が表示されます。

【ショートカット】から、登録したショートカットを選択して、[OK]をクリックすると、接続されたサーバーのディレクトリー内が表示されます。

「ドメイン管理者」の権限で接続した場合は、サーバー内の「www.お客さまのドメイン名」というフォルダが表示されます。

ウェブコンテンツは、「www.お客さまのドメイン名」のフォルダの中にアップロードします。

「サイト管理者」の権限で接続した場合は、「www.お客さまのドメイン名」というフォルダの中身が表示されます。

「一般ユーザー」の権限で接続した場合が、該当ユーザーに割り当てられたサーバー内のフォルダの中身が表示されます。

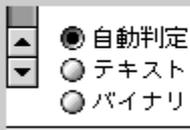
ドラッグ & ドロップでアップロードします。

サーバー内が表示されたら、後はファイルを直接ドラッグ&ドロップしてアップロードすることができます。



転送モードについて

「テキスト(アスキー)モード」「バイナリモード」



FTPソフトは、ファイルをアップロードする場合に「テキスト(アスキー)モード」「バイナリモード」という、2つの転送モードを使い分けています。

普段 HTMLファイルや jpg.gif 等の画像ファイルをアップロードする場合は、「自動判定」に設定しておけば何も問題ありませんが、もしカスタムCGIスクリプトやJavaアプレット等をアップロードするようになった場合、自動判定では正しくアップロ

ードされない場合があります。そういった場合は、ファイルの種類によってテキスト(アスキー)モードへの切り替えが必要になります。

アスキーモード

HTMLを始めCGIファイルやJAVA Aplet等、テキスト形式のものを転送するのに適しています。

バイナリモード

テキスト形式以外の、GIF、JPEG等、画像ファイル等を転送するのに適しています。

自動判別

Fetch自身が、ファイルを自動判別してファイル毎にアスキー、バイナリ転送を切り替えて転送します。

Cyberduck の設定

Mac 用 FTP クライアントソフト、Cyberduck の設定です。

新規接続 メニューから、[新規接続]を選択すると入力画面が表示されますので、各項目に入力していきます。



1	サーバ	ftp.ドメイン名 または 211. で始まる IP アドレスのどちらかを入力します。 移転等でドメイン名で接続ができない場合は、ホスト名に IP アドレスを設定してください。 IP アドレスはユーザー情報でご確認いただけます。確認方法につきましては、各個別ユーザーで PlanManager にログイン後、ユーザー情報から確認が可能です。
2	ユーザー名	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。 FTP に接続いただく際のアカウント・パスワードには、お客さま側で PlanManager よりユーザー権限が [ドメイン管理者]もしくは[サイト管理者]で登録いただいたアカウント名とパスワードでの接続となります。 契約者アカウント名とパスワードでは、FTP 接続は行えません。
3	パスワード	上記のユーザー名に設定したパスワードを入力します。
4	Save Password	チェックを入れるとパスワードが保存され、次回からパスワードの入力をしないで接続します。
5	接続モード	[デフォルト]または[パッシブ]を選択します。

各項目に入力後、[接続]ボタンをクリックすると、サーバーに接続を開始します。

[非セキュアな FTP 接続]が表示されたら、「次回から表示しない」にチェックを入れて[続ける]をクリックします。

※[変更]をクリックして暗号化接続することも可能です。

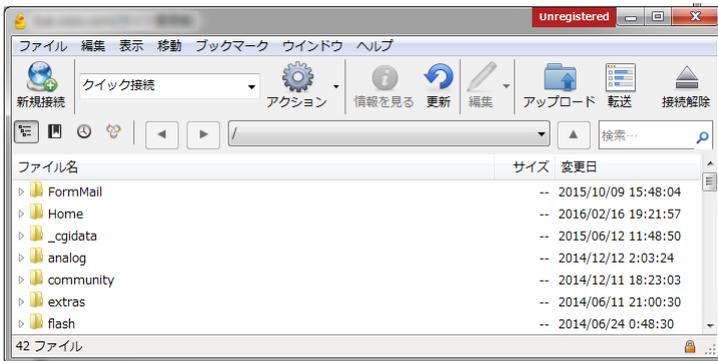


FTP 接続

[接続]ボタンをクリック後、サーバー側のディレクトリが表示されます。

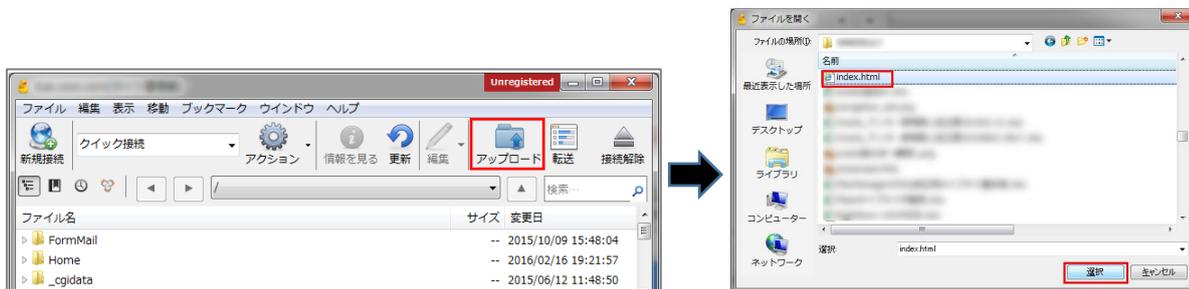
「ドメイン管理者」の権限で接続した場合は、サーバー内の「www.お客さまのドメイン名」というフォルダが表示されます。ウェブコンテンツは、「www.お客さまのドメイン名」のフォルダの中にアップロードします。

「サイト管理者」の権限で接続した場合は、「www.お客様のドメイン名」というフォルダの内容が表示されます。

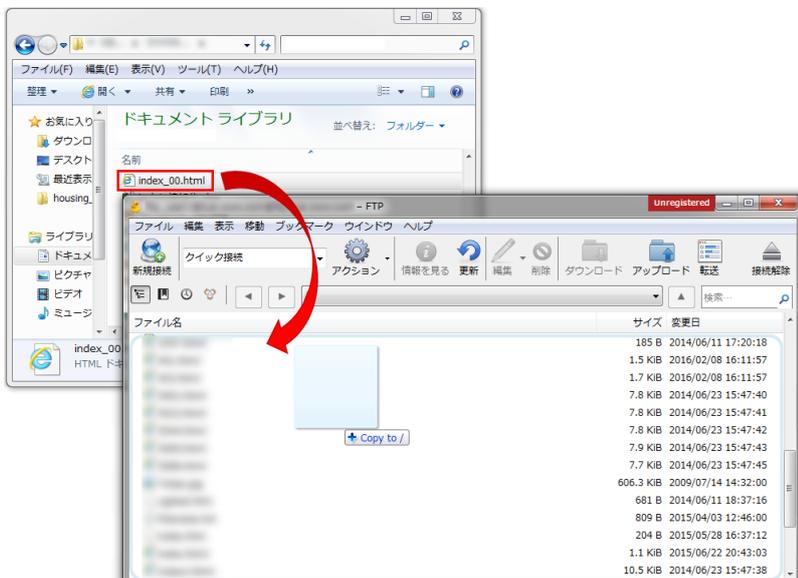


ファイルのアップロード

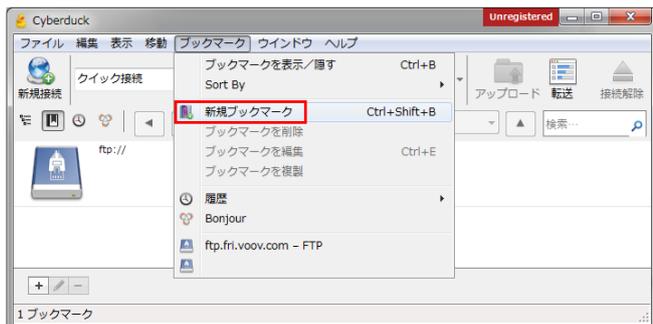
[アップロード]のアイコンをクリックすると、PCのフォルダが表示されますので、対象ファイルを選択してアップロードします。



または、PC側のフォルダから直接ドラッグ&ドロップでアップロードをします。



ブックマークに登録することで、FTP接続情報の設定が保存されます。



NextFTP の設定方法

NextFTP は WindowsOS 用の FTP クライアントソフトです。NextFTP の入手方法等に関しましては以下のページをご参照ください。

[NextFTP 配布元サイト](#)

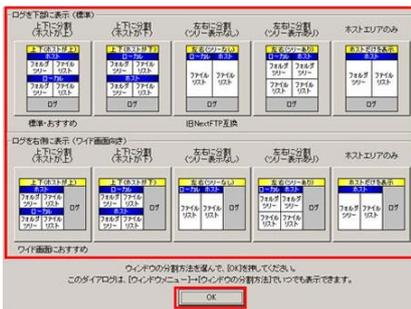
【注意】

NextFTP はシェアウェアです。ダウンロードしたソフトを PC にインストールしてご利用ください。

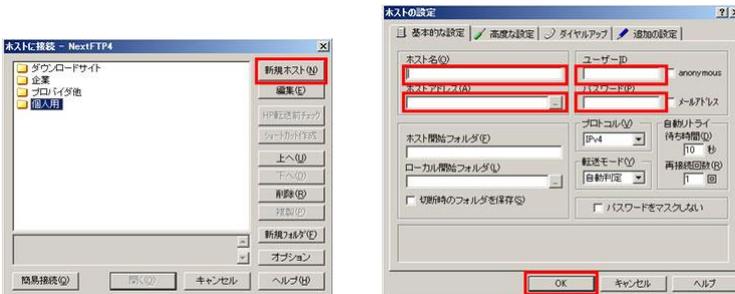
弊社では NextFTP ソフトのインストール方法やご利用方法に関するサポートは行っておりませんので予めご了承ください。

STEP1 NextFTP を起動すると、初回のみウィンドウの分割方法の選択画面が表示されます。

好みのレイアウトを選択し、[OK] をクリックします。



STEP2 [新規ホスト]をクリックし、の設定ウィンドウが表示されたら、必要項目を入力し、[OK]をクリックします。

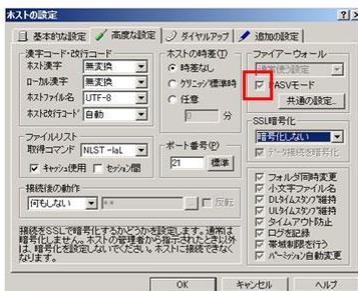


入力項目	入力内容
ホスト名	任意のお名前を設定できますが、通常はサイト名やドメイン名を入力します。
ホストアドレス	「ftp.お客様のドメイン名」又は FTP の IP アドレスを入力します。
ユーザーID	ドメイン管理者もしくはサイト管理者のユーザー名を入力します。「ユーザー名@ドメイン名」の形式です。
パスワード	上記アカウントに対するパスワードを入力します。
ホストの開始フォルダ	入力不要です。
ローカルの開始フォルダ	設定しなくても問題はありませんが、通常はアップロードするファイルを格納しているフォルダを指定します。

【注意】 PASV モードについて

LAN 環境等から接続される場合には PASV モードの設定が必要な場合があります。

通常の設定で接続できない場合には[高度な設定]タブの[PASV モード]にチェックを入れて接続をお試しください。



[補足]

FTP の SSL/TLS 接続について

iCLUSTA シリーズでは SSL/TLS での FTP 接続が可能です。

SSL/TLS を使用することでより通信内容が暗号化され、安全な FTP 通信が行えます。

SSL/TLS を使用する場合は、[高度な設定]タブの[SSL 暗号化]より Explicit を含む何れかの項目を選択してください。



STEP3 作成したホストに接続する場合は、該当ホストを選択し、[接続]をクリックします。



サーバーに正常に接続が完了すると、FTP アカウントのホームディレクトリに接続されます。
(ホストの開始フォルダを指定している場合は、そのフォルダに接続されます。)

接続が完了したら、該当 Web サイトのドキュメントルートにコンテンツをアップロードします。

通常は、ローカル欄のウィンドウよりファイルを選択し、ホスト側のウィンドウにドラッグ & ドロップすることでアップロードを行います。

アップロード先フォルダ

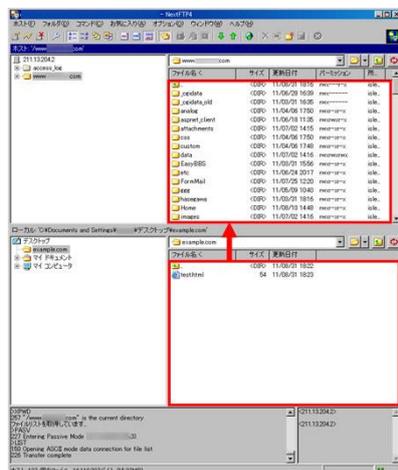
アップロード先フォルダは、接続を行う FTP ユーザーの権限によってウィンドウ内表示が異なります。
接続のユーザー権限を確認の上、アップロードを行います。

ドメイン管理者”の場合

FTP 接続時に「www.お客様のドメイン名」のディレクトリがホスト側のウィンドウに表示されます。
「www.お客様のドメイン名」のディレクトリーを選択してから Web コンテンツをアップロードします。

サイト管理者の場合

FTP 接続時に「www.お客様のドメイン名」のディレクトリー配下がホスト側のウィンドウに表示されます。
そのまま Web コンテンツをアップロードします。



コンテンツをアップロードしたら、ご利用のドメイン名にてブラウザ上から動作確認をします。
(DNS 切り替え前にドメインでの接続を確認する場合には、hosts ファイルの設定をします。)

[Hosts ファイルの設定について](#)



※正常に表示されない場合は以下項目をご確認ください。

ファイルをアップロードしたディレクトリの確認

ファイルをアップロードしたディレクトリが正しいドキュメントルートにアップされているかご確認ください。

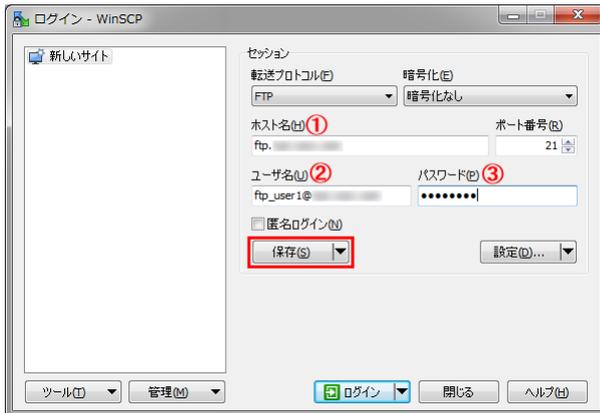
WinSCP での FTP 設定

WinSCP のインストールは、WinSCP 公式サイト[[Download](#)]から「Installation package」を入手してください。
入手後にダブルクリックすることでインストールが始まります。インストール方法については、公式サイトをご参照ください。
インストールが完了すると、デスクトップに以下のようなアイコンが作成されています。



セッションの作成と保存

アイコンをダブルクリックすると、WinSCP が起動し、ログイン画面が表示されますので各項目に FTP 接続情報を入力します。



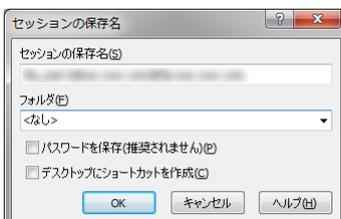
1	ホスト名	ftp.ドメイン名 または 211. で始まる IP アドレスのどちらかを入力します。 移転等でドメイン名で接続ができない場合は、ホスト名に IP アドレスを設定してください。 IP アドレスはユーザー情報でご確認いただけます。確認方法につきましては、各個別ユーザーで PlanManager にログイン後、ユーザー情報から確認が可能です。
2	ユーザ名	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。 FTP に接続いただく際のアカウント・パスワードには、お客さま側で PlanManager よりユーザー権限が [ドメイン管理者]もしくは[サイト管理者]で登録いただいたアカウント名とパスワードでの接続となります。 契約者アカウント名とパスワードでは、FTP 接続は行えません。
3	パスワード	上記のユーザー名に設定したパスワードを入力します。

各項目お入力後、[保存]ボタンをクリックします。

[保存]ボタンをクリックすると、確認ウィンドウが表示されます。

セッション名に「ユーザ名@ホスト名」が入力されていますが、管理しやすい FTP 接続の名称にご変更が可能です。

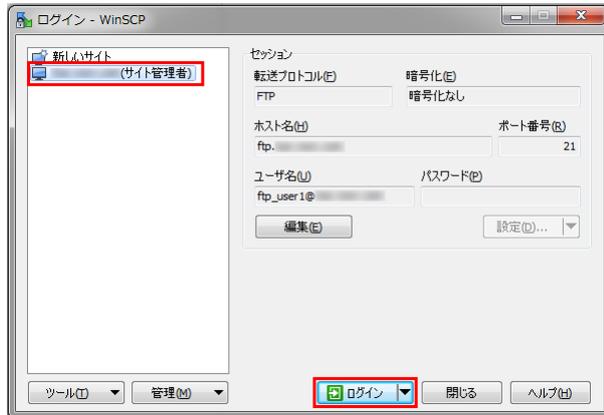
確認後、[OK]ボタンを押してください。



[パスワードを保存]にチェックを入れないうちにセッションを保存すると、FTP 接続を行う度にパスワードを要求されます。
セキュリティを考慮し、このまま[パスワードを保存]にチェックを入れない設定を推奨させていただきます。

セッションへのログイン

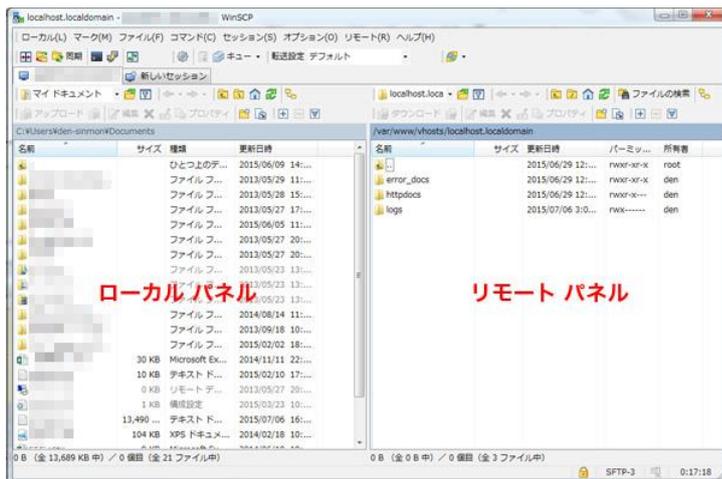
セッションの保存が完了すると、[保存したセッション]に、登録したセッション名が表示されます。



セッション名を選択した状態で、[ログイン]ボタンを押すと、パスワード入力が画面が表示されます。パスワードを入力し、[OK]ボタンを押すと、FTP接続が行われます。

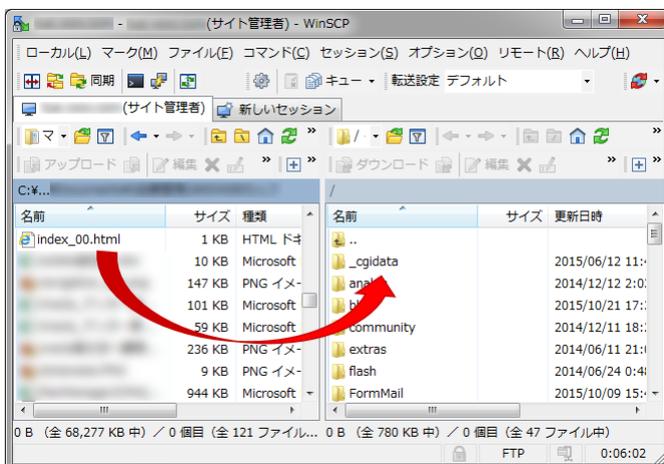
FTP接続と操作

FTP接続が完了すると、下図のような画面表示になります。左側にローカルパネル、右側にリモートパネルが表示されます。



ファイルのアップロード

左側のローカル側(パソコン側)にあるファイルを、右側(サーバー側)へドラッグ&ドロップすることでファイルのアップロードができます。



Internet Explorer の設定

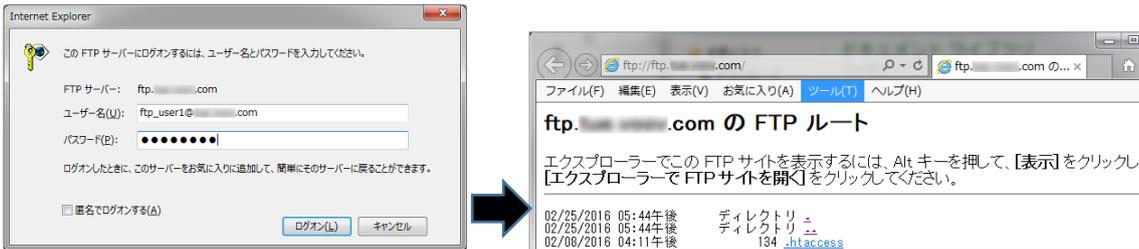
Windows をご利用の場合、Internet Explorer を使い FTP 接続することができます。手順は以下をご確認ください。

ホスト(ファイルをアップロードする場所)を登録します。

ブラウザのアドレス欄に「ftp://ftp.お客様のドメイン名」を入力し、キーボードの Enter キーを押します。



ユーザー名とパスワードを入力し、[ログオン]ボタンをクリックするとサーバーに接続できます。



ユーザー名	ユーザー名@ドメイン名 を入力します。 FTP に接続いただく際のアカウント・パスワードには、お客様側で PlanManager よりユーザー権限が [ドメイン管理者] もしくは [サイト管理者] で登録いただいたアカウント名とパスワードでの接続となります。 契約者アカウント名とパスワードでは、FTP 接続は行えません。
パスワード	上記のユーザー名に設定したパスワードを入力します。

「ドメイン管理者」の権限で接続した場合は、サーバー内の「www.お客様のドメイン名」というフォルダが表示されます。

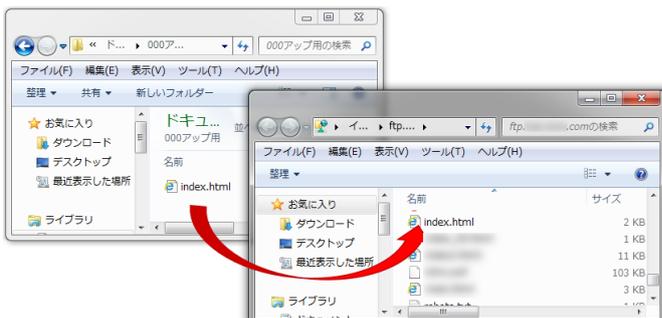
ウェブコンテンツは、「www.お客様のドメイン名」のフォルダの中にアップロードします。

「サイト管理者」の権限で接続した場合は、「www.お客様のドメイン名」というフォルダの中身が表示されます。

[表示]メニューから「エクスプローラーで FTP サイトを開く」をクリックします。



ブラウザの画面の上にドラッグ & ドロップでデータをアップロードします。



.ftpassess を使用する場合

「.ftpassess」というファイルを利用し、ディレクトリーごとに接続元を指定することで FTP アクセスを制御することができます。

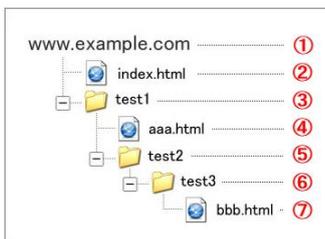
FTP 接続情報を知っている人物が自宅やその他外部からサーバー内に FTP 接続することを不可能にしたい
意図しない FTP 接続情報の漏洩により、ファイルの中身を書き換えられるといったことを自前に防止したい
などの対策として非常に有効な手段です。

「.ftpassess」の動作について

次に実際に「.ftpassess」ファイルを設置した場合の動作環境の範囲についてご説明いたします。

「.ftpassess」を設置したディレクトリーを含め、それ以下の領域に制限がかかります。

例) example.com でご利用されているサーバーのディレクトリー構成が以下の場合を例とし、指定した接続元以外から接続をした場合。



.ftpassess ファイルを設置する場所により、接続可否が異なります。

(1) に設置した場合	1～7 まで表示・アクセス・操作等ができません。
(2) に設置した場合	1 にはアクセスできるので、2 は表示されます。 3 も含めそれ以下は、表示・アクセス・操作等ができません。
(3) に設置した場合	1～4 まではアクセスできます。 5 も含めそれ以下は、表示・アクセス・操作等ができません。
(4) に設置した場合	1～5 まではアクセスできます。 6、7 の表示・アクセス・操作等はできません。

「.ftpassess」の設定準備・注意点

1) ファイル作成環境

ファイルを作成するにあたり、まずテキストエディタが必要となります。

メモ帳などでも作成可能ですが、サーバーOS に適したエンコード等を指定できるという点で、
テキストエディタの使用をおすすめいたします。

フリーダウンロード可能なテキストエディタのご紹介

Windows ユーザー向け Terapad : <http://www5f.biglobe.ne.jp/t-susumu/library/tpad.html>

Mac ユーザー向け YooEdit Page : <http://www2s.biglobe.ne.jp/~yex/YooEdit>

2) 拒否または許可したい固定 IP アドレスの確認

設定するにあたり、許可、もしくは拒否をしたい固定 IP アドレスを自前に確認しておく必要がございます。

固定 IP アドレスはご利用のインターネットプロバイダーさま等にご確認ください。

【ご注意】正しい固定 IP アドレスを指定していない場合、正常な動作を取ることができなくなってしまう場合があります。ご注意ください。

ファイルの作成

次に、実際に「ftpassess」ファイルを作成する方法を具体的にご説明いたします。

1) テキストエディタ等でファイルを作成する

この時行は左端に揃え、半角スペースなどが入らないように注意します。

※以下は特定の固定 IP アドレスを許可する記述方法です。

```
<Limit ALL>
Order allow,deny
Deny All
Allow from ***.***.***.***
</Limit>
```

【***.***.***.***】の部分には許可したい固定 IP アドレスを記入します。

<Limit ALL> </Limit>	Limit の後に引き続き Limit ディレクティブ用のコマンドを記述することで、そのコマンドに対して制限を行うことを定義します。 Limit ALL の場合はファイルの生成や書き込み、読み込み etc 全て(ALL)の動作に対して制限を行うという意味になります。
Order allow,deny	Allow・・・許可 Deny・・・拒否 Order の後に記入する順位でディレクティブをチェックする優先順位がきまります。 Order allow,deny の場合は allow ディレクティブを最初にチェックをします。 指定先が allow ディレクティブで許可をされた場合は deny のチェックはされません。
Deny All Allow from ——	ここで実際に許可(allow)や拒否(deny)をする接続元を指定します。 Deny All は全ての接続元を拒否 Allow from ——でその中から特別に許可する固定 IP を指定し命令をください。

許可したい固定 IP アドレスを複数指定したい場合は

```
<Limit ALL>
Order allow,deny
Deny All
Allow from ***.***.***.***
Allow from ***.***.***.***
Allow from ***.***.***.***
</Limit>
```

上記のように「Allow from ***.***.***.***」の部分を変更し追記していきます。

[Extra]

上記では「特定の固定 IP アドレスを許可する」記述をご紹介させていただきましたが、特定の固定 IP アドレスを拒否する場合の記述は以下になります。

```
<Limit ALL>
Order deny,allow
Deny from ***.***.***.***
Allow all
</Limit>
```

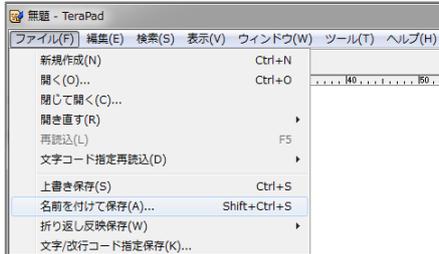
【***.***.***.***】の部分には拒否したい固定 IP アドレスを記入します。

また、この時拒否したい固定 IP アドレスを複数指定したい時も本ページ上部にて記載した方法同様、「Deny from ***.***.***.***」の部分を変更し追記していきます。

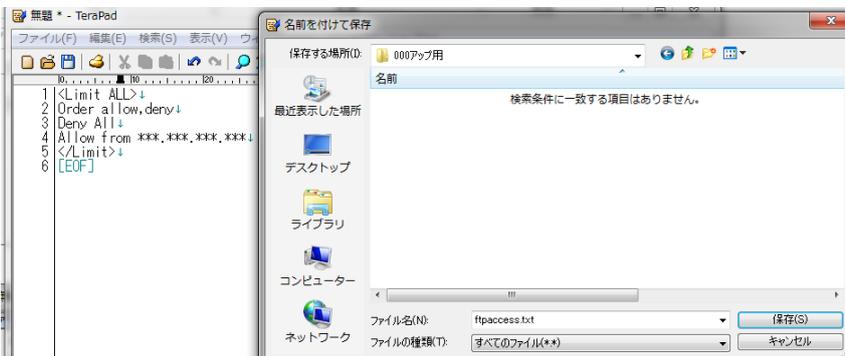
2) ファイルをローカルに保存する

記述したファイルを「ftpassess.txt」等任意のファイル名でローカル上に保存します。
(Windows のパソコンでは”.” (ドット) から始まるファイル名では保存できないためです。)

《手順 1》お使いのテキスト作成ソフトで”名前を付けて保存”等を選択します。



《手順 2》”ftpassess.txt”等のファイル名でファイルを保存します。



この時ご利用のテキストエディタ文字コードなどを指定することが可能な場合は、

文字コード: EUC

改行コード: LF のみ

と指定していただくとサーバーに適したファイルを作成できます。

(指定を行わなくてもご利用いただける場合もございますが、正しい記述をしているにも関わらずファイルが正しい動作をしない場合はこのコードが影響している場合もございます。上記指定にてファイルを保存しなおし、お試しください。)

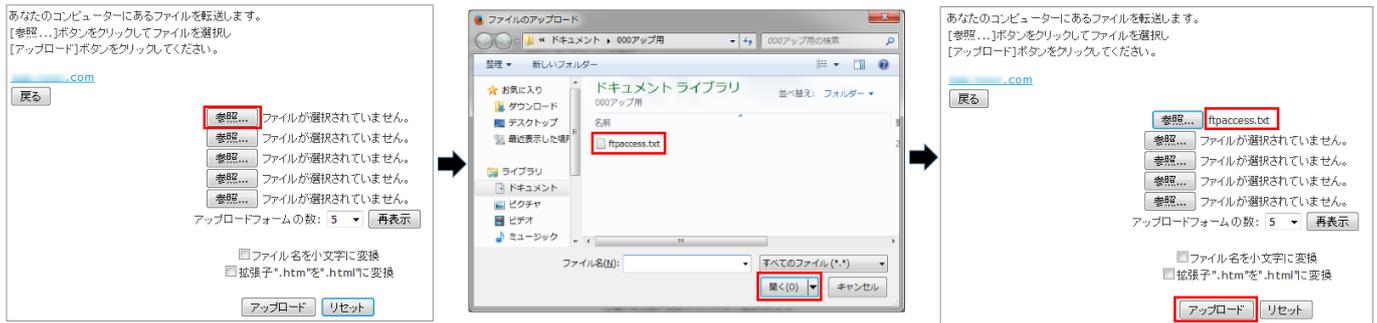
ファイルのアップロード

ここではサーバー管理画面 PlanManager 内の機能、「ファイルマネージャー」を使用してのアップロード方法にてご説明いたします。
ファイルマネージャーについては弊社ホームページ「PlanManager ユーザーズガイド」>「ファイルマネージャー」をご覧ください。

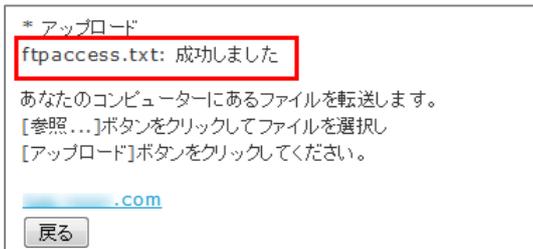
1) 制限をかけたたいディレクトリ階層にて「アップロード」ボタンを押します。



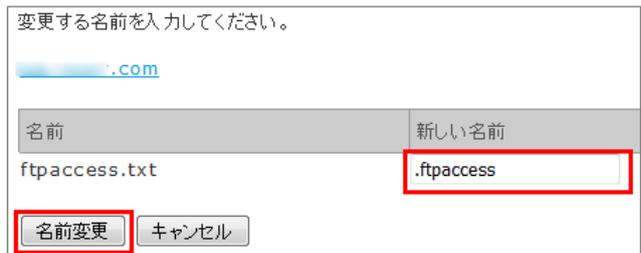
2) ローカルから作成したファイルを参照し、保存した「ftpassess.txt」ファイルをアップロードします。



3) 転送が成功したことを確認します。



4) アップロードしたファイルの名前を変更します。変更されたファイル名にチェックを入れ、「名前変更」を選択し、「新しい名前」欄に .ftpassess と入力して[名前変更]ボタンをクリックしてください。



5) 「名前変更 ftpassess.txt → .ftpassess」と表示されたら、「で始まるもの」にチェックを入れて[再表示]をクリックすると名前が変更されたファイルを確認することができます。



6) 名前が変更されたら FTP で接続し、.ftpassess が動作しているか確認します。



基本操作

簡易掲示板の基本操作説明です。

記事の表示

一覧は最新の投稿が上に表示されます。1 ページあたりの表示件数は、初期設定で 10 件分を表示します。

投稿記事の件数表示

投稿記事の一覧表示画面では、一覧の上と下にページのナビゲーションが表示されています。ナビゲーションからは次の項目を確認することができます。



- ・(1) 現在までに投稿されている記事の総数
- ・(2) 全体から何件目の記事を表示しているか
- ・(3) ページが複数に渡る場合は各ページへのリンク
- ・(4) 表示されているページの次のページへのリンク
- ・(5) 表示ページの更新

記事の投稿

掲示板に投稿を行う時は、以下のフォームの必要な項目に入力を行います。

※お知らせ掲示板として動作している時は表示されません)

必要な項目を入力し送信すると、記事の一覧が再表示され送信した内容が一番上に追加されます。投稿された記事には、自動的に記事番号と投稿日時が追加されます。ひとつの掲示板に投稿可能な記事数は 200 件までです。

入力フォームの詳細

 A screenshot of the article submission form. It contains several input fields and buttons. Red circles with numbers 1 through 10 point to specific elements: 1 points to the "名前" field, 2 to "メールアドレス", 3 to "タイトル", 4 to the "内容" text area, 5 to the "文字の色" color selection area, 6 to the "URL" field, 7 to the "削除キー" field, 8 to the "画像認証" image area, 9 to the "投稿する" button, and 10 to the "リセット" button.

1	名前	空欄で投稿した場合、「(匿名)」と表示されます。
2	メールアドレス	メールアドレスを入力して投稿すると投稿者名に mailto:リンクが作成され、投稿者名をクリックすることでメールソフトが起動しメール送信が行えます。
3	タイトル	空欄で投稿した場合、「(無題)」と表示されます。
4	内容	内容本文は入力必須項目です。基本設定で許可を指定したタグを使用することができます。
5	文字の色	文字の色を選択することができます。初期値では#000000(黒)が選択されています。 [その他]にカラーコードもしくは色名を入れることでお好みの色を指定することもできます。 色見本からサンプルをご確認ください。
6	URL	URLを入力して投稿すると、本文の下部に URL リンクが表示されます。
7	削除キー	ユーザーが削除キーを指定して、記事の削除を行うことができます。
8	画像認証	基本設定で「画像認証の設定」を行うことで、不正な投稿を抑制することができます。
9	投稿するボタン	フォームに入力された内容が投稿されます。
10	リセットボタン	入力された内容をすべてクリアします。

記事の削除

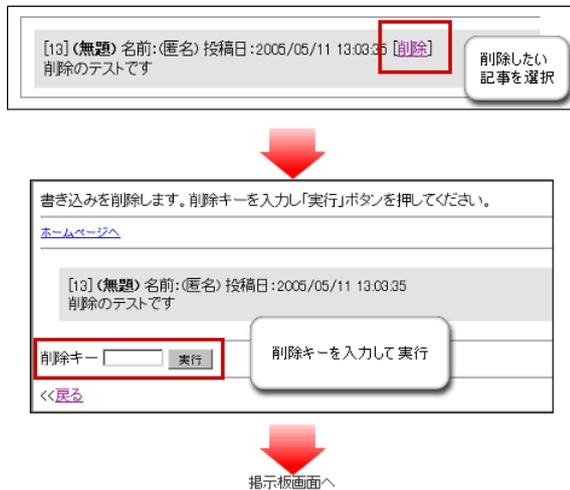
記事の投稿時に削除キーを設定すると、あとから投稿した記事の削除を行うことができます。

削除したい記事のタイトルにあるにリンクされた「削除」をクリックすると、削除対象となる記事が表示されます。

記事削除の流れ

削除したい記事の日付の横にある[削除]のリンクをクリックすると削除画面が表示されます。

※管理機能で削除キーを使用しない設定にしている場合は表示されません。



削除キー送信時の動作

削除キー送信後は確認結果に従って、それぞれ次の画面を表示します。

<削除キーが一致した時>

記事の削除を実行して一覧画面を表示(メッセージなし)

<削除キーが入力されていない時>

メッセージ表示「削除キーを入力してください」

<削除キーが一致しない時>

メッセージ表示「削除キーが違います」

基本設定の変更

簡易掲示板は設置直後の初期設定状態でも使用することができますが、設定を変更して自由にカスタムすることができます。

設定の変更

掲示板の設定は掲示板一覧画面から行います。

基本設定画面へのリンクをクリックして、編集画面に移ってください。



(1) 変更を行いたい項目を編集します。

編集完了後、画面下にある「設定する」ボタンを押して設定を反映させます。

(2) 掲示板の設置先 URL

掲示板の基本設定を行います。

選択中の掲示板 サンプル掲示板 (<http://www.blk.jp/~www/Forum/Forum001/index.cgi?edit>)

基本設定

掲示板の基本設定の設定を行います。

掲示板名	サンプル掲示板
機能	<input checked="" type="radio"/> 通常掲示板 <input type="radio"/> お知らせ掲示板 (管理ページからのみ、記事を投稿することができます)
投稿フォームの位置	<input checked="" type="radio"/> 記事の上 <input type="radio"/> 記事の下
表示件数	10 (1 ページあたり)
使用可能タグ	b,u,br,p,u,l,sup,sub,small,big,font,strike (「,」(カンマ)で区切って指定します)
戻り先	ホームページへ
戻り先のURL	/index.html

タイトル設定

タイトルに関する設定を行います。画像を使用する場合には、「タイトル画像」に URL を指定してください。

タイトル色	#ce5628
タイトルサイズ	24 px (ピクセル)

設定が反映されると、設定完了のメッセージと送信した内容が表示されます。

基本設定が完了しました。

選択中の掲示板 サンプル掲示板 (<http://www.blk.jp/~www/Forum/Forum001/index.cgi?edit>)

基本設定

掲示板名	サンプル掲示板
機能	通常掲示板
投稿フォームの位置	記事の上
表示件数	10 (1 ページあたり)
使用可能タグ	b,u,br,p,u,l,sup,sub,small,big,font,strike
戻り先	ホームページへ
戻り先のURL	/index.html

タイトル設定

タイトル色	#ce5628
タイトルサイズ	24 px (ピクセル)

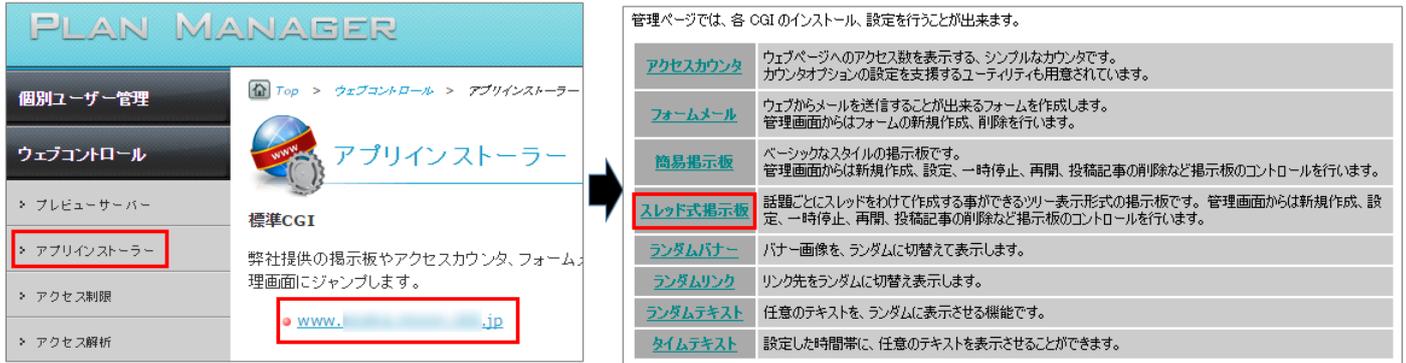
スレッド式掲示板の設定

基本操作

新規設置

掲示板の設置は管理画面の掲示板の一覧表示から行います。

スレッド式掲示板の管理画面へは PlanManager にドメイン管理者権限またはサイト管理者権限のユーザーでログインし、[ウェブコントロール]メニュー内の[アプリインストーラー]の標準 CGI の管理画面トップページからたどって行くことができます。



管理ページでは、各 CGI のインストール、設定を行うことができます。

アクセスカウンタ	ウェブページへのアクセス数を表示する、シンプルなカウンタです。カウンタオプションの設定を支援するユーティリティも用意されています。
フォームメール	ウェブからメールを送信することが出来るフォームを作成します。管理画面からはフォームの新規作成、削除を行います。
簡易掲示板	ベーシックなスタイルの掲示板です。管理画面からは新規作成、設定、一時停止、再開、投稿記事の削除など掲示板のコントロールを行います。
スレッド式掲示板	話題ごとにスレッドをわけて作成する事ができるツリー表示形式の掲示板です。管理画面からは新規作成、設定、一時停止、再開、投稿記事の削除など掲示板のコントロールを行います。
ランダムバナー	バナー画像を、ランダムに切替えて表示します。
ランダムリンク	リンク先をランダムに切替えて表示します。
ランダムテキスト	任意のテキストを、ランダムに表示させる機能です。
タイムテキスト	設定した時間帯に、任意のテキストを表示させることができます。

設置は掲示板の名前を設定するだけで、すぐに利用開始できる状態にセットされます。[新規設置]をクリックします。

スレッド式掲示板の設定を行います。

掲示板名 (URL)	各種設定	状態	状態変更
設置されていません	-	-	新規設置

[掲示板名]に掲示板のタイトルを入力し[設置する]ボタンをクリックします。

スレッド式掲示板を設置します。初期設定を行ってください。

初期設定

掲示板名

[設置する](#)

設置が完了すると、掲示板のタイトルと設置先の URL が表示されます。

掲示板の設定が完了いたしました。

設置された掲示板	マニュアル用掲示板 (http://www.:/freecgi/TreeBBS/index.cgi?bid=1)
----------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

掲示板の設置後、一覧画面で稼働状態の確認を行ってください。

また、設置に成功するとユーザーディレクトリ(_cgidata/TreeBBS/掲示板ID/とTreeBBS/掲示板ID/)に掲示板のデータが作成されます。

管理者メニュー

稼働状況の確認

掲示板の稼働状況は掲示板の設置前、設置後で異なった内容を表示します。

掲示板設置前

掲示板名 (URL)	各種設定	状態	状態変更
設置されていません ①	-	-	新規設置 ②

1. 未設置場合、「設置されていません」と表示されています。
2. 掲示板の設置画面へのリンクが表示されています。

掲示板設置後

掲示板名 (URL)	各種設定	状態	状態変更
① マニュアル用掲示板 http://www.j.../treecgi/TreeBBS/index.cgi?bid=1	② 基本設定 記事の管理	③ 稼働中	④ 一時停止 削除

1. 掲示板のタイトルと URL が表示されています。
2. 基本設定画面と記事の管理画面へのリンクが表示されています。
3. 掲示板の動作状況が表示されています。
4. 変更メニューと各画面へのリンクが表示されています。

掲示板の削除

掲示板の一覧から掲示板の[削除]部分をクリックします。

掲示板名 (URL)	各種設定	状態	状態変更
マニュアル用掲示板 http://www.j.../treecgi/TreeBBS/index.cgi?bid=1	基本設定 記事の管理	稼働中	一時停止 削除

確認画面が表示されますので、[削除する]ボタンをクリックすると削除した掲示板のタイトルが表示されて完了です。

掲示板を削除します。削除した掲示板は、元に戻すことが出来ませんのでご注意ください。

選択中の掲示板: マニュアル用掲示板 (<http://www.j.../treecgi/TreeBBS/index.cgi?bid=1>)

[削除する](#)

掲示板を削除しました。

マニュアル用掲示板

[戻る](#)

【ご注意】 削除された掲示板のデータは復旧できませんので、ご注意ください。

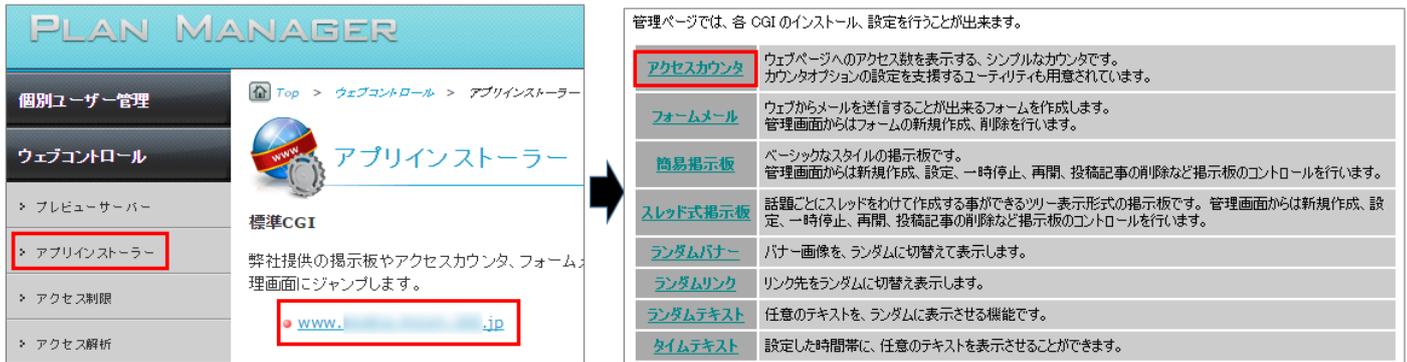
アクセスカウンタの設定

管理画面からアクセスカウンタを新規設置/削除するための手順を説明します。

新規作成

アクセスカウンタの作成は管理画面から行います。

アクセスカウンタの管理画面へは PlanManager [ドメイン管理者権限またはサイト管理者権限のユーザーでログインし、[ウェブコントロール]メニュー内の[アプリインストーラー]の標準 CGI の管理画面トップページからたどって行くことができます。



管理ページでは、各 CGI のインストール、設定を行うことができます。

アクセスカウンタ	ウェブページへのアクセス数を表示する、シンプルなカウンタです。カウンタオプションの設定を支援するユーティリティも用意されています。
フォームメール	ウェブからメールを送信することが出来るフォームを作成します。管理画面からはフォームの新規作成、削除を行います。
簡易掲示板	ベーシックなスタイルの掲示板です。管理画面からは新規作成、設定、一時停止、再開、投稿記事の削除など掲示板のコントロールを行います。
スレッド式掲示板	話題ごとにスレッドをわけて作成する事ができるツリー表示形式の掲示板です。管理画面からは新規作成、設定、一時停止、再開、投稿記事の削除など掲示板のコントロールを行います。
ランダムバナー	バナー画像を、ランダムに切替えて表示します。
ランダムリンク	リンク先をランダムに切替えて表示します。
ランダムテキスト	任意のテキストを、ランダムに表示させる機能です。
タイムテキスト	設定した時間帯に、任意のテキストを表示させることができます。

設置はアクセスカウンタの名前と開始番号を設定するだけで、すぐに利用開始できる状態にセットされます。

アクセスカウンタの設定を行います。

カウンタの新規作成

現在 13 件中 1 - 5 件を表示 [更新](#) [1] [2] [3] [次へ>>](#)

カウンタ名 (URL)	各種設定	画像 (現在値)	削除

カウンタの名前とカウンタの開始番号を入力して[作成する]ボタンをクリックします。

※カウンタ名は半角英数(A～Z、a～z、0～9)を使用してください。

アクセスカウンタを作成します。初期設定を行ってください。
なお、「カウンタ名」に使用できる文字は A-Z a-z 0-9 です。

初期設定

カウンタ名	manual
カウンタ数値	1

作成する

設置が完了すると、カウンタの名前とカウンタの URL が表示されます。

アクセスカウンタの設置が完了しました。

設置されたカウンタ	manual (カウンタ数値: 1) (http://www.freecgi.jp/AccessCounter/index.cgi?df=manual)
-----------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

一覧ではカウンタの名前をアルファベット順にソートして、5 件ずつ表示されています。作成したカウンタの有無を確認してください。また、作成可能なカウンタの数に上限はありません。カウンタの作成が行われると、ユーザーのディレクトリにカウンタのデータを記録したファイルが作成されます。(_cgidata/AccessCounter/data/カウンタ名)

数値変更・イメージタグ生成

カウンタの数値の変更、9 種類の画像からカウンタの画像変更が行えます。

また、プレビューボタンからプレビューとイメージタグの生成が行えます。

manual http://www.freecgi.jp/AccessCounter/index.cgi?df=manual	数値変更 イメージタグ生成	00000	削除
-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	--------------------------------	--------------	----

数値変更

[カウンタ数値]欄に変更する数字を入れて[変更する]ボタンをクリックします。

アクセスカウンタの数値を変更します。

選択中のカウンタ manual (現在の数値: 1)

カウンタ数値の変更

カウンタ数値

イメージタグ生成

変更したい項目を指定したあと、[プレビュー]ボタンをクリックすると、イメージタグが生成されますので、控えておき、アクセスカウンタを設置したいサイトの中に記述してください。

HTML ファイル用の、イメージタグを生成します。
カウンタの画像、フレーム(枠)、表示形式を選択し「プレビュー」ボタンを押しますと、別ウインドウにカウンタ画像が表示されます。
表示されたタグを、HTML ファイルのお好きな位置に挿入して下さい。

選択中のカウンタ manual (現在の数値: 1)

画像の設定

画像の選択

- 0123456789:AMPM,-D,H,M,S
- 0123456789:AMPM,-
- 0123456789:AMPM,-
- 0123456789:AMPM,-
- 0123456789:AP,-
- 0123456789:AMPM,-DHMS
- 0123456789:AMPM,-DHMS
- 0123456789:AP,-DHMS

フレームの設定

カウンタ画像の周りに表示する枠の設定を行います。
なお、「枠の大きさ」を指定する場合は、2 px 以上を指定します。(5 px 以上推奨)

枠の大きさ px (ピクセル)

枠の色 (赤:#FF0000 黄:#FF0000 緑:#00FF00 青:#0000FF 黒:#000000)

その他の設定

カウンタの桁に関する設定を行います。
「表示桁数」の指定をする場合、5 桁以上を指定します。(5 未満を指定することは出来ません)
「位取り」を使用した場合には、3 桁ごとにカンマで区切られます。

表示桁数 (5-80)

位取り 使用する 使用しない (使用する場合、「表示桁数」の設定は無効になります。)

アクセスカウンタプレビュー

表示されたタグを、HTML ファイルのお好きな位置に挿入して下さい。

000001

``

カウンタ削除

作成されたカウンタの削除を行うには、[削除]のリンクをクリックします。

manual
<http://www...../freecgi/AccessCounter/index.cgi?df=manual> [数値変更](#) [イメージタグ生成](#) **000001**

カウンタ名と現在のカウンタ値が表示されますので、よろしければ[削除する]ボタンをクリックします。

アクセスカウンタを削除します。

選択中のカウンタ manual (現在の数値: 1)

削除したカウンタ名が表示されて完了です。

カウンタを削除しました。

manual

[戻る](#)

【ご注意】 削除されたカウンタのデータは復旧できませんので、ご注意ください。

フォームメールの設定

フォームメールの管理画面へは PlanManager にドメイン管理者権限またはサイト管理者権限のユーザーでログインし、[ウェブコントロール]メニュー内の[アプリンストーラー]の標準 CGI の管理画面トップページからたどって行くことができます。

The screenshot shows the Plan Manager interface. On the left, the 'ウェブコントロール' (Web Control) menu is expanded to 'アプリンストーラー' (App Installer), which is highlighted with a red box. Below it, the '標準CGI' (Standard CGI) section is visible, with a red box around the 'WWW' link. On the right, a table lists various CGI options, with 'フォームメール' (Form Mail) highlighted in red. The table includes descriptions for each option, such as 'アクセスカウンタ' (Access Counter), 'フォームメール' (Form Mail), '簡易掲示板' (Simple Bulletin Board), 'スレッド式掲示板' (Thread-style Bulletin Board), 'ランダムバナー' (Random Banner), 'ランダムリンク' (Random Link), 'ランダムテキスト' (Random Text), and 'タイムテキスト' (Time Text).

設置方法

FormMail 管理メニューからフォームメールの新規作成ボタンを押して次の画面に進んでください。

トップページ > フォームメール

フォームメールの設定を行います。

初期セットアップ画面で、フォームメール名と受け取りメールアドレスを入力し、[作成する]ボタンをクリックしてください。

フォームメールを作成します。初期設定を行ってください。
なお、「フォームメール名」に使用できる文字は A-Z a-z 0-9 です。

初期設定

フォームメール名	<input type="text" value="test"/>
受け取りメールアドレス	<input type="text" value="ftp_user1@"/>

フォームメール名称	ファイル名の一部として使用されるため半角英数にて表記します。 (ここでは "test" と入力したものとします) ※フォームメール名は半角英数(A~Z, a~z, 0~9)を使用してください。
受け取りメールアドレス	フォーム投稿時に送信されるメールアドレスになります。 管理者のメールアドレスを指定するのが一般的です。

設置が完了すると、受け取りのメールアドレスとフォームメールの URL が表示されます。

特にフォームを編集する必要がなければ、この時点で使用することができます。

フォームの URL は、`http://www.お客さまドメイン名/FormMail/フォームメール名/FormMail.html` となります。

フォームメールの設置が完了しました。

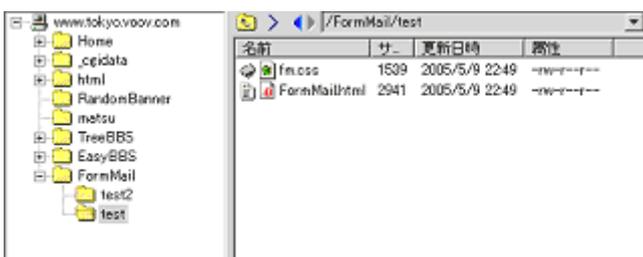
設置されたフォームメール `manual` (受け取りアドレス: `ftp_user1@`)
(`http://www. /FormMail/manual/FormMail.html`)

フォーム(HTML,CSS)の編集

/FormMail/test/FormMail.html

/FormMail/test/default.css

(フォームメール名称を "test" とした場合)



HTML ファイルの編集

FormMail.html には、メールフォームをカスタマイズするための「初期設定」項目があります。

「value="....."」の部分を変更することによってカスタマイズを行います。

フォームに関する設定

```

<!-- フォームに関する設定 (フォーム名:別名:必須入力) -->
<input type="hidden" name="_label_" value="name:名前:required">
<input type="hidden" name="_label_" value="zip:郵便番号">
<input type="hidden" name="_label_" value="address:住所">
<input type="hidden" name="_label_" value="tel:電話番号">
<input type="hidden" name="_label_" value="email:メールアドレス:required">
<input type="hidden" name="_label_" value="homepage:ホームページ">
<input type="hidden" name="_label_" value="comment:メッセージ">

```

name="_label_" とし、value の値を "name:名前" のように指定することで、フォームメールの項目を追加することができます。

項目の並び順についても、ここで設定した順番通りフォームメールに反映されます。

また、"name:名前:required" のように :required を付加することで、必須項目として指定することができます。

必須項目とした項目を入力することなく、ユーザーが送信しようとしてもエラーとなります。

なお、email に関してはラベル名を変更せずにそのままご使用ください。(メールアドレスをチェックしています)

例 1「名前」の次の入力項目として「ふりがな」を必須項目として追加した場合

※<!-- 以下、追加項目 -->から<!-- 以上、追加項目終了 -->までの文章を追加します。

① 初期設定項目に「ふりがな」の項目を追加します。

```

<!-- フォームに関する設定 (フォーム名:別名:必須入力) -->
<input type="hidden" name="_label_" value="name:名前:required">
<input type="hidden" name="_label_" value="name2:ふりがな:required">
<input type="hidden" name="_label_" value="zip:郵便番号">
...

```

② フォームで表示される「ふりがな」の項目を追加します。

```

<table border="1" class="input">
<tr>
<th>名前 (必須)</th>
<td><input type="text" name="name" size="40"></td>
</tr>
<tr>
<th>ふりがな (必須)</th>
<td><input type="text" name="name2" size="40"></td>
</tr>
<tr>
<th>郵便番号</th>
<td><input type="text" name="zip" size="10"></td>
</tr>
...

```

例 2) テキストの入力項目ではなく、ラジオボタン等を追加することも可能です。

上記の例に続けて、「ふりがな」の下に「性別」のラジオボタンを追加します。

① 初期設定項目に「性別」の項目を追加します。

```
<!-- フォームに関する設定 (フォーム名:別名:必須入力) -->
<input type="hidden" name="_label_" value="name:名前:required">
```

```
<!-- 以下、追加項目 -->
```

```
<input type="hidden" name="_label_" value="name2:ふりがな:required">
```

```
<!-- 以上、追加項目終了 -->
```

```
<input type="hidden" name="_label_" value="select_1:性別">
```

```
<input type="hidden" name="_label_" value="zip:郵便番号">
```

```
...
```

② フォームで表示される「性別」の項目を追加します。

```
<table border="1" class="input">
```

```
<tr>
```

```
<th>名前 (必須)</th>
```

```
<td><input type="text" name="name" size="40"></td>
```

```
</tr>
```

```
<tr>
```

```
<!-- 以下、追加項目 -->
```

```
<th>ふりがな (必須)</th>
```

```
<td><input type="text" name="name2" size="40"></td>
```

```
</tr>
```

```
<!-- 以上、追加項目終了 -->
```

```
<tr>
```

```
<th>性別</th>
```

```
<td><input type="radio" name="select_1" value="男性">男性
```

```
<input type="radio" name="select_1" value="女性">女性</td>
```

```
</tr>
```

```
<tr>
```

```
<th>郵便番号</th>
```

```
<td><input type="text" name="zip" size="10"></td>
```

```
</tr>
```

```
...
```

確認画面の設定

```
<input type="hidden" name="_conf_enable_" value="1">
```

確認画面を使用するかどうかの設定です。確認画面を使用する場合は value を "1" に。

確認画面を使用せずに、完了画面を表示したい場合は value を "0" として指定してください。

```
<input type="hidden" name="_conf_title_" value="内容確認">
```

```
<input type="hidden" name="_conf_msg_head_" value="下記の内容で、送信します。">
```

```
<input type="hidden" name="_conf_msg_foot_" value="ご確認の上、「送信」ボタンを押してください。">
```

```
<input type="hidden" name="_conf_submit_" value="送信">
```

確認画面でのメッセージを指定します。

完了画面の設定

```
<input type="hidden" name="_comp_title_" value="送信完了">
<input type="hidden" name="_comp_msg_head_" value="下記の内容で、送信しました。">
<input type="hidden" name="_comp_msg_foot_" value="ありがとうございました。">
<input type="hidden" name="_comp_return_text_" value="ホームページへ戻る">
```

完了画面での各メッセージを指定します。

完了画面の設定

```
<input type="hidden" name="_comp_return_url_" value="/index.html">
```

戻り先の URL を指定します。

CSS ファイルの編集

default.css の変更はフォーム(HTML)だけでなく、確認画面・完了画面にも反映されます。

フォームに関する設定

```
/* ----- ページ全体 ----- */
body {
background-color: #ffffff; /* 背景色 */
}
ページ全体の背景色を指定します。文字色は 16 進数にて指定します。
/* ----- タイトル ----- */
.title {
color: #000000; /* 文字色 */
text-align: left; /* 配置 */
}
タイトルの文字色と配置を指定します。
/* ----- メッセージ ----- */
.msg head {
color: #000000; /* 文字色 */
text-align: left; /* 配置 */
}
.msg foot {
color: #000000; /* 文字色 */
text-align: center; /* 配置 */
}
メッセージヘッダ、およびメッセージフッタの文字色と配置を指定します。
/* ----- テーブル ----- */
table {
border-style: none;
width: 80%;
margin: 20px 10%;
}
table th {
background-color: #cccccc; /* 背景色 */
color: #000000; /* 文字色 */
text-align: left; /* 配置 */
border-style: none;
white-space: nowrap;
padding: 5px;
```

```

}
table td {
background-color: #eeeeee; /* 背景色 */
color: #000000; /* 文字色 */
text-align: left; /* 配置 */
border-style: none;
white-space: nowrap;
padding: 5px;
}

```

フォームメールの項目を表示するためのテーブルの指定です。

背景色、文字色、配置、ボーダーなどが指定できます。

```
/* —— ボタン —— */
```

```
.submit {
text-align: center; /* 配置 */
}

```

ボタン(送信ボタンなど)の配置を指定します。

left, right, center などが指定できます。

フォームメールに、共用 SSL をかける場合

フォームメールの HTML ソースを、一部修正する必要があります。

作成したフォームメールのファイルを、テキストエディタで開き、以下の部分を修正してください。

CGI を呼び出す部分

```
<form method="post" action="/freecgi/FormMail/index.cgi">
```

↓

```
<form method="post" action="https://共用 SSL サーバー名/www.お客さまドメイン名/freecgi/FormMail/index.cgi">
```

スタイルシートの指定

```
<input type="hidden" name="_css_url" value="/FormMail/[フォームメール名]/default.css">
```

↓

```
<input type="hidden" name="_css_url" value="https://共用 SSL サーバー名/www.お客さまドメイン名/FormMail/[フォームメール名]/default.css">
```

戻り先 URL

```
<input type="hidden" name="_comp_return_url" value="/index.html">
```

↓

```
<input type="hidden" name="_comp_return_url" value="https://共用 SSL サーバー名/www.お客さまドメイン名/index.html">
```

SSL の通信を終了してトップに戻る場合は以下となります。

```
<input type="hidden" name="_comp_return_url" value="http://www.お客さまドメイン名/">
```

SSI 用 CGI の設定

SSI で動作させるタイプの CGI のセットです。ランダムバナー、ランダムリンク、ランダムテキスト表示、そして時間帯別テキスト表示の 4 種類の CGI より構成されています。

ランダムバナー

ランダムでバナーを表示します。これにより、複数のバナーを使い分けることが可能です。また、それぞれのバナーを表示した回数をレポートします。

ランダムリンク

ランダムにリンクを表示します。登録した URL の中から無作為に選ばれた URL へとリンクします。毎回違ったリンク先の URL が表示されることになります。

ランダムテキスト表示

ランダムにテキストを表示します。毎回違ったメッセージでサイト訪問者を歓迎したり、またはテキスト広告各種をランダムに表示することが可能です。

時間帯別(タイム)テキスト表示

設定した時間帯に任意のテキストを表示します。例えば、午前中のサイト訪問者に「おはようございます…」と適切な挨拶メッセージを表示することができます。SSI 用 CGI セットのインストール方法に関しては PlanManager マニュアルをご参照ください。

■SSL の設定

共用 SSL

レギュラー、プロ、M、L、i-02、i-03、i-04、i-05 およびカスタムプラン ウェブ C では、SSL (Secure socket layer) セキュア機能をサポートしています。この機能によりユーザーのブラウザとウェブサイトの間での情報が保護されます。共用 SSL の機能はきわめて簡単にご利用いただけます。お客さまのファイルを別のディレクトリに移す必要は一切ありません。 ※ミニ、S、i-01 およびカスタムプランウェブ AB では有料オプションにてご利用可能です。

共用 SSL を利用した場合の URL

<https://SSLサーバー名/ご契約ドメイン名/>

共用 SSL を利用した場合の URL (共用 SSL サーバー名) の確認は、[PlanManager](#) にドメイン管理者権限またはサイト管理者権限 およびウェブサイトを利用する一般ユーザーにてログインし、[個別ユーザー管理]メニュー内の[ユーザー情報]と進み、[共用 SSL URL]の項目に表示されております。

※ログインしているユーザーの権限により、メニュー表示などが多少異なります。

[ドメイン管理者ユーザーの場合]

[サイト管理者ユーザーの場合]

[一般ユーザーの場合]

The image shows three screenshots of the Plan Manager interface. The first screenshot, for a Domain Administrator, shows the '個別ユーザー管理' (Individual User Management) menu with 'ユーザー情報' (User Information) highlighted. The second screenshot, for a Site Administrator, shows the '個別ユーザー管理' menu with 'ユーザー情報' highlighted. The third screenshot, for a General User, shows the '個別ユーザー管理' menu with 'ユーザー情報' highlighted. Each screenshot also shows a table of user information with columns for 'ユーザー名' (Username), 'コメント' (Comment), and 'ユーザー権限' (User Role).

契約者アカウントでログインした場合、[個別ユーザー管理]メニューが表示されないため、下記の手順にてお進みください。

The image shows two screenshots of the Plan Manager interface. The first screenshot shows the 'ユーザー管理' (User Management) menu with 'ユーザー切り替え' (User Switching) highlighted. The second screenshot shows the 'ユーザー切り替え' page with a table of users and a '切り替え' (Switch) button highlighted. The table has columns for '選択' (Select), 'ユーザー名' (Username), 'ユーザー権限' (User Role), and 'コメント' (Comment). The 'info' user is selected, and the '切り替え' button is visible at the bottom right.

リンク先ページで SSL を使用する指定の記述

独自 SSL

iCLUSTA シリーズでは、SSL (Secure socket layer) セキュア機能をサポートしています。
この機能によりユーザーのブラウザとウェブサイトの間での情報が保護されます。
共用の SSL 認証の他、独自認証がご利用いただけます。

※独自 SSL は、<https://ssl.お客様のドメイン名/> でのご利用となります。

グローバルサインの SSL を利用する場合

グローバルサインを認証機関として利用する場合、i-05 プランでは無料にて、それ以外のプランではオプションでご利用いただけます。
ご利用可能になるまでのおおまかな流れは以下となります。

1. グローバルサイン独自 SSL 取得オプションのお申し込みをします。
2. 弊社にて CSR を発行後、グローバルサインへ申請を行います。
3. グローバルサインよりお客さまに SSL の承認依頼のご連絡がメールで届きますので、
内容に問題がなければ、ご承認をお願いいたします。
4. グローバルサインより証明書が発行されますので、弊社にてサーバーにインストールを実施いたします。

なお、証明書のインストールには、2~3 営業日程度かかります。

詳細な手順につきましては[「独自 SSL\(グローバルサイン\) お申し込み・更新の流れ」](#)をご確認ください。

グローバルサイン以外の SSL を利用する

i-01 プランから Verisign 等、その他の認証局の独自認証をオプションにてご利用いただくことが可能です。
SSL の独自認証は、以下の手順にて発行されます。

1. CSR の発行(弊社にて行います)
[アカウントマネージャー](#)よりご依頼ください。CSR の設定完了後、お客さまにメールにてお知らせいたします。
※ お客さまによる申請漏れや誤入力などでの CSR の再発行は 承ることができません。
再度新規にオプション申し込みを行っていただく必要がございます。
2. 認証機関への申し込み(お客さま)
発行された CSR をもとに、認証機関へ申し込みを行います。
認証局にお客さまより SSL の申請を行ってください。(弊社ではこの申請作業の代行は行いません)
なお、証明書の発行方法や発行料金に関しましては、各認証機関へお問い合わせください。
3. 証明書の発行(認証機関)
認証局より必要な認証情報が送られてきましたら、メールにて弊社へコピーを転送してください。
4. 証明書のサーバーへのインストール(弊社にて行います)
お送りいただきました証明書を、弊社サーバーへインストールいたします。

※証明書のインストールには 2~3 日程度かかります。

※証明書のサーバーへのインストールが完了いたしますと、お客さまのドメイン名にて SSL を使用することが可能です。

※証明書のインストール完了後、お客さまにメールにてお知らせいたします。

■アクセス統計の設定

Analog (アクセス統計の設定)

アクセス統計は、ウェブサイトへのアクセス数を分析したものです。

これは、サーバーへのアクセスが記録された「access_log(アクセスログ)」ファイルをもとに、アクセス解析アプリケーションによって出力されます。弊社ではデータの解析に、世界で最も多く用いられている「Analog(アナログ)」を採用しています。

ウェブサイトの統計結果を見るには、お客さまにて PlanManager より設定していただきました、任意の URL へアクセスしてください。

以下にそれぞれのレポートについての解説をご紹介します。

アクセスログの統計結果を見るための詳細は、[アクセス解析 \(解析結果の表示\)](#)をご参照ください。

以下は解析結果それぞれのレポートについての解説を紹介します。

全体の概要

ページの先頭に表示される「全体の概要」では、アクセスログから分析された統計結果の概要として下記のような項目が表示されます。

リクエスト成功件数	サーバーにあるデータ(HTML ファイルや画像ファイルなど)にアクセスしたユーザーが、正常にデータを読み込むことができた件数です。サーバー上にあるファイルすべてが対象となります。
上記の日別平均	上記「成功したリクエスト件数」の数字をアクセスログの記録された期間(解析期間)の日数で割った日別の平均値です。
ページリクエスト成功件数	上記の「成功したリクエスト件数」と違い、こちらはサーバー上のファイルのうち「HTML ファイル」だけが対象となります。この数字は一般に「ページビュー数」を意味します。
上記の日別平均	上記「ホームページへの成功したリクエスト件数」の数字を、アクセスログの記録された期間(解析期間)の日数で割った日別の平均値です。
リクエスト不成功件数	ファイルがなかった、接続できなかったなど、失敗したリクエストの数です。
リダイレクトされたリクエスト件数	リダイレクトされたリクエスト件数は、クライアント(アクセスしてきたユーザー)からのリクエストとは別のファイルが返された件数を示します。 「リダイレクト」とはどんな状況を指すか例を挙げてみます。例えばウェブページ、 <code>http://www.ABC.com/my_dir/index.html</code> を表示する場合に、クライアントが <code>http://www.ABC.com/my_dir</code> とブラウザに入力したとします。この時、サーバーへの接続が完了すると、自動的にブラウザの URL 表示が <code>http://www.ABC.com/my_dir/</code> が表示されます。これはクライアント側からリクエストのあった「 <code>http://www.ABC.com/my_dir</code> 」というアドレスに対して、サーバーが「そのリクエストは、正確には末尾に「/」を加えた『 <code>http://www.ABC.com/my_dir/</code> 』ですね?」と、クライアントに対して、正しいと考えられるアドレスを推測し、返答したことによるものです。
異なるリクエストファイル数	サーバーにあるファイル(HTML ファイル、画像ファイルなど)へのリクエストで、重複しないファイルの数をカウントしたものです。 例えば、サーバー上に 10 個のファイルしかない場合、この項目の数値は最大で 10 になります。 つまり同じファイルにアクセスされた場合はカウントされません。事前にサーバー上にあるファイル数を把握しておけば、この項目の数値と比較することで、リクエストのないファイルがどのくらいあるか判断できます。 なお、この数値には、お客さまのホームディレクトリ下のファイルに加えて、システム上のファイルを読み込んだ件数も含まれます。
異なるサービスホスト数	サーバーに接続された リモートホストの件数です。こちらも上記の「異なるファイルへのリクエスト件数」と同様に、重複しているホスト名はカウントされません。
異常ログ行数	accesslog 上のデータで Analog にて、読み取りや解析等ができない行をカウントします。
データ転送量	サーバーからクライアントに転送されたデータの総量です。 例えば、データサイズが 10KB と 15KB の画像を持つ、HTML ファイル(データサイズ:5KB)に対して、100 件のアクセスがあった場合、 $(10\text{KB}+15\text{KB}+5\text{KB}) \times 100 = 3000\text{KB} (3\text{MB})$ といった計算となります。
上記の日別平均	上記「転送データ量」を、アクセスログの記録された期間(解析期間)の日数で割った日別の平均値です。

月別/日別(前月分まで)/曜日別/時間別レポート

上記の各レポートは、お客さまのサーバー上のファイルへのアクセスを、異なる時間単位で集計した数値を示します。各レポートには「リクエスト数」、「ページ数」という項目が含まれます。

リクエスト数	サーバー上にあるファイルへのリクエストで、エラー出力せずに正常にアクセスが行われた件数を示します。サーバー上にあるすべてのファイルが対象となります。一般に「ヒット数」と呼ばれる数値です。
ページ数	こちらも上記と同様に、サーバー上のファイルに対してのリクエストで、エラー出力せずに正常にアクセスが行われた件数を示します。この場合、カウントされるファイルは「HTML ファイル」のみ対象となります。この数値は一般に「ページビュー数(PV)」と呼ばれます。

組織別レポート

こちらは、TLD(Top Level Domain)別のアクセス数を表示します。トップレベルドメインにはjp、uk、com、net、org、などがあります。「unresolved numerical addresses」と表示される数値については、逆引き設定が行われていないドメイン、つまりアクセスしてきたクライアントのドメイン情報が得られなかった件数を示します。

リンク元 URL レポート

このレポートでは、どのサイトからお客さまのページにアクセスがあったか表示されます。

例えば、このレポート中に「http://ABC.co.jp/」というサイトが含まれていた場合、これは、このページにあなたのホームページへのリンクが含まれていることを示します。

また、検索エンジンから検索キー「新光貴」という文字列をもとにアクセスされた場合は、リンク元 URL レポートに

例 <http://www.yahoo.co.jp/~> <http://www.google.co.jp/~>

といった形でお客さまのページにどのサイトからアクセスされたかを出力いたします。

また、お客さまのサイトをブックマーク(お気に入り)に登録されている場合や、直入力された場合の「リンク元 URL レポート」は

<http://お客さまのドメイン名/>

のみを出力いたします。

ブラウザのレポート

このレポートは、お客さまのサーバーにアクセスしてきたクライアントの種類を集計したものです。

一般的にアクセスしてきたユーザーの使用するブラウザの種類と、その割合を知ることができます。下記は表示例となります。

番号:	リクエスト数:	ページ数:	ブラウザ
1:	3801:	714:	Safari
2:	1892:	410:	MSIE
3:	1129:	123:	Mozilla

ファイル種類別レポート

このレポートでは、リクエストされたファイルの拡張子の統計を表します。通信量の多いものから順に表示されます。

ディレクトリレポート

こちらは、お客さまのサーバーへのアクセスを、設置された各ディレクトリ別に集計した数値です。リクエストの対象となるファイルは、HTML ファイルや画像ファイルなど、サーバー上のすべてのファイルを含みます。

また「ルートディレクトリ」という記述は、お客さまのドキュメントルートに接続されたことを示します。例えば、

<http://お客さまのドメイン名/>

が、ルートディレクトリ を指し示します。この数値は一般にお客さまのウェブサイトのトップページへのアクセス数を示します。

リクエストレポート

リクエストレポートは、ファイル別にリクエスト数を集計したものです。

対象となるファイルは、html、gif、jpg、midi、cgi などすべての種類のファイルが対象となります。

■MIME タイプ一覧

MIME タイプ一覧

HTTP の実装では、ファイルの拡張子ごとにブラウザが受け取った時のアクションが決まっています。

この機能を MIME タイプといい、MIME タイプの設定されていないファイルを受け取った場合には、ブラウザは何をすべきかが分からずファイルのダウンロードを始めます。

以下がサーバーで有効になっている、すべての MIME タイプです。

拡張子	MIME タイプ
kml	application/vnd.google-earth.kml+xml kml
dmt	application/x-decomail-template
khm	application/x-kddi-htmlmail
hmt	application/x-htmlmail-template
ez	application/andrew-inset
atom	application/atom+xml
hqx	application/mac-binhex40
cpt	application/mac-compactpro
mathml	application/mathml+xml
doc	application/msword
bin dms lha lzh exe class so dll dmg	application/octet-stream
oda	application/oda
ogg	application/ogg
pdf	application/pdf
ai eps ps	application/postscript
rdf	application/rdf+xml
smi smil	application/smil
gram	application/srgs
grxml	application/srgs+xml
mif	application/vnd.mif
xls	application/vnd.ms-excel
ppt	application/vnd.ms-powerpoint
rm	application/vnd.rn-realmedia
wbxml	application/vnd.wap.wbxml

wmlc	application/vnd.wap.wmlc
wmlsc	application/vnd.wap.wmlscriptc
vxml	application/voicexml+xml
bcpio	application/x-bcpio
vcd	application/x-cdlink
pgn	application/x-chess-pgn
cpio	application/x-cpio
csh	application/x-csh
dcr dir dxr	application/x-director
dvi	application/x-dvi
spl	application/x-futuresplash
gtar	application/x-gtar
hdf	application/x-hdf
xhtml xht	application/xhtml+xml
ipx	application/x-ipix
ips	application/x-ipscript
js	application/x-javascript
skp skd skt skm	application/x-koan
latex	application/x-latex
rss	application/xml
xml xsl	application/xml
dtd	application/xml-dtd
amc	application/x-mpeg
nc cdf	application/x-netcdf
sh	application/x-sh
shar	application/x-shar
swf	application/x-shockwave-flash
xslt	application/xslt+xml
mmf	application/x-smaf
sit	application/x-stuffit
sv4cpio	application/x-sv4cpio

sv4crc	application/x-sv4crc
tar	application/x-tar
tcl	application/x-tcl
tex	application/x-tex
texinfo texi	application/x-texinfo
t tr roff	application/x-troff
man	application/x-troff-man
me	application/x-troff-me
ms	application/x-troff-ms
ustar	application/x-ustar
src	application/x-wais-source
xp	application/x-xp
zip	application/zip
3g2	audio/3gpp2
au snd	audio/basic
mid midi kar	audio/midi
mpga mp2 mp3	audio/mpeg
aif aiff aifc	audio/x-aiff
m3u	audio/x-mpegurl
wma	audio/x-ms-wma
ram ra	audio/x-pn-realaudio
wav	audio/x-wav
pdb	chemical/x-pdb
xyz	chemical/x-xyz
bmp	image/bmp
cgm	image/cgm
gif	image/gif
ifm	image/gif
ief	image/ief
jpeg jpg jpe	image/jpeg
jpz	image/jpeg

png	image/png
pnz	image/png
svg	image/svg+xml
tiff tif	image/tiff
djvu djv	image/vnd.djvu
wbmp	image/vnd.wap.wbmp
ras	image/x-cmu-raster
ico	image/x-icon
pnm	image/x-portable-anymap
pbm	image/x-portable-bitmap
pgm	image/x-portable-graymap
ppm	image/x-portable-pixmap
rgb	image/x-rgb
xbm	image/x-xbitmap
xpm	image/x-xpixmap
xwd	image/x-xwindowdump
igs iges	model/iges
msh mesh silo	model/mesh
wrl vrml	model/vrml
ics ifb	text/calendar
css	text/css
html htm	text/html
asc txt	text/plain
rtx	text/richtext
rtf	text/rtf
sgml sgm	text/sgml
tsv	text/tab-separated-values
wml	text/vnd.wap.wml
wmls	text/vnd.wap.wmlscript
hdml	text/x-hdml;charset=Shift_JIS
etx	text/x-setext

3gp	video/3gpp
3g2	video/3gpp2
mpeg mpg mpe	video/mpeg
qt mov	video/quicktime
mxu m4u	video/vnd.mpegurl
asf asx	video/x-ms-asf
avi	video/x-msvideo
wmv	video/x-ms-wmv
movie	video/x-sgi-movie
ice	x-conference/x-cooltalk
ucp	application/octet-stream
ucm	application/octet-stream ucm
xcsf	application/octet-stream xcsf
docx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.wordprocessingml.document docx
xlsx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.spreadsheetml.sheet xlsx
pptx	application/vnd.openxmlformats-officedocument.presentationml.presentation pptx
flv	video/x-flv
jar	application/java-archive
mpg4	video/mp4

■メーリングリスト

メーリングリスト

メーリングリストとは、電子メールの同報配信機能を提供するツールです。
メーリングリスト宛に投稿されたメールは、そのリストに登録されているメンバー全員に配信されます。
仲間同士の情報共有、あるテーマについて議論する仮想会議室、グループ内での連絡手段等、設定によって
いろいろな用途にご利用が可能です。

詳細の設定については、[PlanManager マニュアル:メーリングリスト](#) をご参照ください。

メーリングリスト名	test
メーリングリストアドレス	test@example.com
管理用アドレスの転送先	test01@example.com
インフォメーションの言語	日本語
コマンド送信できるユーザー	モデレーターのみ
投稿できるユーザー	メンバーのみ
受信可能サイズ	1000 KB以下
任意設定	<input checked="" type="checkbox"/> Subject: に通し 番号をつける <input checked="" type="checkbox"/> コマンドを受信拒否した場合にエラーを出す <input checked="" type="checkbox"/> 投稿を受信拒否した場合にエラーを出す
<input type="button" value="リセット"/> <input type="button" value="設定の保存"/>	

メンバーのみ

通常は「メンバーのみ」に設定しメーリングリストのメンバーだけが投稿できるようにします。
メーリングリストのメンバーに設定されているアドレスからメーリングリストのアドレスに投稿することで
メンバー全員に配信されます。

誰でも

誰からの投稿も受け付ける場合は「誰でも」に設定します。
※メンバー以外からの投稿を許可していると迷惑メール等も届く場合があるので注意が必要です。

モデレーターのみ

メールマガジンやダイレクトメールの配信の場合は、モデレーター以外からは勝手に配信できないようにする必要があります。
コマンド送信できるユーザーと投稿できるユーザーを「モデレーターのみ」に設定してください。
モデレーターは「拡張設定」で5 アドレスまで設定いただけます。

【モデレーターのみに設定した場合の注意点】

モデレーターのみに設定した場合、モデレーターのアドレスから以外は投稿不可といった形態ではなく、
投稿の際はモデレーターの認証が必要といった意味合いとなります。
このため、コマンド送信できるユーザーと投稿できるユーザーを「モデレーターのみ」に設定されましても、
コマンドの送信や本文の送信は、どのアカウントからでも行うことができます。
送信されたコマンドや投稿文は、メンバーに配信される前に必ずモデレーター宛に送られ、モデレーターが
許可しないものはメンバーには配信されません。
モデレーターのもとには、メールが配信されます。
配信を許可する場合は、メール本文の中のキーワード(の行のみ)を投稿用のアドレスに送信してください。
HTML 形式のメールではキーワード前に HTML の記述が追加されてしまうためテキスト形式にて送信してください。

■MySQL の設定

MySQL の設定 MySQL4 から 5 への移行手順

PlanManager および DBManager を使用し、MySQL4 データベースを MySQL5 へ移行する手順を説明します。

移行手順

MySQL4 データベースを MySQL5 へ移行するには、下記の作業が必要となります。

1. MySQL4 データベースのバックアップ
2. MySQL4 から MySQL5 へのデータベースのバージョンアップ
3. バックアップファイルの修正
4. MySQL5 データベースへのバックアップファイルのリストア

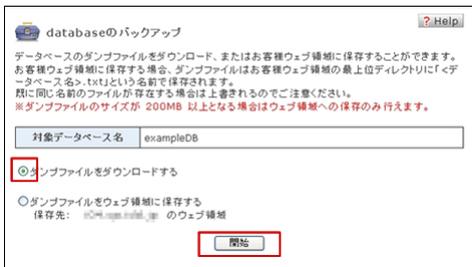
MySQL4 データベースのバックアップ

ここでは MySQL4 データベースのバックアップ方法を説明します。

1. DBManager にログインし、左メニューの [database のバックアップ] をクリックします。



2. [ダンプファイルをダウンロードする] を選択し、[開始] を押してバックアップファイル(ダンプファイル)を PC へダウンロードします。



- 【ご注意】** ダンプファイルのサイズが 200MB 以上となる場合は直接 PC にダウンロードできません。
一旦ウェブ領域へ保存し、その後 FTP ツール等を用いて PC にダウンロードしてください。

バックアップファイルの修正

ダウンロードしたバックアップファイル(ダンプファイル)を MySQL5 のダンプファイルとなるよう、お客さま自身で修正します。

【ご注意】

- ・ダンプファイルの修正方法に関してはサポート範囲外です。
- ・ダンプファイルの修正はお客さまの責任の上、実施していただくようお願いいたします。
- ・ダンプファイルを修正したことによる直接的または間接的に生じた損失に関し、弊社は一切責任を負いません。

MySQL4 から MySQL5 へのデータベースのバージョンアップ

PlanManager 上で MySQL4 から MySQL5 へバージョンアップします。

1. PlanManager へ[契約者]または[ドメイン管理者]でログインし、[ユーティリティ]>[データベース設定]画面を開きます。
バージョンアップしたいデータベースの[編集]ボタンをクリックし、[バージョンアップ]ボタンをクリックします。

データベース設定

データベースを編集します。
パスワードに使用できる文字は A-Z, a-z, 0-9 です。
セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。

データベース	MySQL
データベース名 (接続ユーザー名)	
使用ドメイン	.com <input type="checkbox"/> 他のドメインで表示させない
コメント	
パスワード	

リセット 設定の保存

データベースのバージョンアップが可能です。
バージョンアップ

2. バージョンアップ後のデータベースに設定するパスワードを入力し、[バージョンアップ]をクリックします。

データベース設定

以下のデータベースをバージョンアップします。

データベース	データベース名 (接続ユーザー名)	バージョンアップ後の バージョン
MySQL		MySQL 5.1

バージョンアップ後のデータベースに設定するログインパスワードを入力してください。
使用できる文字は A-Z, a-z, 0-9 です。
セキュリティ保持のため、パスワードには必ず大文字、小文字、数字を混在させてください。

新しいパスワード (確認のため再入力)

バージョンアップの際は以下の点にご注意下さい。

- データベース内のデータは全て削除されます。
- データベースサーバーが変更になります。(データベース名は変わりません。)
- データベースへの接続時に、ポート番号の指定が必要となります。
- 前のバージョンに戻すことはできません。
- 誤ってバージョンアップを行われてしまった場合、データのみ復旧は可能ですが有償となります。
なお、復旧の際に必要なデータのバックアップには保持期間がございますので、お早めにカスタマーサービスまでご連絡ください。

よろしいですか?
戻る **バージョンアップ**

【ご注意】

- ・バージョンアップの際、データベース内のデータはすべて削除されます。
- ・前のバージョンに戻すことはできません。
- ・データベースサーバーが変更になります。(データベース名は変わりません。)
- ・データベースへの接続時に、ポート番号の指定が必要となります。

3. バージョンアップの完了画面が表示されます。

データベースをバージョンアップしました。

データベース	MySQL5
データベースのバージョン	MySQL 5.1
データベースサーバー	localhost:3306 (MySQL Server)
ポート番号	3306
データベース名(接続ユーザー名)	exampleDB
パスワード	password

OK

MySQL5 データベースへのバックアップファイルのリストア

お客さまが修正したバックアップファイル(ダンプファイル)を DBManager 上でリストアします。

1. DBManager にログインし、左メニューの [database のリストア] をクリックします。



2. リストアするバックアップファイル(ダンプファイル)のパスを入力、もしくは[参照]からファイルを選択し、[送信]をクリックします。

databaseのリストア

バックアップからデータベースを復旧します。

リストアップファイル 選択 [参照]

[送信]

リストアップ可能なファイルはMySQLのダンプファイルのみになります。
その他のデータベースのダンプファイルの動作は動作対象外となります。ご了承ください。

【ご注意】 ダンプファイルのサイズが 10MB 以上の場合はリストアできないことがあります。

3. 表示されている[データベース名]を確認し、[開始]をクリックします。

databaseのリストア

バックアップからデータベースを復旧します。

データベース名 [開始]

バックアップファイルに記録されているデータベース名を表示します。

4. リストアの開始画面が表示されます。[詳細]をクリックすると、リストアの進行状況が確認できます。

databaseのリストア

リストアを開始しました。

開始されたリストア

[詳細]

5. 上記[詳細]またはメニューの [database のリストア] メニューをクリックすると、完了時には完了画面が表示されます。

databaseのリストア

バックアップからデータベースを復旧します。

結果

リストアは終了しました。

処理時間(分:秒)

00:02

【ご注意】 ダンプファイルのサイズによっては処理に時間がかかる場合があります。